I·O DATA

直結型コンパクト・プリントサーバ

# PS1Eシリーズ

# 取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

55623-02

## 【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各１部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。


- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- IntranetWare,NetWareは、米国 Novell, Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

# もくじ

もくじ ····· i
安全にお使いいただくために ····· v
本書での呼び方 ····· viii
本製品が使用できるまでの流れ ····· ix
本製品の特長 ····· x

## 1 ご使用になる前に

箱を中の確認 ····· 2
対応している機種とOS ····· 3
各部の名称・機能を確認する ····· 7
バックアップディスクの作成 ····· 8

## 2 プリンタに接続する

本製品をプリンタに接続する ····· 10

## 3 設定前の準備（管理者のみ）

「設定ツール」の準備手順 ····· 16
*ステップ1* 設定用パソコンのネットワークを確認する 17
*ステップ2* 「設定ツール」をインストールする ····· 26
*ステップ3* 印刷環境を確認する ····· 31

# 4 TCP/IP での印刷

設定編

本製品の設定（設定用パソコンでの設定） …… 38
*ステップ1* 本製品の[ポート名]を設定する …… 39
*ステップ2* 本製品の[IPアドレス]を設定する …… 45

印刷編

TCP/IPを使って印刷する（パソコンからの印刷） …… 52
*ステップ1* パソコンのIPアドレスを設定する …… 54
*ステップ2* 設定したIPアドレスを確認する …… 62
*ステップ3* 印刷するには …… 65
Windows Me/98/95で印刷するには …… 66
Windows 2000で印刷するには …… 81
Windows NT 4.0で印刷するには …… 88

# 5 NetBEUI での印刷

設定編

本製品の設定（設定用パソコンでの設定） …… 96
本製品の[サーバ名][ポート名]を設定する …… 97

印刷編

NetBEUIを使って印刷する（パソコンからの印刷） …… 104
*ステップ1* NetBEUIプロトコルを確認する …… 105
*ステップ2* 印刷するには …… 110
Windows Me/98/95で印刷するには …… 111
Windows 2000で印刷するには …… 116
Windows NT 4.0で印刷するには …… 121

## 6 NetWare(プリントサーバモード)での印刷

NetWare(プリントサーバモード)で印刷するには ‥‥ 126
NetWare 3.xJでの設定(プリントサーバモード) ‥‥‥ 127
NetWare 4.x/5.xでの設定(プリントサーバモード) ‥ 141

## 7 NetWare(リモードプリンタモード)での印刷

NetWare(リモートプリンタモード)で印刷するには ‥ 150
NetWare 3.xJでの設定(リモートプリンタモード) ‥‥‥ 151
NetWare 4.x/5.xでの設定(リモートプリンタモード) ‥ 156

付録 1 困ったときには ····· 165

付録 2 設定ツール ····· 178

付録 3 telnetでの本製品の設定 ····· 199

付録 4 SNMPによる管理 ····· 205

付録 5 ネットワークコンポーネント のインストール ····· 207

付録 6 サポートソフトを削除する場合 ···· 219

付録 7 TCP/IPの基礎知識 ····· 221

付録 8 用語解説 ····· 227

付録 9 仕様 ····· 231

PLANTコールセンターへのお問い合わせ ····· 232
サポートソフトのバージョンアップ ····· 233
保証について ····· 234
修理について ····· 235

# 安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

## ■警告および注意事項

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## ■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

# ⚠ 警告




**本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。**




**本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。**

火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。




**煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。**




**本製品を接続する場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。**

- ●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- ●接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
- ●給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。

# ⚠注意




**本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。**

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。




**本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。**

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（$ClI_2$、$H_2S$、$NH_3$、$SO_2$、$NO_X$など）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）




**本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。**

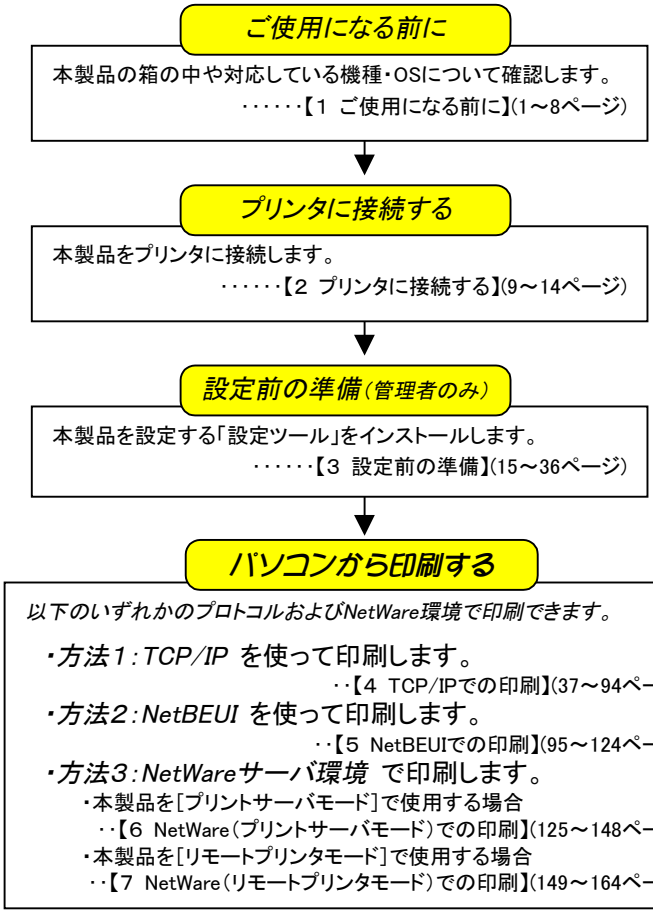
- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

# 本書での呼び方

| 呼び方 | 意味 |
|---|---|
| NOS<br>ネットワークOS | Network Operating System |
| Windows 2000 | Microsoft® Windows® 2000 Professional |
| Windows Me | Microsoft® Windows® Millennium Edition |
| Windows 98 | Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび<br>Microsoft® Windows® 98 Operating System<br>Second Editionの総称 |
| Windows 95 | Microsoft® Windows® 95 Operating System |
| Windows Me/98/95 | Windows Me, Windows 98およびWindows 95の総称 |
| Windows 98/95 | Windows 98およびWindows 95の総称 |
| Windows NT 4.0 | Microsoft® Windows NT® Operating System<br>Version 4.0 Workstation |
| Windows | Windows 2000、Windows Me、Windows 98、Windows 95、<br>Windows NT 4.0の総称 |
| NetWare 3.xJ | NetWare 3.12J/3.2J |
| NetWare 4.x | NetWare 4.1J/4.11J/4.2 |
| NetWare 5.x | NetWare 5.0/5.1 |
| NetWare 3.xJ/4.x/5.x | NetWare 3.xJ、NetWare 4.x、NetWare 5.xの総称 |
| NetWareクライアント | NetWareネットワーククライアント<br>クライアント（NetWareネットワーク用）<br>Client Service for NetWare<br>NetWare用クライアントサービス<br>Novell Client for Windows 95/98<br>Novell Client for Windows NT/2000 |
| IPX/SPXプロトコル | IPX/SPX互換プロトコル<br>NWLink IPX/SPX/NetBIOS互換トランスポートプロトコル<br>NWLink IPX/SPX互換トランスポート<br>Novell NetWareクライアント用IPX32ビットプロトコル |

# 本製品が使用できるまでの流れ

本製品を使用するには、まず、管理者が本製品の設定を行う必要があります。
設定後、ユーザーは本製品を使用して印刷できるようになります。
以下のフローに沿って、必要な個所をお読みください。




**参考**

**本書内では以下のように呼んでいます。**

**管理者…本製品を管理・設定する人。本製品の接続から設定のすべてを行います。**

**ユーザー…本製品を利用して印刷する人。**

# 本製品の特長

## ■コンパクト設計

・プリンタポートへ直結タイプ

・ACアダプタも小型・軽量（スイッチング電源採用）

## ■高速イーサーネット（100BASE-TX）対応[ET-FPS1Eの場合]

・大量データの転送に耐えられる100BASE-TXイーサーネットに対応。
印刷効率UPが図れます。

## ■様々なLANに対応

・バインダリエミュレーションモードだけでなく、NetWare 4.xよりサポートされたNDSに対応しているため、大規模ネットワークにも安心してご利用になれます。

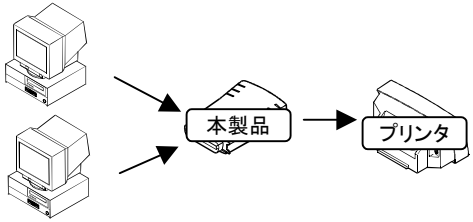
・マルチプロトコル対応（TCP/IP、NetBEUI、NetWareに対応）

## ■「TCP/IP印刷クライアント」添付（Windows Me/98/95用）

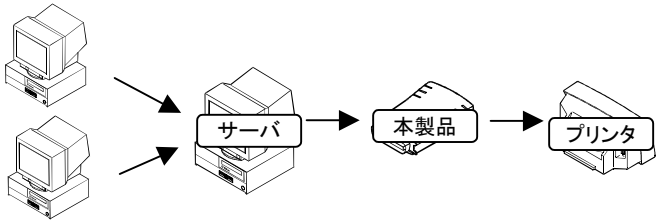
・「TCP/IP印刷クライアント」は使用ユーザ数の制限を設けていないため、複数台で利用することができ、別途LPRソフトを追加購入する必要もありません。

## ■印刷データ量に応じた使い分けが可能

・導入・管理が楽な[ベーシック]スタイル




・高頻度印刷・多量印刷向きの[PCサーバ活用]スタイル



# 1 ご使用になる前に

箱の中の確認 …… 2
対応している機種とOS …… 3
各部の名称・機能の確認 …… 7
バックアップディスクの作成 …… 8

# 箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

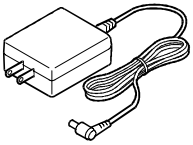
箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

☐ 本製品（1台）

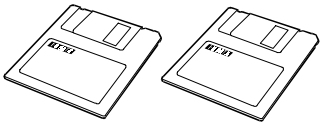


ET-FPS1E　または　ET-PS1E

☐ 専用ACアダプタ（1個）



☐ 「設定ツール」ディスク（2枚）
- PS1Eシリーズ設定ツール①
- PS1Eシリーズ設定ツール②



☐ 「TCP/IP印刷クライアント」ディスク（1枚）



☐ ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）

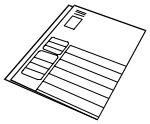


※ハードウェアシリアルNo.シールをハードウェア保証書とユーザー登録カードに貼ってください。

☐ ハードウェア保証書（1枚）



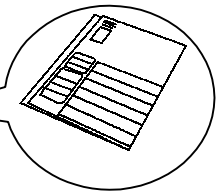
☐ ユーザー登録カード（1枚）



☑ 取扱説明書（1冊）



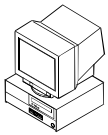

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。



# 対応している機種とOS

本製品を使用して印刷できる環境は以下の通りです。

## 印刷できるパソコン



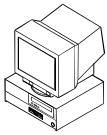
| | |
|---|---|
| ネットワークOS<br>（日本語版） | ・Windows 2000<br>・Windows Me<br>・Windows 98(Second Edition 含む)<br>・Windows 95<br>・Windows NT 4.0<br>・NetWare 3.xJ、NetWare 4.x、NetWare 5.x |
| LAN環境 | LAN（アダプタ）が正常に動作し、以下のいずれかのプロトコルが正常に動作している必要があります。<br>・TCP/IP※1<br>・NetBEUI<br>・IPX/SPX |

※1 Windows Me/98/95 で TCP/IP を利用して印刷を行う場合は、添付の「TCP/IP 印刷クライアント」ディスクをインストールするためのフロッピーディスクドライブが必要です。
パソコンにフロッピーディスクドライブがない場合は、弊社「サポートソフトライブラリ」（ *http://www.iodata.jp/lib/* ）より「TCP/IP 印刷クライアント」をダウンロードしてください。（詳細は、6 ページ【パソコンにフロッピーディスクドライブがない場合】を参照してください。）

**注意！**

**・添付の「TCP/IP 印刷クライアント」は、Windows Me/98/95 のみ対応です。**
**※「TCP/IP 印刷クライアント」は、Windows 上から TCP/IP を使って印刷するためのソフトウェアです。**
**Windows 2000 および Windows NT 4.0 では、Windows 標準の LPR ソフトウェアを使用しますので、「TCP/IP 印刷クライアント」は必要ありません。**
**・NetWare 5.x よりサポートされた NDPS(Novell Distributed Print Services)には対応しておりません。**

# 本製品を設定する設定用パソコン



本製品を使用するには、最初に管理者が以下の環境の設定用パソコンで設定する必要があります。

※設定は管理者のみが行うようにしてください。

| | |
|---|---|
| ネットワークOS（日本語版） | 以下のいずれかの OS でのみ設定できます。<br>・Windows 2000 *（NEC PC-9821 シリーズを除く）*<br>・Windows Me<br>・Windows 98(Second Edition 含む)<br>・Windows 95<br>・Windows NT 4.0 *（NEC PC-9821 シリーズを除く）* |
| LAN環境 | LAN（アダプタ）が正常に動作している必要があります。<br>また、添付の「設定ツール」を動作させるために以下の①と②の両方がインストールされている必要があります。（詳細については【3 設定前の準備】15 ページ参照）<br>・Windows 2000 の場合<br>① 「NetWare 用クライアントサービス」（または Novell Client※1）<br>② 「NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル」<br>・Windows Me の場合<br>① 「クライアント（NetWare ネットワーク用）」（または Novell Client※2）<br>② 「IPX/SPX 互換プロトコル」<br>・Windows 98/95 の場合<br>① 「NetWare ネットワーククライアント」（または Novell Client※2）<br>② 「IPX/SPX 互換プロトコル」<br>・Windows NT 4.0 の場合<br>① 「Client Service for NetWare」（または Novell Client※1）<br>② 「NWLink IPX/SPX 互換トランスポート」 |
| フロッピーディスクドライブ※3 | 「設定ツール」ディスクをインストールするために必要 |

※1 NetWare 4.x（NDS）および 5.x（NDS）環境で使用するには、「Novell Client for Windows NT/2000」が必要です。Novell 社の Web サイトから入手可能です。

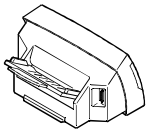
※2 NetWare 4.x（NDS）および 5.x（NDS）環境で使用するには、「Novell Client for Windows 95/98」が必要です。Novell 社の Web サイトから入手可能です。

※3 パソコン本体にフロッピーディスクドライブがない場合は、弊社「サポートソフトライブラリ」（*http://www.iodata.jp/lib/* ）より「設定ツール」を入手してください。（詳細は、6 ページ【パソコンにフロッピーディスクドライブがない場合】を参照してください。）

**参考**

**前ページの「LAN 環境」は添付の「設定ツール」を使用する場合に必要な環境です。**
**設定は、「設定ツール」以外に Windows 標準の「telnet」からでも設定できます。**
**その場合、LAN 環境には、LAN アダプタを搭載し、TCP/IP が正常に動作していれば設定できます。手順については 199 ページを参照してください。**

## 本製品を接続できるプリンタ



セントロニクス準拠パラレルポートを持つプリンタ

**注意！**

- **Microsoft Windows Printing System(WPS)専用のプリンタは、仕様上本製品でのご利用はできません。**
- **プリンタメーカーが独自に採用しているプリンティングシステムには対応しておりません。**
- **双方向通信機能をサポートしているプリンタの場合は、双方向通信機能を OFF に設定してください。（詳細はプリンタの取扱説明書を参照してください。）**
- **本製品は通常プリンタに直接接続できますが、プリンタのコネクタ付近の形状により直結できない場合があります。その場合は、別途オプションケーブル「P36PS-0.3」（30cm）をご購入ください。**

## パソコンにフロッピーディスクドライブがない場合

本製品を設定するには、「設定ツール①、②」ディスクをインストールするためのフロッピーディスクドライブが必要です。
また、Windows Me/98/95で本製品を利用してTCP/IP印刷を行う場合にも「TCP/IP印刷クライアント」ディスクをインストールするためのフロッピーディスクドライブが必要です。
パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、以下を行ってください。

**1** インターネット上の弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/lib/)より、本製品の「設定ツール①、②」および「TCP/IP印刷クライアント」のファイルを入手します。

**2** ハードディスクドライブ(Windowsなどがインストールされているドライブ)に、任意のフォルダを2つ作成し(「設定ツール①、②」用と「TCP/IP印刷クライアント」用の2つのフォルダ)、入手したファイルをそのフォルダで展開してください。
※解凍方法は弊社ホームページの「サポートライブラリ」(http://www.iodata.jp/lib/)の「解凍方法」を参照してください。

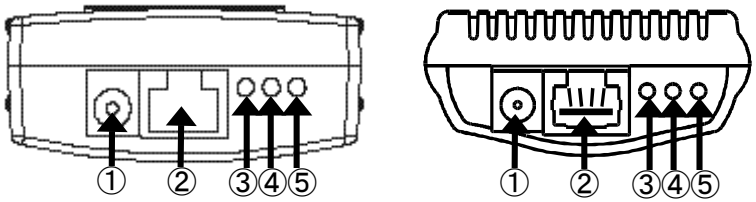
このあと、【3 設定前の準備】(15ページ)での「設定ツール①、②」ディスクをインストールする際には、上記で作成した「設定ツール」用のフォルダ内の「Setup.exe」を指定してください。
また、【Widows Me/98/95で印刷するには】(66ページ)での「TCP/IP印刷クライアント」をインストールする際には、上記で作成した「TCP/IP印刷クライアント」用のフォルダを指定してください。

# 各部の名称・機能を確認する

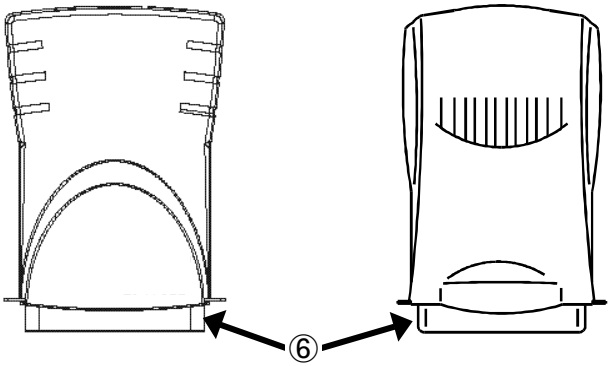
ET-FPS1E

ET-PS1E

背面側




上面側




| No | 名称 | 意味 |
|---|---|---|
| ① | 電源ポート | 付属の専用ACアダプタを接続します。 |
| ② | ネットワーク<br>コネクタ | 10BASE-T/100BASE-TX用ネットワークケーブルを接続します。(ET-PS1Eの場合は10BASE-T用ネットワークケーブルを取り付けます。) |
| ③ | LPT LED | 点灯:印刷中 |
| ④ | Lk/Rx LED | 点灯:リンク中<br>点滅:受信中 |
| ⑤ | Pw/Tx LED | 点灯:パワーON<br>点滅:送信中 |
| ⑥ | パラレルポート | プリンタポートに接続します。プリンタのコネクタ付近の形状によっては直結できない場合があります。その場合は、オプションケーブル「P36PS-0.3」をお買い求めください。 |

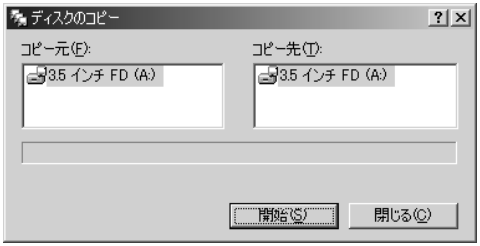
# バックアップディスクの作成

本製品に添付されている「設定ツール①、②」および「TCP/IP印刷クライアント」の3枚のディスクは、必ず3枚ともすべてバックアップし、バックアップしたディスクの方をお使いください。
添付の「設定ツール①、②」および「TCP/IP印刷クライアント」のディスクは大切に保管してください。

**1** 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を3枚用意します。

**2** 添付の「設定ツール①、②」ディスクと「TCP/IP印刷クライアント」ディスクをすべて書き込み禁止にします。

**3** [マイコンピュータ]→[3.5インチ FD]を右クリックし、[ディスクのコピー]を選択します。




**4** メッセージにしたがって、1枚ずつバックアップし、3枚すべてバックアップしてください。

「設定ツール①、②」および「TCP/IP印刷クライアント」のディスクと空きのフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、3枚ともバックアップします。

**注意！**

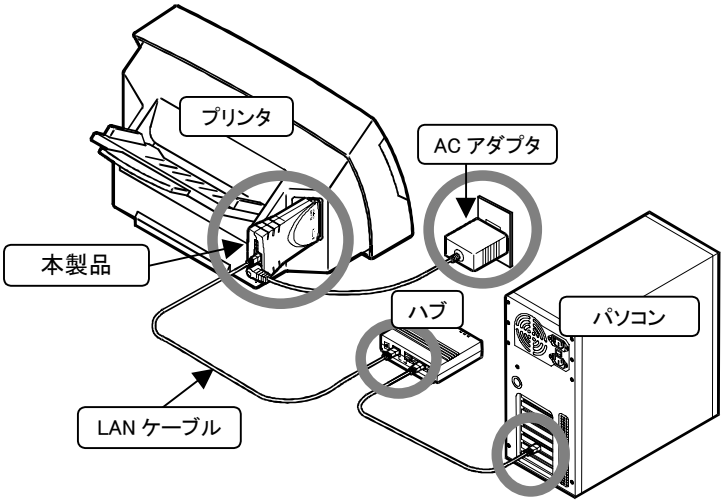
**「設定ツール①、②」および「TCP/IP 印刷クライアント」のディスクを破損した場合の修理は有償です。必ずバックアップし、バックアップディスクの方をお使いください。**
**「設定ツール①、②」および「TCP/IP 印刷クライアント」のディスクは大切に保管してください。**

# 2 プリンタに接続する

本製品をプリンタに接続する····· 10ページ

**この章で行うこと**

本製品をプリンタに接続します。

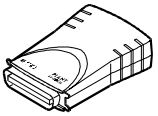


# 本製品をプリンタに接続する

本製品をプリンタに接続します。

## 用意するもの

・*本製品*



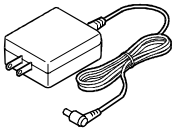
ET-FPS1E

または



ET-PS1E

・*ACアダプタ(添付品)*



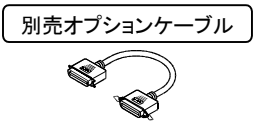
**注意！**

**AC アダプタは必ず添付のものをご使用ください。添付のもの以外を使用すると故障の原因となります。**

・*プリンタ*

本製品とプリンタは、通常直接接続しますが、プリンタのコネクタの形状により直結できない場合は、別途弊社製オプションケーブル『P36PS-0.3』をご購入ください。

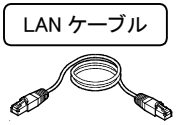


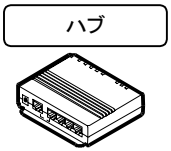




・*LANケーブルおよびハブ*

LANケーブルで本製品とハブ（あるいはパソコン）を接続します。ハブに接続する場合は、LANストレートケーブルを、パソコンと直接接続する場合は、LANクロスケーブルをご用意ください。また、10BASE-Tでご利用になる場合はカテゴリ3, 4, 5のUTP（またはSTP）ケーブルを使用してください。

（ET-FPS1Eの場合で100BASE-TXで使用する場合はカテゴリ5のみ）



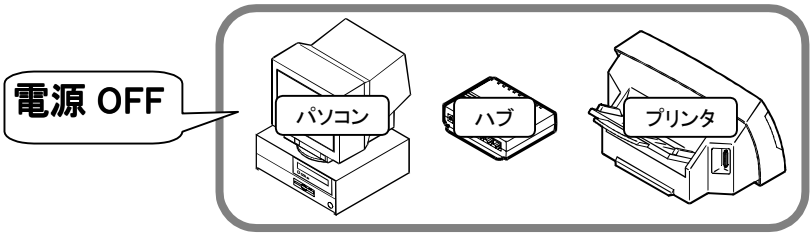



# 接続する

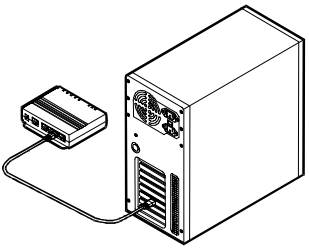
**注意！**

**本製品をプリンタに接続する際は、プリンタの電源を切っておいてください。**

**1** パソコン、ハブおよびプリンタの電源を切ります。



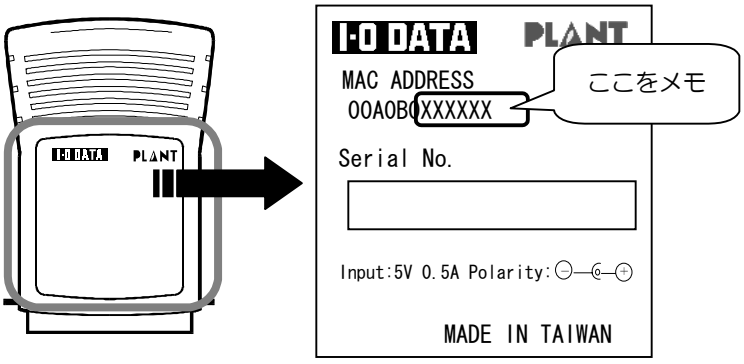

**2** パソコンとハブは接続しておきます。
本製品を利用するパソコンが複数台ある場合はすべてのパソコンを接続しておきます。



**3** 本製品の底面に記載されている[MAC ADDRESS]の下6桁（「00A0B0」の後の6桁）の数字をメモします。

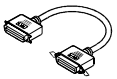
※[MAC ADDRESS]の数字は、本製品を設定する際、また、各OSへ設定する際に必要になります。

*▼本製品底面の[MAC ADDRESS]（ET-FPS1Eの例）*



## 4 本製品をプリンタに接続します。

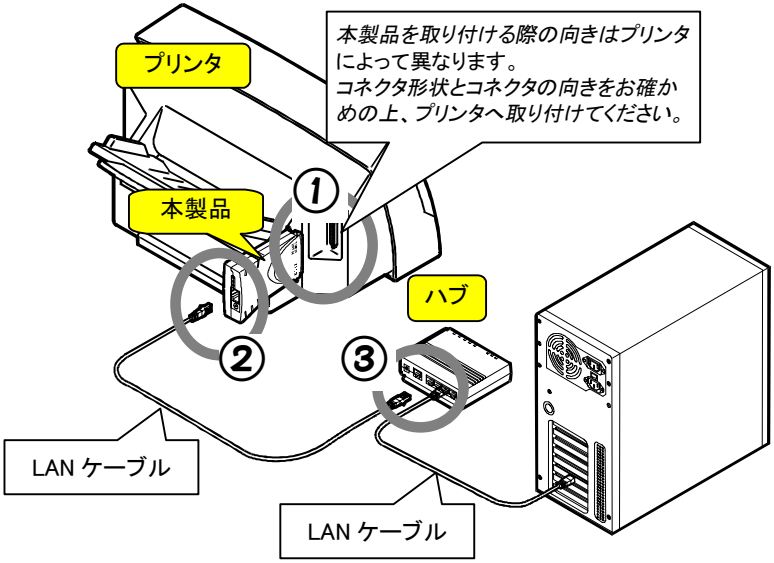
※プリンタのコネクタ付近の形状によって直結できない場合は、
オプションケーブル「P36PS-0.3」をご購入ください。



P36PS-0.3

LANケーブルで本製品とハブを接続します。

*▼本製品とハブを接続する場合*




**注意！**

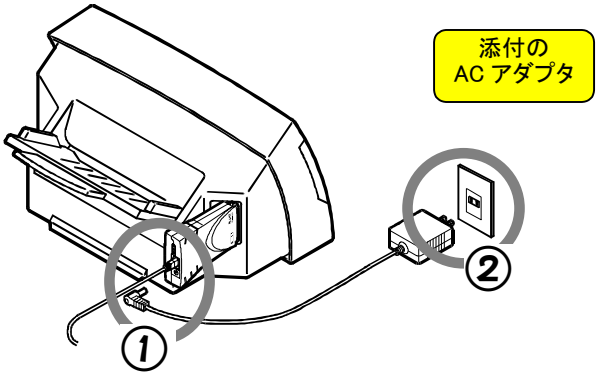
**・[LAN ケーブルについて]**

**①本製品とハブを接続する LAN ケーブルは、カテゴリ 3,4,5 の UTP(または STP)のストレートケーブルをご使用ください。(ET-FPS1E の場合で 100BASE-TX で使用する場合はカテゴリ 5 のみ)**
**本製品とパソコンを直接接続する場合は、クロスケーブルをご使用ください。**

**②LAN ケーブル(RJ-45)は、ISDN 機器(S/T 点)に差し込まないでください。**
**差し込むと故障の原因となります。**

## 4 添付のACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。

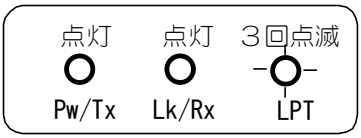
※電源コンセントに接続すると本製品の電源が入りますので、以下のランプ表示をご確認ください。



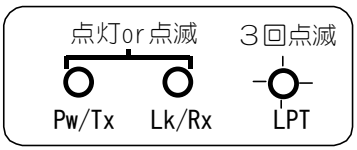

### 電源を入れた後の本製品のランプ表示

本製品の電源を入れると以下の①、②の順にランプ表示を行います。

①[Pw/Tx]LED と[Lk/Rx]LED が点灯し、[LPT]LED が 3 回点滅します。

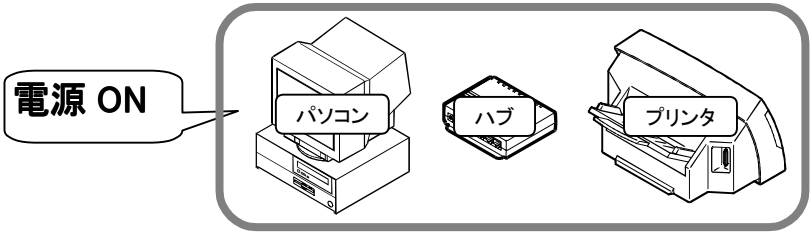



②次に[Pw/Tx]LED と[Lk/Rx]LED が点灯または点滅し、
[LPT]LED が 3 回点滅します。




電源投入時の点灯・点滅が不規則な場合は、LED に問題があります。
弊社 PLANT コールセンターまでお問い合わせください。(232 ページ参照)

**5** プリンタ、すべてのパソコンおよびハブの電源を入れます。




参考

**・電源を入れる順序について**

**本製品、プリンタ、ハブ、パソコンの電源を入れる順序に決まりはありません。（どの機器から電源を入れても問題ありません。）**
**ただし、ネットワーク内に Windows 2000 サーバ・Windows NT サーバなどを DHCP サーバとしてご利用になっている場合は、最初に DHCP サーバの電源を入れてください。（DHCP サーバをご利用になる場合は、【本製品の［IP アドレス］を設定する】（45 ページ）を参照して、本製品を DHCP クライアントの設定（［自動的に使用中のものに割り当てる］）にしてください。）**

以上で接続は終了です。
この後、次ページ【設定前の準備】へお進みください。

# 3 設定前の準備（管理者のみ）

本製品を使用するには、設定ツールで本製品を設定する必要がありますので、
最初にその設定ツールをインストールします。
設定ツールは、「設定ツール①、②」ディスク内にあります。
ここではそのインストール手順について説明します。
（設定ツールでの設定は【第３章】以降で行います。）

「設定ツール」の準備手順 ····· 16ページ
*ステップ1*　設定用パソコンの
ネットワークを確認する ···· 17ページ
*ステップ2*　「設定ツール」をインストールする ・26ページ
*ステップ3*　印刷環境を確認する ····· 31ページ

# 「設定ツール」の準備手順

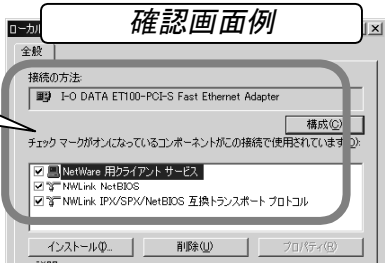
設定は、LAN（アダプタ）を搭載（接続）したパソコン１台**（設定用パソコン）**から行います。まず、設定用パソコンのネットワーク設定を確認後、「設定ツール」をインストールします。
以下のステップに従って行ってください。

**ステップ1** ……**【設定用パソコンのネットワークを確認する】**(17 ページ)

「設定ツール」を動作させるために必要な設定用パソコンのクライアントやプロトコルについて確認します。

**ネットワーク確認**

*確認画面例*

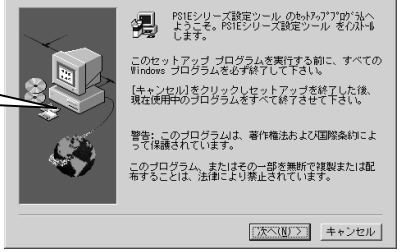



**ステップ2** ……**【設定ツールをインストールする】**(26 ページ)

本製品を設定する「設定ツール」をパソコンにインストールします。

**インストール**

*設定ツール　インストール画面*




**ステップ3** ……**【印刷環境を確認する】**(31 ページ)

本製品を利用して印刷する場合の使用するプロトコルや、NetWare サーバ環境での本製品のモードを確認します。

ステップ 1

# 設定用パソコンの準備①
# 設定用パソコンのネットワークを確認する

本製品は「設定ツール」で設定しますが、「設定ツール」を使用するには、以下のネットワークが設定されているパソコン（***設定用パソコン***）が必要です。次ページ以降の手順で確認してください。

## 設定ツールを動作させるために必要な環境

| | |
|---|---|
| ネットワークOS（日本語版） | 以下のいずれかの OS でのみ動作します。<br>・Windows 2000 *（NEC PC-9821 シリーズを除く）*<br>・Windows Me<br>・Windows 98(Second Edition 含む)<br>・Windows 95<br>・Windows NT 4.0 *（NEC PC-9821 シリーズを除く）* |
| LAN環境 | LAN（アダプタ）が正常に動作している必要があります。<br>また、以下の①のクライアントと②のプロトコルの両方がインストールされている必要があります。（確認手順は次ページ以降参照）<br>・*Windows 2000 で動作させる場合*<br>① 「NetWare 用クライアントサービス」（または Novell Client※1）<br>② 「NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル」<br>・*Windows Me で動作させる場合*<br>① 「クライアント（NetWare ネットワーク用）」（または Novell Client※2）<br>② 「IPX/SPX 互換プロトコル」<br>・*Windows 98/95 で動作させる場合*<br>① 「NetWare ネットワーククライアント」（または Novell Client※2）<br>② 「IPX/SPX 互換プロトコル」<br>・*Windows NT 4.0 で動作させる場合*<br>① 「Client Service for NetWare」（または Novell Client※1）<br>② 「NWLink IPX/SPX 互換トランスポート」 |

※1 NetWare 4.x（NDS）および 5.x（NDS）環境で使用するには、「Novell Client for Windows NT/2000」が必要です。Novell 社の Web サイトから入手可能です。

※2 NetWare 4.x（NDS）および 5.x（NDS）環境で使用するには、「Novell Client for Windows 95/98」が必要です。Novell 社の Web サイトから入手可能です。



**注意！**

**前ページの【LAN 環境】のクライアントおよびプロトコルは本製品を設定する設定用パソコンのみで必要なものです。印刷を行うパソコン側では、前ページのクライアントおよびプロトコルがインストールされていなくても問題ありません。（【印刷できるパソコン】3 ページ参照）**



**参考**

**設定は、「設定ツール」以外に Windows 標準の「telnet」からでも設定できます。**
**「telnet」で設定する場合、LAN 環境には、LAN アダプタを搭載し、TCP/IP が正常に動作していれば設定できます。手順については 199 ページを参照してください。**

**1** 設定用パソコンの電源を入れます。

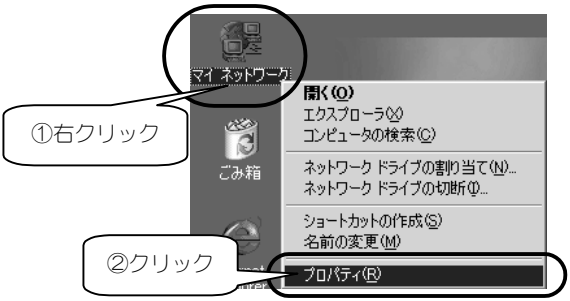
**2** 設定用パソコンのネットワーク設定を確認します。
確認はご使用のOSによって異なります。以下の該当する個所へお進みください。

- *Windows 2000をお使いの場合* → 次ページを参照してください。
- *Windows Me/98/95をお使いの場合* → 22ページを参照してください。
- *Windows NT 4.0をお使いの場合* → 24ページを参照してください。

# Windows 2000でのネットワーク設定を確認する

**1** Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

**2** [マイ ネットワーク]を右クリックし、
表示された[プロパティ]をクリックします。

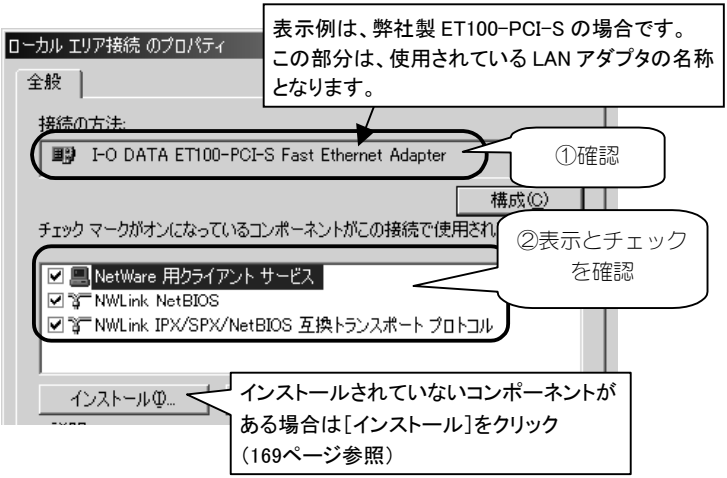



**3** [ローカルエリア接続]を右クリックし、
表示された[プロパティ]をクリックします。



**4** 以下の①～④が表示およびチェックされているかを確認します。

①[接続の方法:]にお使いのLANアダプタの表示
（以下の画面例[I-O DATA ET100-PCI-S Fast Ethernet Adapter]は、弊社製ET100-PCI-Sでの例です。）
②[NWLink NetBIOS]のチェック
③[NWLink IPX/SPX/NetBIOS互換トランスポートプロコル]のチェック
④[NetWare用クライアントサービス]※のチェック
※または[Novell Client for Windows NT/2000]






上記が
表示されていない場合は…

169 ページを
ご参照ください。



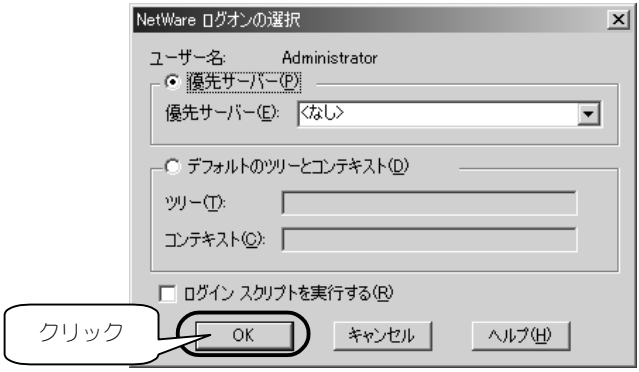
**参考 1**

**上記は本製品を設定する上で最低限必要なクライアントやプロトコルです。**
**上記以外に[インターネットプロトコル(TCP/IP)]など他のクライアントやプロトコルあるいはサービスが表示されていても特に問題ありません。(削除する必要はありません。)**

**5** 確認後、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

**参考**

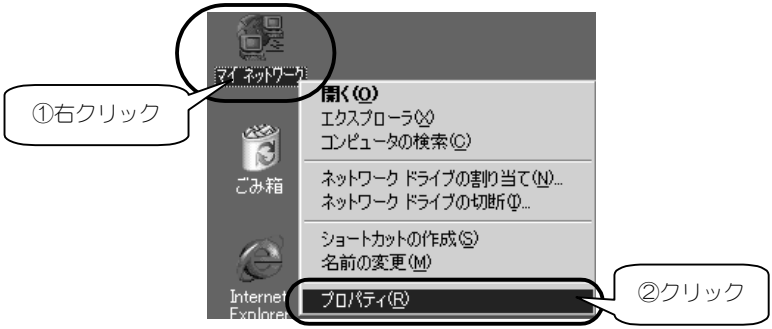
**4の手順のクライアントやプロトコルを新規にインストールした場合、パソコンを再起動すると以下の画面が表示されます。**
**そのまま[OK]ボタンをクリックしてください。**
**NetWare サーバでご利用になる場合は、ネットワーク管理者に設定を確認してください。**




この後、【ステップ2】(26 ページ)を参照して、「設定ツール」をインストールしてください。

# Windows Me/98/95でのネットワーク設定を確認する

**1**　[マイ ネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。




**2**　以下の①～③が表示されていることを確認します。（次ページ画面参照）

*①NetWare用クライアント*

*Windows Meの場合*

[クライアント（NetWareネットワーク用）]※の表示

※または[Novell Client for Windows 95/98]

*Windows 98/95の場合*

[NetWareネットワーククライアント]※の表示

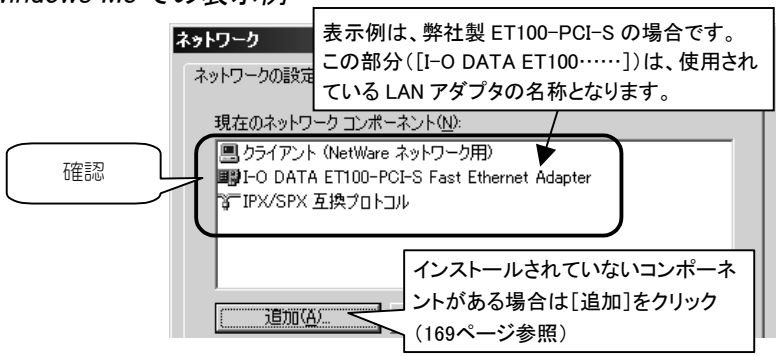
※または[Novell Client for Windows 95/98]

*②お使いのLANアダプタの表示*

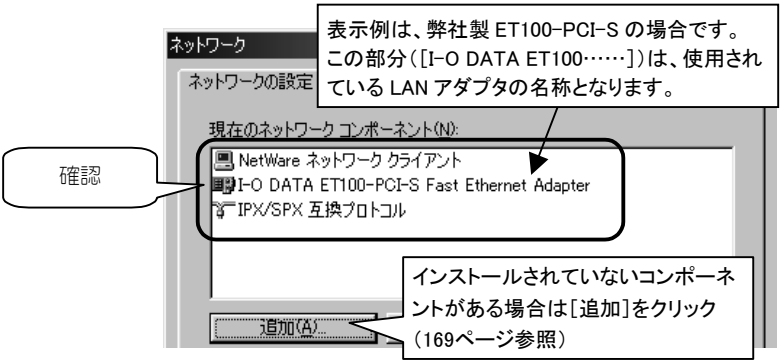
（次ページの画面例[I-O DATA ET100-PCI-S Fast Ethernet Adapter]は、弊社製ET100-PCI-Sでの例です。）

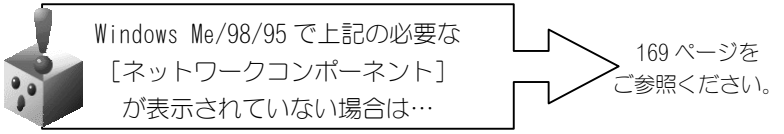
*③[IPX/SPX互換プロトコル]の表示*

●*Windows Me での表示例*




●*Windows 98/95 での表示例*




**参考 1**

**上記は本製品を設定する上で最低限必要なクライアントやプロトコルです。**
**上記以外に[TCP/IP]など他のクライアントやプロトコルあるいはサービスが表示されていても特に問題ありません。(削除する必要はありません。)**

**3**　確認後、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

この後、【ステップ2】(26 ページ)を参照して、「設定ツール」をインストールしてください。

# Windows NT 4.0でのネットワーク設定を確認する

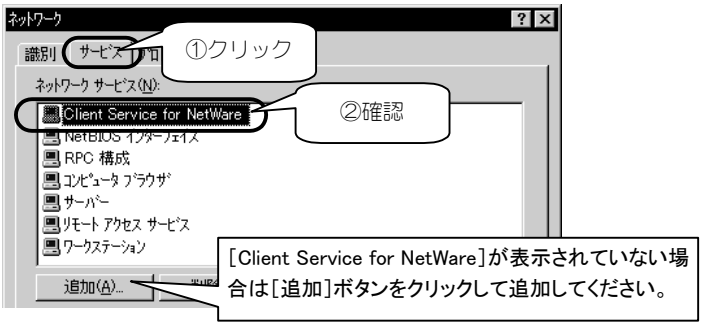
**1** Administrator権限でWindows NT 4.0にログオンします。

**2** [ネットワークコンピュータ]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



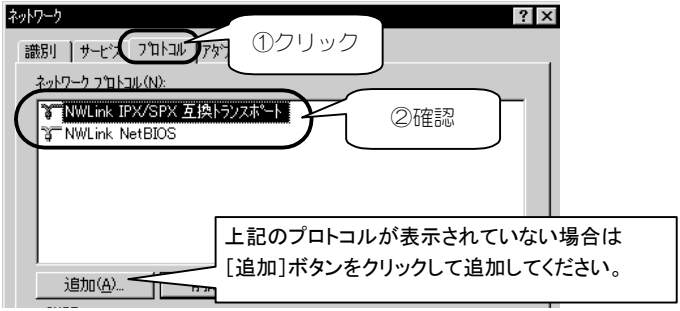

**3** [サービス]タブをクリックし、
[Client Service for NetWare]※が表示されていることを確認します。

※または[Novell Client for Windows NT/2000]



**4** [プロトコル]タブをクリックし、以下の2つのプロトコルが表示されていることを確認します。

・[NWLink IPX/SPX互換トランスポート]
・[NWLink NetBIOS]




**5** 確認後、[閉じる]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

**参考**

**3の手順や4の手順のクライアントやプロトコルを新規にインストールした後、パソコンを再起動すると以下の画面が表示されます。**
**そのまま[OK]ボタンをクリックしてください。**
**NetWare サーバでご利用になる場合は、ネットワーク管理者に設定を確認してください。**




この後、次ページ【ステップ2】を参照して、「設定ツール」をインストールしてください。

# ステップ 2

## 設定用パソコンの準備②
## 「設定ツール」をインストールする

本製品を設定するための設定ツールをインストールします。
設定ツールは、「設定ツール①、②」ディスク内にあります。
次ページ以降の手順でインストールしてください。

### 用意するもの

・添付の「設定ツール①」、「設定ツール②」ディスク




※【バックアップディスクの作成】(8ページ)で作成したディスクの方をご使用ください。



**注意！**

**パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、6ページを参照してください。**
**次ページ以降では、「設定ツール①」および「設定ツール②」ディスクの挿入は不要となります。**
**また、次ページ3での手順の[Setup]ファイルは、展開したフォルダ内の[Setup]をダブルクリックしてください。29 ページ7での手順で指定する[パス:]欄には、以下のように入力してください。**

**例)フォルダ名 xxxxx の下で展開した場合の入力例**
**C:¥xxxxx （ハードディスクドライブが C ドライブの場合）**

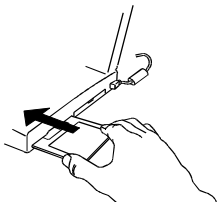
# 「設定ツール」のインストール

**1** Windowsを起動します。

**注意！**

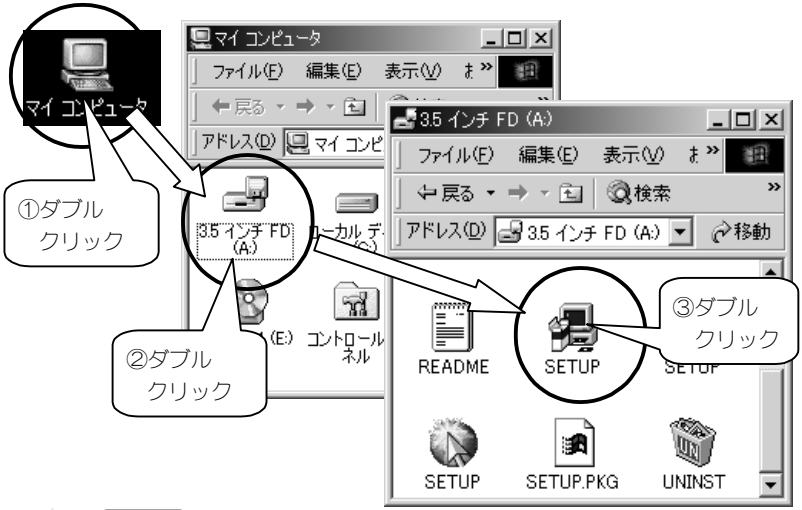
**Windows 2000 および Windows NT 4.0 の場合は、Administrator 権限を持ったユーザーでログインしてください。**

**2** 「設定ツール①」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。



設定ツール①

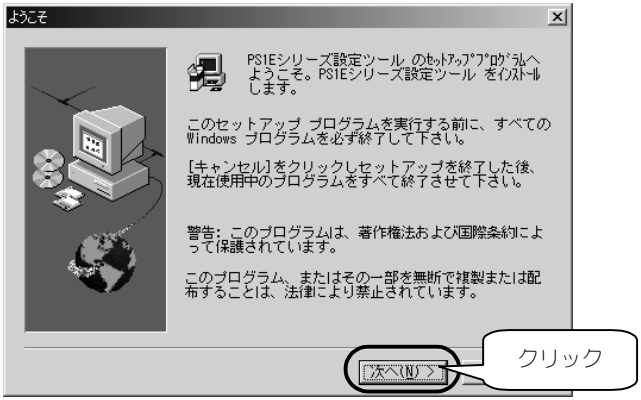
**3** [マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Setup]を
順にダブルクリックします。



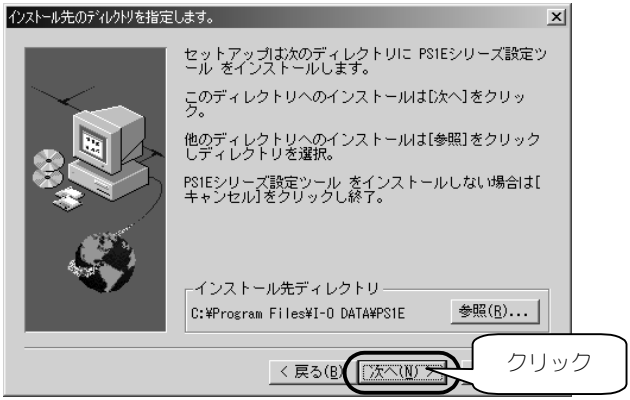

**参考**

**お使いの環境によっては、[Setup]と表示されずに、[Setup.exe]と表示される場合があります。**

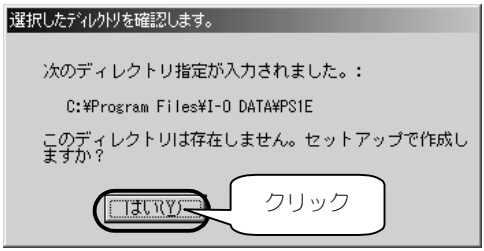
**4** 以下のインストール画面が表示されます。
[次へ]ボタンをクリックします。



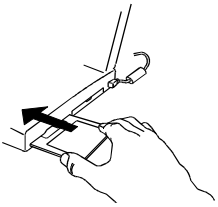

**5** インストール先を指定する画面が表示されます。
[次へ]ボタンをクリックします。



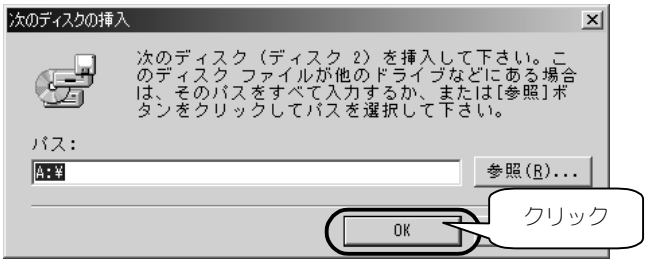

**6** [はい]ボタンをクリックします。



**7** 以下の画面が表示されましたら、
フロッピーディスクドライブの
アクセスランプが消えていることを
確認後、ディスクを
「設定ツール②」ディスクに
入れ替えて、[OK]ボタンをクリックします。



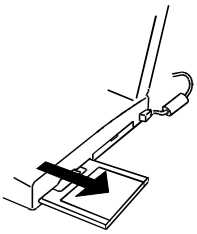
設定ツール②




**8** インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。
[終了]ボタンをクリックします。




**9** フロッピーディスクドライブの
アクセスランプが消えていることを
確認後、ディスクを抜きます。



以上でインストールは終了です。
この後、設定ツールでの本製品の設定、また、パソコン側での印刷の設定を行います。
ただし、印刷に使用するプロトコル（TCP/IP、NetBEUI）やNetWare環境などによって設定が異なります。
次ページ以降を参照して該当する個所へお進みください。

ステップ 3

## 印刷環境の確認
# 印刷環境を確認する

「設定ツール」をインストールしたら、次に印刷に使用するプロトコルを決めます。

本製品を利用して印刷する場合、以下の方法があります。

*①TCP/IPを使って印刷する(33ページ【印刷環境例】参照)*

*②NetBEUIを使って印刷する(34ページ【印刷環境例】参照)*

*③NetWareサーバ環境で印刷する*

NetWareサーバ環境ではさらに本製品のモードによって以下の2通りがあります。

*③-1 本製品を「プリントサーバモード」にして印刷する*
*(35ページ【印刷環境例】参照)*

*③-2 本製品を「リモートプリンタモード」にして印刷する*
*(36ページ【印刷環境例】参照)*

手順が異なりますので、以下の該当する個所へお進みください。

| 印刷環境(プロトコル、サーバ) | 参照個所 |
|---|---|
| TCP/IPを使って印刷する場合 | 【TCP/IPでの印刷】(37ページ) |
| NetBEUIを使って印刷する場合 | 【NetBEUIでの印刷】(95ページ) |
| NetWareサーバ環境で本製品をプリントサーバモードにして印刷する場合 | 【NetWare(プリントサーバモード)での印刷】(125ページ) |
| NetWareサーバ環境で本製品をリモートプリンタモードにして印刷する場合 | 【NetWare(リモートプリンタモード)での印刷】(149ページ) |



*参考 1*

**NetBEUI のみのプロトコルで印刷する場合は、本製品を工場出荷時のまま、特に設定を変更せずに印刷することができます。**



## 参考2

*[NetBEUI, TCP/IP、NetWare の特徴]*

| | |
|---|---|
| NetBEUI | ①設定が簡易<br>②ルーティング不可（小規模LAN用） |
| TCP/IP | ①設定が煩雑<br>②ルーティング可（大規模LAN用） |
| NetWare | ①設定が煩雑<br>②ルーティング可（大規模LAN用）<br>③NetWareサーバが必要 |



## 参考3

設定時に必要なプロトコル（17 ページ参照）と印刷用に使用するプロトコルは異なります。
例えば、印刷用に使用するプロトコルに TCP/IP が設定されていれば、設定時に必要なプロトコルがインストールされていなくても印刷できます。
ただし、設定用パソコンからも印刷する場合は、設定時に必要なプロトコルと同時に印刷時に使用するプロトコルの両方がインストールされている必要があります。



## 参考4

[本製品を NetWare でご利用になる場合]

Novell ディレクトリサービス（NDS）とバインダリの両方のネットワークをサポートしています。各ネットワークで、本製品をプリントサーバモードまたはリモートプリンタモードとして設定します。

*▼各モードでの特徴*

| | プリントサーバモード | リモートプリンタモード |
|---|---|---|
| サーバの負荷 | 小さい | 大きい |
| 処理速度 | 速い | 遅い |
| ライセンス数 | 本製品1台につき1ユーザ必要 | 必要なし |

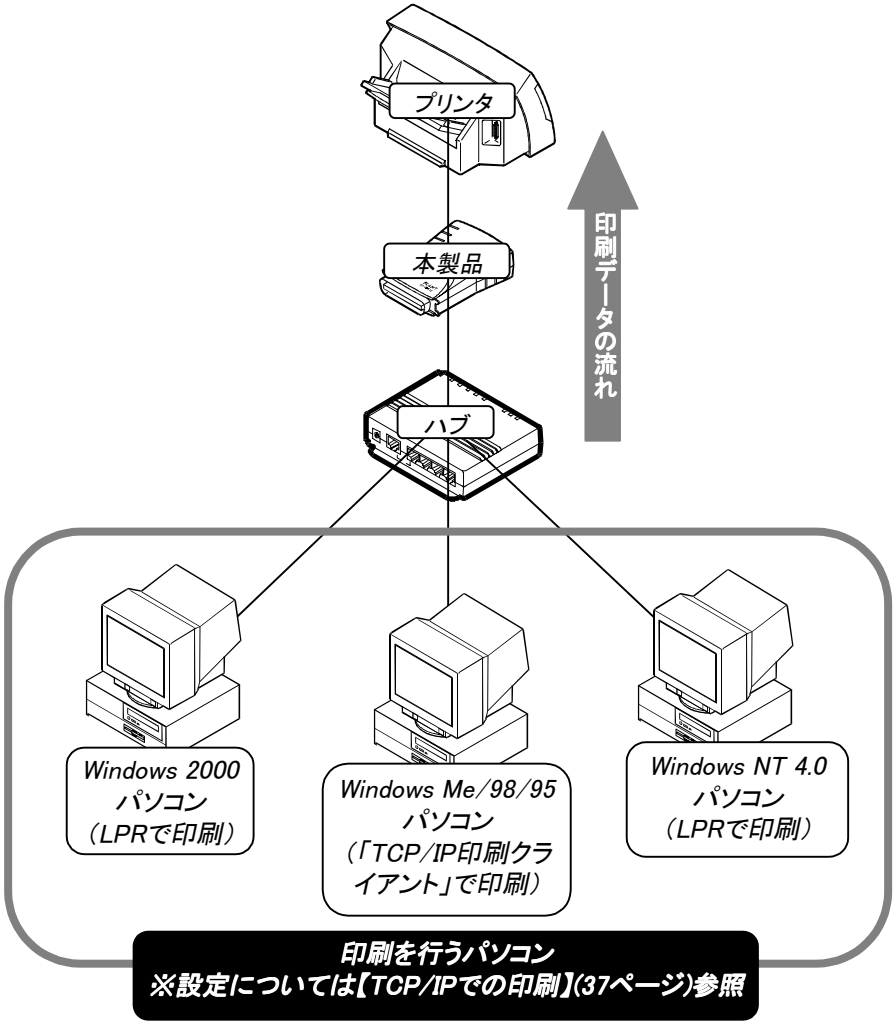


## 注意！

本製品を NetWare に登録するためには、管理者権限が必要になります。

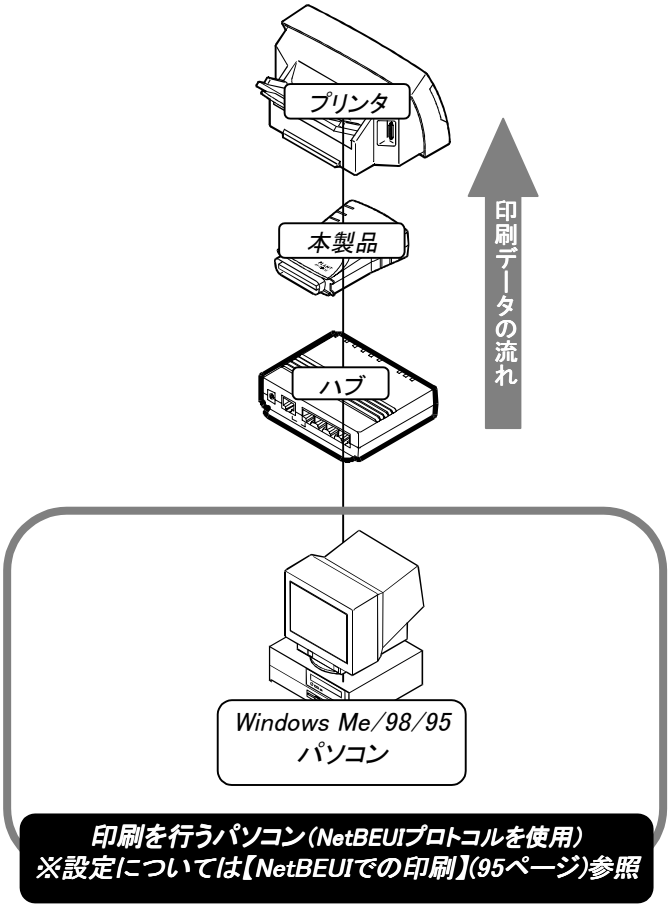
# TCP/IPでの印刷環境例

以下は、ネットワークプロトコルの[TCP/IP]を利用してパソコンから印刷する例です。
本製品およびパソコンに[TCP/IP]がインストールされている必要があります。
詳細は、【TCP/IPでの印刷】(37ページ)を参照してください。



# NetBEUIでの印刷環境例

以下は、ネットワークプロトコルの[NetBEUI]を利用してパソコンから印刷する例です。パソコンに[NetBEUI]プロトコルがインストールされている必要があります。
詳細は、【NetBEUIでの印刷】(95ページ)を参照してください。

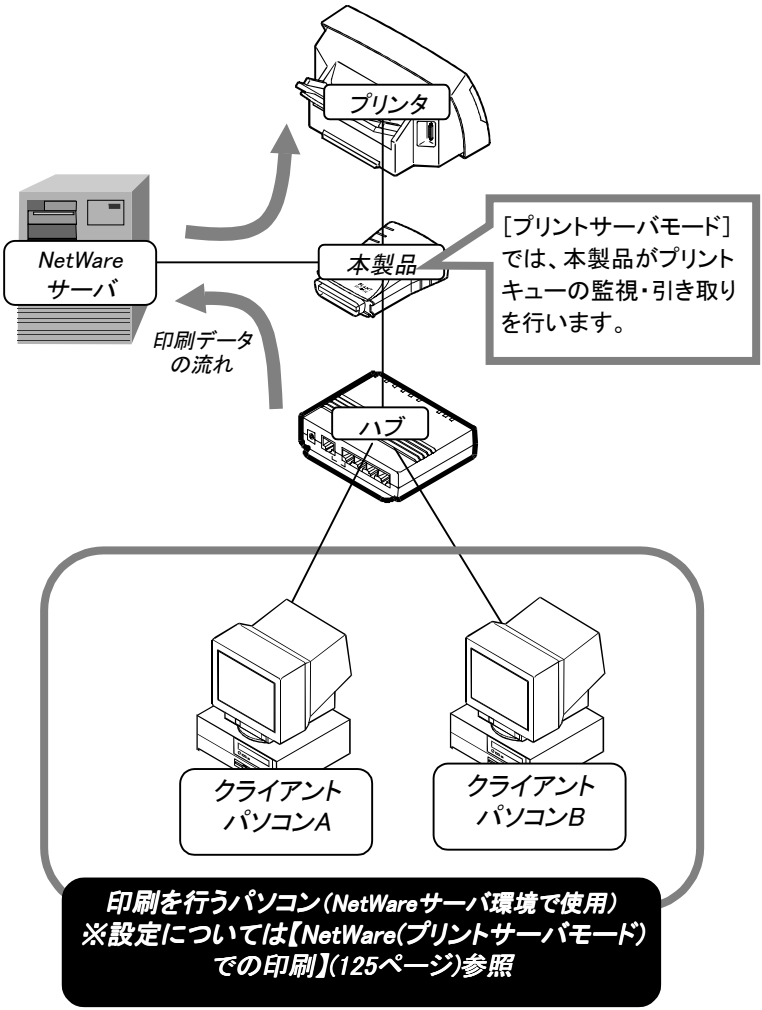



**注意！**

**Windows 2000 および Windows NT 4.0 から NetBEUI プロトコルを利用しての印刷は可能ですが、OS の仕様上、印刷が終了するまで、アプリケーションが次の動作に移れないため、弊社では NetBEUI による印刷は推奨しておりません。**

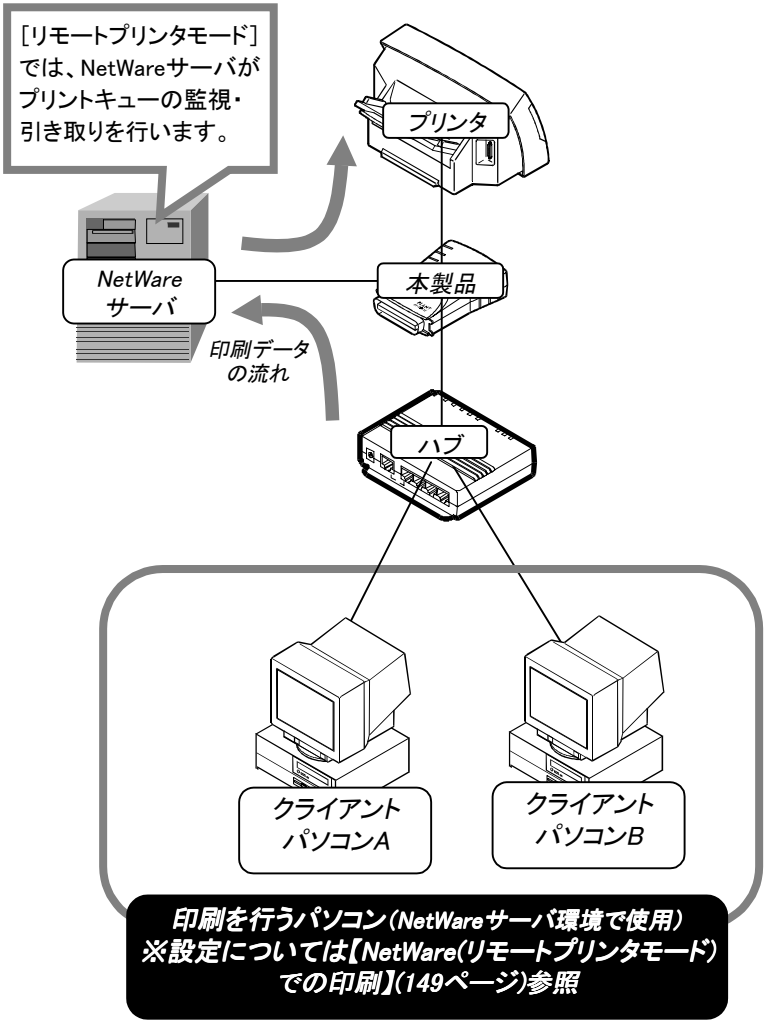
# NetWare(プリントサーバモード)での印刷環境例

以下は、NetWareサーバ環境で本製品を[プリントサーバモード]にしてパソコンから印刷する例です。
[プリントサーバモード]では、クライアントからのプリントジョブは、NetWareサーバ内に貯えられますが、本製品がそのプリントキューを監視し、プリントキューを引き取ります。このため、NetWareサーバの負荷は軽減されます。ただし、ライセンスを1つ使います。詳細は、【NetWare(プリントサーバモード)での印刷】(125ページ)を参照してください。



# NetWare(リモートプリンタモード)での印刷環境例

以下は、NetWareサーバ環境で本製品を[プリントサーバモード]にしてパソコンから印刷する例です。
[プリントサーバモード]では、クライアントからのプリントジョブはNetWareサーバ内に貯えられ、そのプリントキューをNetWareサーバが監視し、本製品に送信します。このため、NetWareサーバの負荷が大きくなります。ただし、ライセンスは使いません。詳細は、【NetWare(リモートプリンタモード)での印刷】(149ページ)を参照してください。



# 4 TCP/IP での印刷

この章では、TCP/IPを使ってパソコンから印刷する場合の設定方法を説明します。


～ *設定編* ～

本製品での設定(設定用パソコンでの設定)…… 38ページ
*ステップ1* 本製品の[ポート名]を設定する…… 39ページ
*ステップ2* 本製品の[IP アドレス]を設定する…… 45ページ

～ *印刷編* ～

TCP/IP を使って印刷する(パソコンからの印刷)…… 52ページ
*ステップ1* パソコンの IP アドレスを確認する …… 54ページ
*ステップ2* 設定した IP アドレスを確認する …… 62ページ
*ステップ3* 印刷するには …… 65ページ
Windows Me/98/95 で印刷するには …… 66ページ
Windows 2000 で印刷するには …… 81ページ
Windows NT 4.0 で印刷するには …… 88ページ

設定編

# 本製品の設定
## （設定用パソコンでの設定）

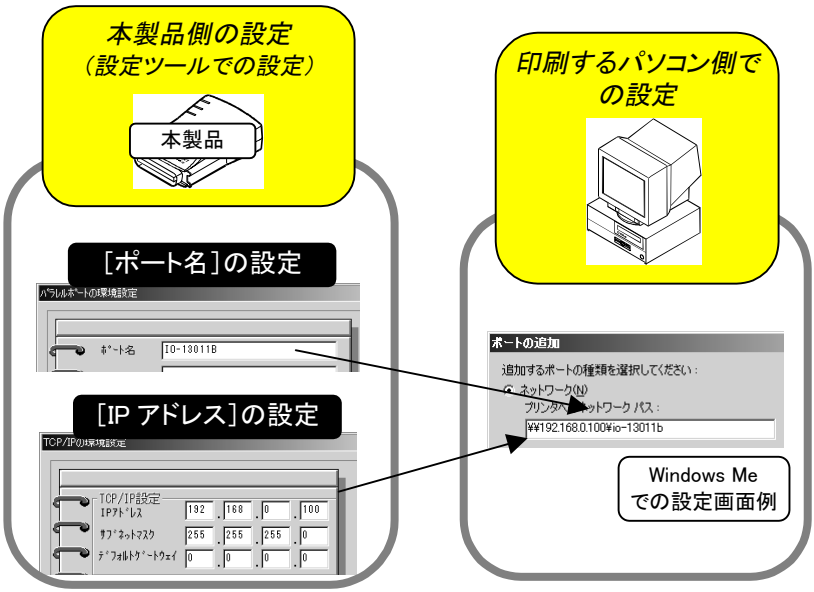
TCP/IP 経由で本製品を利用して印刷するには、最初に本製品を設定する必要があります。設定は本製品の管理者のみ行ってください。

### ●本製品の設定に関して

本製品を利用して印刷するには、印刷するパソコン側のプリンタ設定時に以下の２つを設定する必要があります。そのため、最初に以下の２つを設定します。

- *本製品の［ポート名］・・・・・・［ステップ1］（次ページ）*
  ※特に設定しなくても（出荷時設定のまま）使用できます。
- *本製品の［IP アドレス］・・・・・［ステップ2］（45 ページ）*
  ※必ず設定する必要があります。（出荷時設定のままでは使用できません。）

次ページ以降のステップに従って設定してください。



ステップ 1

## 設定編①
# 本製品の[ポート名]を設定する

最初に印刷用パソコンで必要な本製品の［ポート名］を設定します。設定は本製品の管理者のみ行います。

*※[ポート名]は、本製品の出荷時設定のままで使用することもできます。その場合は特に設定する必要はありません。[ポート名]をメモして【ステップ2】(45ページ)へお進みください。*

本製品の［ポート名］は出荷時、以下のように設定されています。
次ページの手順は、本製品の［ポート名］を工場出荷時の値から変更したい場合や確認したい場合のみ設定を行ってください。

*《出荷時の[ポート名]》*

| | |
|---|---|
| ポート名 | IO-xxxxxx<br>※上記の xxxxxx は、本製品の[MAC ADDRESS]の「00A0B0」の後の下6桁の数値です。[MAC ADDRESS]は本製品底面のラベル面に記載されています。<br>（【接続する】11ページ*3* の手順参照） |



*参考*

**[ポート名]は、TCP/IP を利用して印刷するパソコン側がプリンタを設定する際に必要な名称です。**
**上記の出荷時設定（の名称）のものを、そのまま設定して印刷することもできます。**

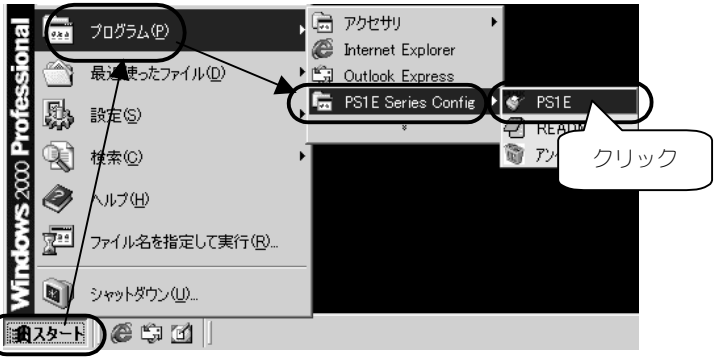
*・本製品を出荷時設定のままでご利用になる場合*

次ページ以降を読み飛ばし、【ステップ２】（45ページ）へお進みください。

*・本製品の設定を変更したい場合*

次ページへお進みください。

**1** [スタート]→[プログラム]→[PS1E Series Config]→[PS1E]をクリックします。




**2** 設定ツール画面の[サーバデバイス]をクリックします。




ここに表示される[サーバ名]が本製品です。(表示はお買い求めの本製品により異なります。)
[サーバ名]については次ページの【参考】を参照してください。



本製品が
表示されない場合は…

168 ページを
ご参照ください。



**参考**

**[サーバデバイス]をクリックする以外に、ボタンをクリックして設定することもできます。**

参考

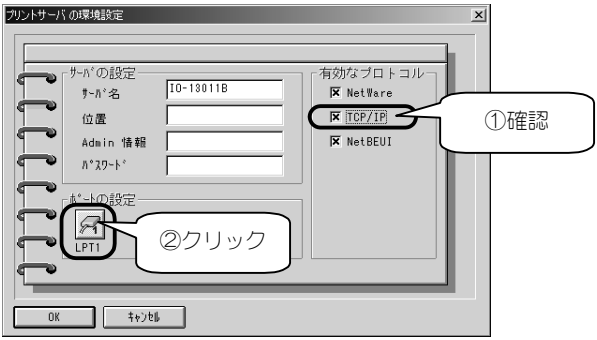
*[サーバ名]について*

**本製品出荷時の[サーバ名]は、IO-xxxxxx と表示されます。(xxxxxx には、本製品の[MAC ADDRESS]の「00A0B0」の後の下6桁の数値です。[MAC ADDRESS]は本製品底面のラベル面に記載されています。)**

**3** [有効なプロトコル]内の[TCP/IP]にチェックが入っていることを確認します。

※以下の[サーバの設定]欄の項目については特に入力する必要はありません。必要な場合のみ入力してください。

確認後、[ポートの設定]内の[LPT1]ボタンをクリックします。



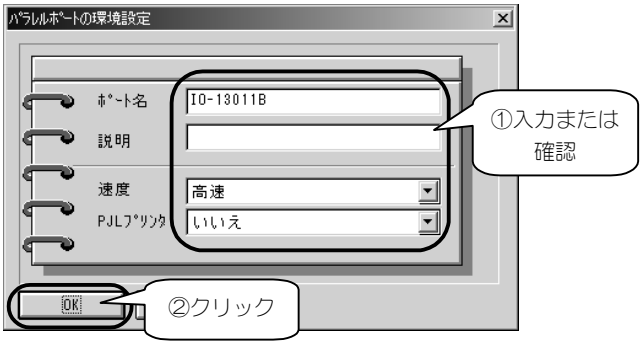

参考

**[サーバの設定]欄の各項目は特に入力する必要はありません。**

| | |
|---|---|
| サーバ名 | 適当な名前を付けます。(出荷時の[サーバ名]のまま印刷は可能です。)<br>"半角英数文字"および"-"15文字以下) |
| 位置 | 設置場所情報を入力します。 |
| Admin情報 | 管理者の情報を入力します。(管理者の名前など) |
| パスワード | パスワードを設定します。(8文字以下)<br>※大文字、小文字の区別あり<br>※パスワードを忘れてしまった場合は、PLANTコールセンターまでお問い合わせください。(232ページ参照) |

## 4 各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックします。[ポート名]はメモしておいてください。

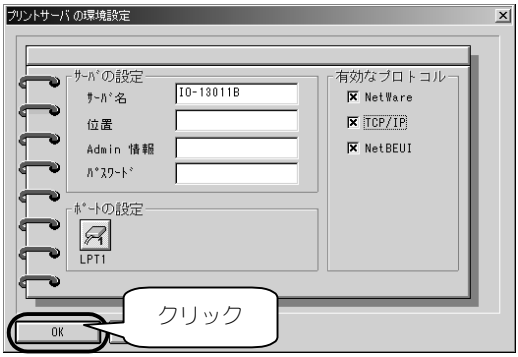
| | |
|---|---|
| ポート名 | この名称と【ステップ2】(45ページ)で設定する本製品の[IPアドレス]を印刷するパソコン側に設定します。<br>任意の名前(お好きな名前)を付けられます。(出荷時の名称のままでも印刷用パソコンに設定できます。)<br>("半角英数文字"および"-"32文字以下)<br>※[ポート名]は印刷するパソコンでプリンタ設定時に必要となりますので、メモしておいてください。 |
| 説明 | ポートに対するコメントを入力します。<br>(特に入力する必要はありません。) |
| 速度 | 通常は「高速」でご使用ください。文字化けなどの不具合が出る場合は、「低速」でご使用ください。 |
| PJLプリンタ | PJL※対応プリンタの場合は[はい]に設定してください。<br>※Printer Job Language:ヒューレットパッカード社のプリンタ言語 |




**参考**

**お使いのプリンタがPJL対応プリンタかどうかは、プリンタの取扱説明書をご覧になるか、または、プリンタメーカーにご確認ください。**

**5** [OK]ボタンをクリックします。




**6** [環境設定を保存]をクリックします。



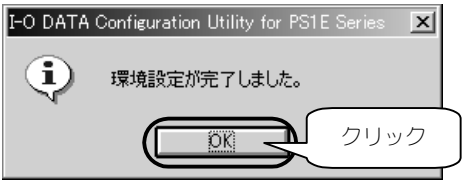

**参考**

**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**7** [はい]ボタンをクリックします。




**8** [OK]ボタンをクリックします。
※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまでに数十秒かかる場合があります。




**9** [ファイル]メニュー→[PS1Eの終了]をクリックします。
以下の画面が表示されます。
環境ファイルを保存する場合は、[はい]ボタンをクリックし、任意の名前を付けて保存します。
保存しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。




**参考**

**環境ファイルは、設定ツールのデータ保存用ファイルです。**
**プリントサーバ本体への設定保存値は、上記7 と8 の手順で行っていますので、9 の手順の画面で[いいえ]ボタンをクリックしても設定が保存されないといったことはありません。**

以上で本製品の[ポート名]の設定は終了です。次に次ページ以降を参照して本製品の[IP アドレス]を設定してください。

ステップ 2

## 設定編②

# 本製品の[IP アドレス]を設定する

【ステップ１】で［ポート名］を設定したら、次に本製品の IP アドレスを設定します。設定は本製品の管理者のみ行います。

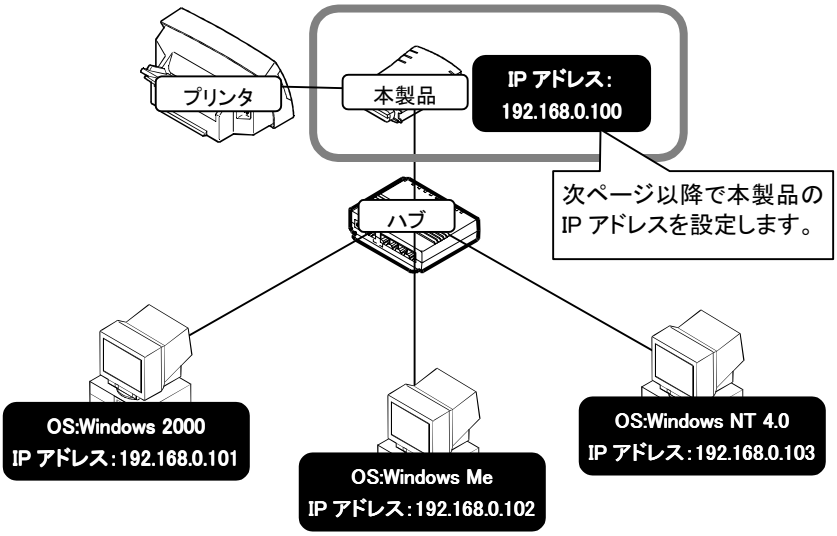
本製品は出荷時、以下のように設定されていますが、出荷時のままでは使用できません。

| | |
|---|---|
| IPアドレス | 1.1.1.1 |
| サブネットマスク | 255.0.0.0 |
| ゲートウェイ | 0.0.0.0 |

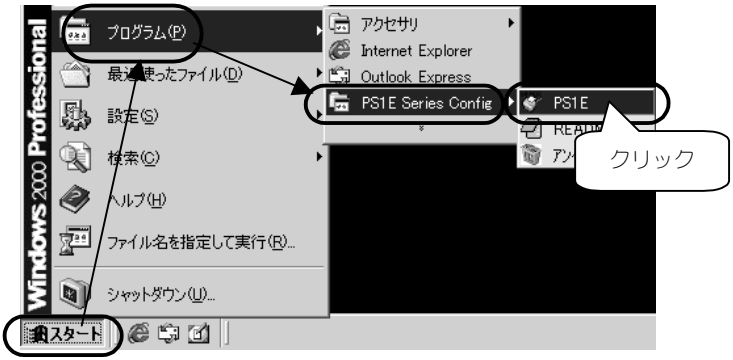
*注意！*
この IP アドレスのままでは使用できませんので必ず変更してください。

TCP/IPを使用して印刷を行うには、本製品のIPアドレスをご使用のネットワークに応じた値に設定する必要があります。
次ページ以降の手順に従ってIPアドレスを設定してください。

*［IP アドレス設定例］*



**1** [スタート]→[プログラム]→[PS1E Series Config]→[PS1E]をクリックします。




**2** 設定ツール画面の[TCP/IPプロトコル]をクリックします。




ここに表示される[サーバ名]が本製品です。(表示はお買い求めの本製品により異なります。)
[サーバ名]については次ページ【参考】を参照してください。



本製品が
表示されない場合は…

168 ページを
ご参照ください。



**参考**

**[TCP/IP プロトコル]をクリックする以外に、IP ボタンをクリックして IP アドレスを設定することもできます。**

参考

*[サーバ名]について*

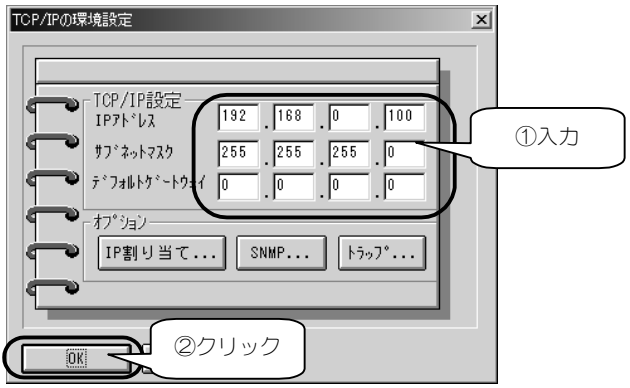
**本製品出荷時の[サーバ名]は、IO-xxxxxx と表示されます。(xxxxxx は、本製品の[MAC ADDRESS]の「00A0B0」の後の下6桁の数値です。MAC アドレスは本製品底面のラベル面に記載されています。)**

**3** 本製品の[IPアドレス][サブネットマスク][デフォルトゲートウェイ]を入力します。[IPアドレス]はメモしておいてください。
入力後、[OK]ボタンをクリックします。

※[IPアドレス]は印刷するパソコンでプリンタ設定時に必要です。

※本製品をDHCPクライアントとしてご利用になる場合は49ページを参照してください。

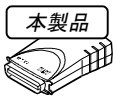
| | |
|---|---|
| IPアドレス | 本製品に設定する IP アドレスをご使用のネットワーク環境に合わせて入力します。<br>＜設定例＞ （次ページ参照）<br>192.168.0.xxx<br>（“xxx”には 1～254 までの数字で他のネットワーク機器[パソコンを含む]と重ならない数字を入力します。） |
| サブネットマスク | 本製品のサブネットマスクをご使用のネットワーク環境に合わせて入力します。<br>＜設定例＞ （次ページ参照）<br>255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ | 同一セグメントネットワーク内の存在するゲートウェイアドレスを設定します。LAN 内の印刷の場合には、特に設定しなくても問題ありません。<br>ただし、Windows パソコンでルータを越えて TCP/IP で印刷する場合は必ず設定してください。 |



## 参考：手動でのIPアドレス・サブネットマスク設定例

数台および数十台のネットワーク環境でご使用になる場合、パソコンや IP アドレスを使用するネットワーク機器（本製品を含むプリントサーバ、ルータ、アクセスポイントなど）には、通常以下のような[IP アドレス]と[サブネットマスク]が使用されます。

| | |
|---|---|
| IPアドレス | 192.168.0.xxx<br>（“xxx”には　1～254 までの数字で他のネットワーク機器[パソコンを含む]と重ならない数字を入力します。） |
| サブネットマスク | 255.255.255.0<br>（IPアドレスとは異なり、すべてのパソコンやネットワーク機器で[255.255.255.0]とします。） |




192.168.0.100
（255.255.255.0）

*上側が IP アドレス*
*（）内はサブネットマスク*




192.168.0.1
（255.255.255.0）




192.168.0.2
（255.255.255.0）




192.168.0.3
（255.255.255.0）

・・・・・・・・・

この後は、順に
192.168.0.4
192.168.0.5
192.168.0.6
・・・・・・・・・・・・・・
と設定します。




***設定する[IP アドレス]について***

**上記例でパソコンに[192.168.0.1]から順に設定していますが、他のすべてのパソコンやネットワーク機器と重ならない値ならば、192.168.0.1 から設定しなくても問題ありません。また、連続している必要もありません。**




192.168.0.110




192.168.0.120




192.168.0.130

## 本製品をDHCPクライアントとしてご利用になる場合の注意

ネットワーク内に DHCP サーバ（例：Windows 2000 サーバおよび Windows NT サーバなど）がある場合は、本製品を DHCP クライアントとして設定することもできます。
47 ページ画面の[IP 割り当て…]ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、[自動的に使用中のものを割り当てる]をチェックし、[OK]ボタンをクリックすれば DHCP サーバより IP アドレスを自動で取得できます。




ただし、その場合は、DHCP サーバで本製品の IP アドレスを予約するようお薦めします。

DHCP を使用すると IP アドレスの管理が簡単になりますが、本製品を含め各 DHCP クライアントが使用する IP アドレスが固定でなくなります。本製品の場合、本製品の IP アドレスが変わると印刷をするパソコンの印刷用設定を変更する必要があります。（各パソコンの印刷用設定時に本製品の IP アドレスを指定するためです。）
そのため、DHCP サーバで各 DHCP クライアントの IP アドレスの予約ができる場合は、DHCP サーバ設定時に本製品の IP アドレスを予約してください。

**4** [環境設定を保存]をクリックします。




**参考**

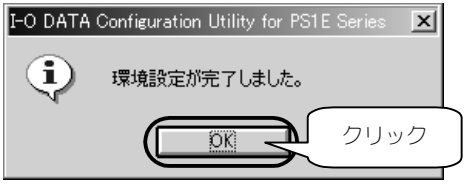
**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**5** [はい]ボタンをクリックします。




**6** [OK]ボタンをクリックします。

※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまでに数十秒かかる場合があります。



**7** [ファイル]メニュー→[PS1Eの終了]をクリックします。
以下の画面が表示されます。
環境ファイルを保存する場合は、[はい]ボタンをクリックし、任意の名前を付けて保存します。
保存しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。




**参考**

**環境ファイルは、設定ツールのデータ保存用ファイルです。**
**プリントサーバ本体への設定保存値は、前ページ*5* と*6* の手順で行っていますので、*7* の手順の画面で[いいえ]ボタンをクリックしても設定が保存されないといったことはありません。**

以上で本製品の設定は終了です。次に次ページ以降を参照して印刷するための設定を行ってください。

印刷編

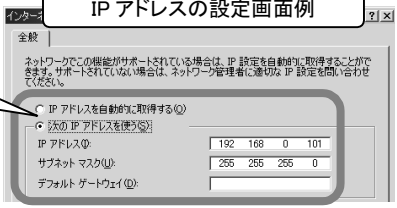
# TCP/IP を使って印刷する
## （パソコンからの印刷）

本製品の［ポート名］［IP アドレス］を設定すれば、各パソコンから本製品を利用して印刷することができます。
ここでは、実際に印刷するまでの手順について説明します。
以下のステップに沿ってお進みください。

**ステップ 1** ……【パソコンの IP アドレスを設定する】(54 ページ)

本製品を利用するパソコンの IP アドレスを確認します。

IP アドレスの設定画面例

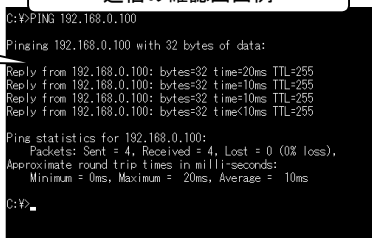



IP アドレスの設定

**ステップ 2** ……【設定した IP アドレスを確認する】(62 ページ)

設定した IP アドレスが正しいかを確認します。

通信の確認画面例




IP アドレスの確認

**ステップ3** ……【印刷するには】(65 ページ)

各 OS 毎のパソコンからの印刷方法について説明します。

*Windows Me/98/95で印刷するには*

・TCP/IP印刷クライアント

……【Windows Me/98/95で印刷するには】(66ページ)

*Windows 2000で印刷するには*

・LPR印刷……【Windows 2000で印刷するには】(81ページ)

*Windows NT 4.0で印刷するには*

・LPR印刷……【Windows NT 4.0で印刷するには】(88ページ)

# ステップ 1

## 印刷編①

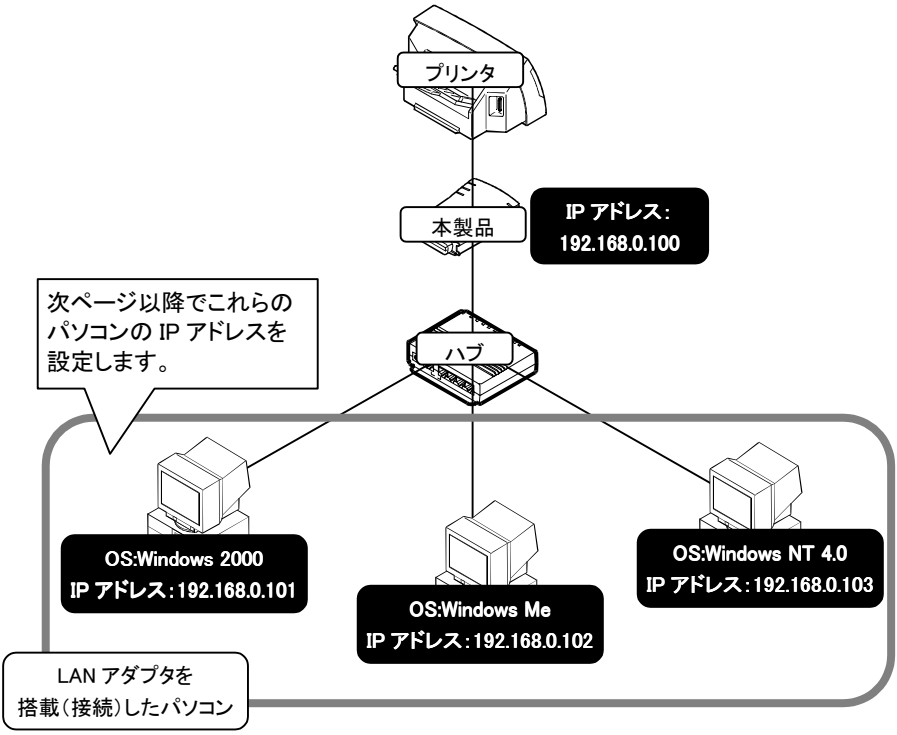
## パソコンの IP アドレスを設定する

本製品でTCP/IPを使ってパソコンから印刷するには、以下の条件が必要です。

*条件：IPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている*

ここでは、各パソコンでのIPアドレスを次ページ以降の手順で設定します。

*［印刷環境例］*



# IP アドレスを設定・確認する

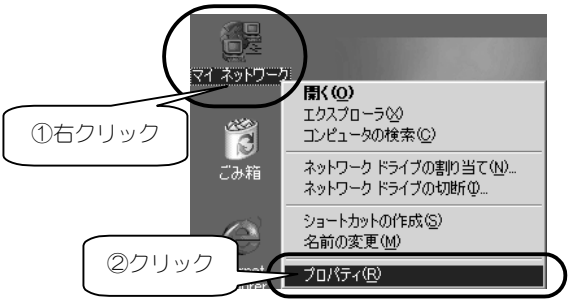
印刷するパソコン側のIPアドレスを設定します。


- *Windows 2000 の場合*　→　本ページ以降参照
- *Windows Me/98/95 の場合* →　58 ページ以降参照
- *Windows NT 4.0 の場合*　→　60 ページ以降参照

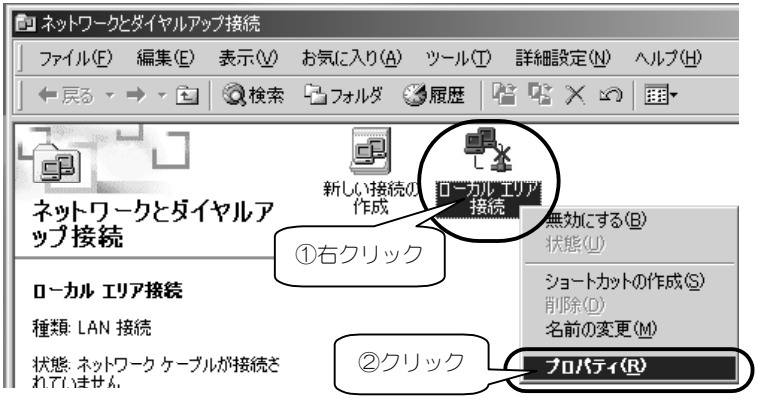

## Windows　2000 の場合

**1**　Administrator権限でWindows　2000にログオンします。

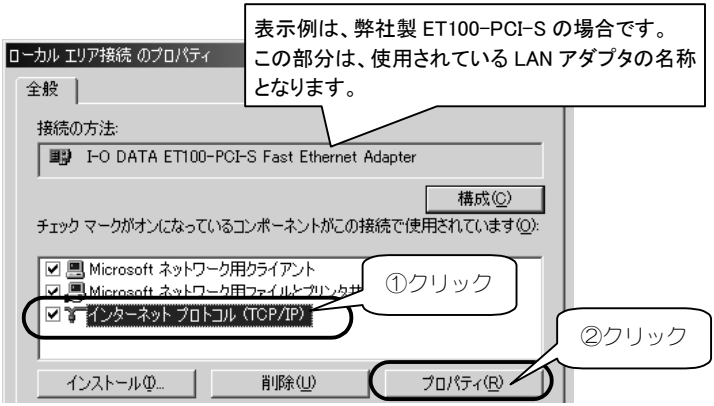
**2**　[マイ　ネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



**3** [ローカル　エリア接続]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。




**4** [インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。



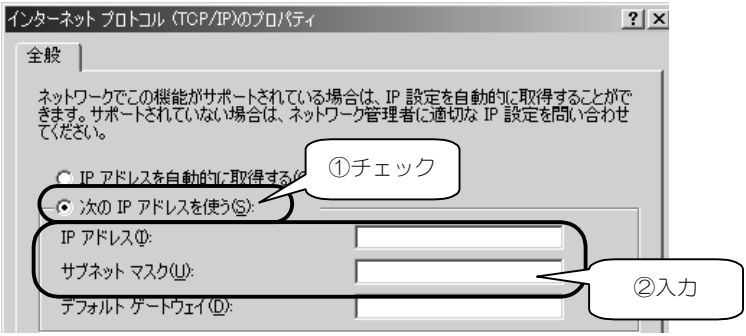

**参考**

**上記の表示以外に[NetBEUI プロトコル]など他のクライアントやプロトコルおよびサービスなどが表示されていても問題ありません。**

**5** [インターネット プロトコル（TCP/IP）のプロパティ]画面で
IPアドレスの設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。
設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

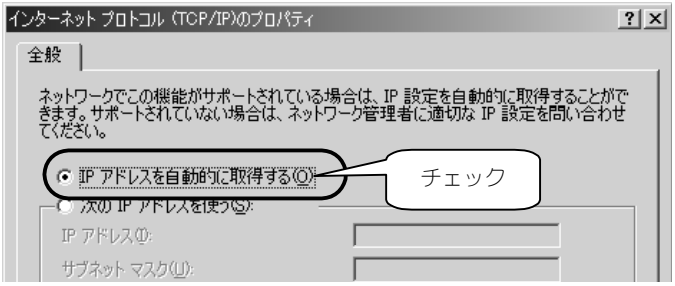
**・ネットワーク上に DHCP サーバが無い場合**

→ IP アドレスを手動で入力します。
他のパソコンや本製品を含むネットワーク機器の IP アドレスと重なら
ない値を設定してください。設定する値がわからない場合は、48 ペー
ジを参照してください。




**・ネットワーク上に DHCP サーバがある場合**

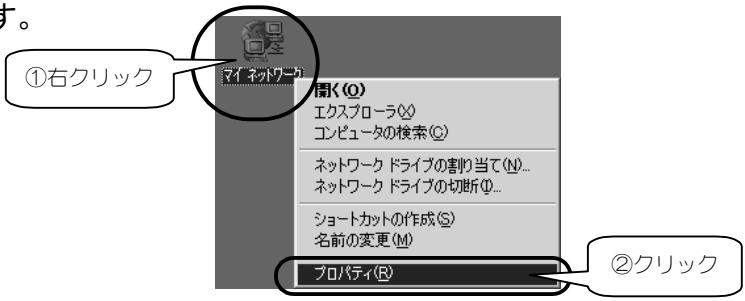
→ [IP アドレスを自動的に取得する]を設定します。




この後、設定したIPアドレスが正しいかを確認します。
【設定したIPアドレスを確認する】(62ページ)へお進みください。

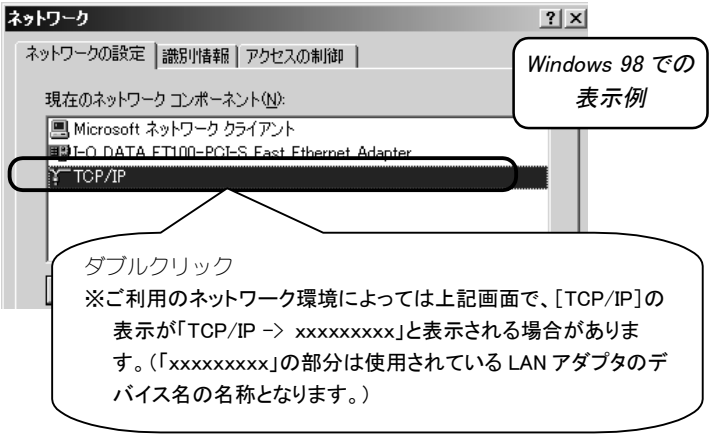
## Windows　Me/98/95 の場合

**1** デスクトップ上の[マイネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。




**2** [TCP/IP]をダブルクリックします。

※アダプタが複数ある場合は、[TCP/IPー>xxxxxxxx]をダブルクリックします。（xxxxxxxxはLANアダプタのデバイス名の名称です。）






Windows Me/98/95 で TCP/IP が表示されていない場合は…

【困ったときには】の 175 ページをご参照ください。



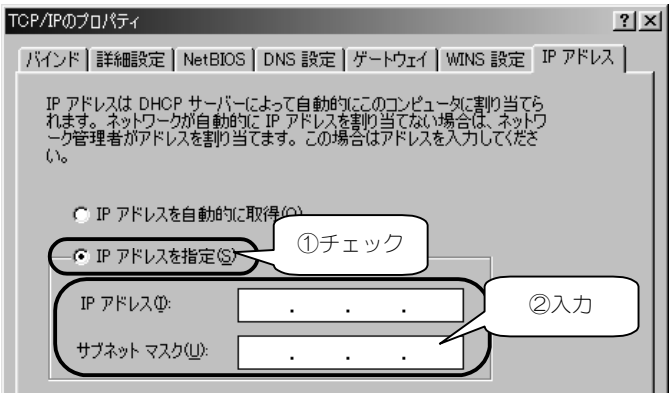
**参考**

**上記の表示以外に[NetBEUI]など他のクライアントやプロトコルおよびサービスなどが表示されていても問題ありません。**

**3** [TCP/IPのプロパティ]画面の[IPアドレス]タブで
IPアドレスの設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。
設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

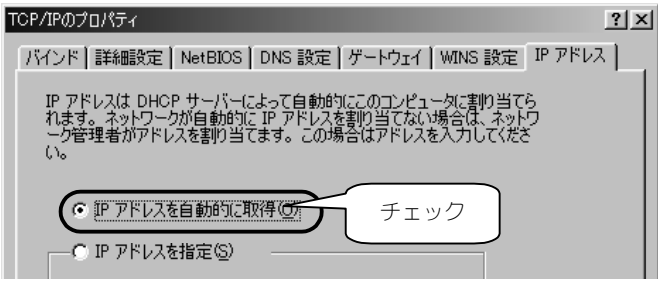
・*ネットワーク上に DHCP サーバが無い場合*

→ IP アドレスを手動で入力します。
他のパソコンや本製品を含むネットワーク機器の IP アドレスと重ならない値を設定してください。設定する値がわからない場合は、48 ページを参照してください。




・*ネットワーク上に DHCP サーバがある場合*

→ [IP アドレスを自動的に取得]を設定します。




この後、設定したIPアドレスが正しいかを確認します。
【設定したIPアドレスを確認する】(62ページ)へお進みください。

## Windows NT 4.0 の場合

**1** Administrator権限でWindows NT 4.0にログオンします。

**2** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の
[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



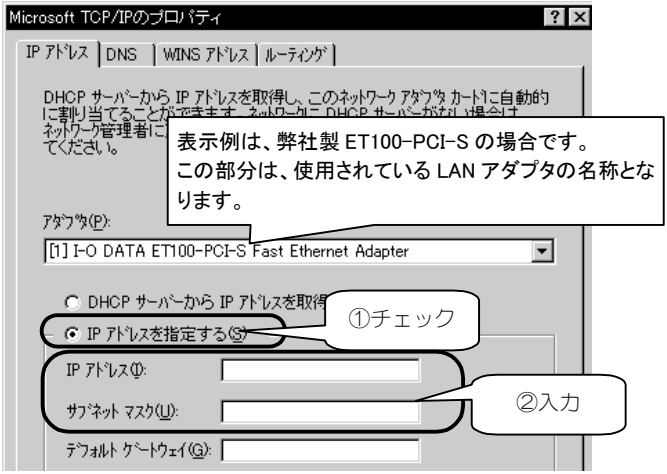

**3** [TCP/IP プロトコル]をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。



**4** [Microsoft TCP/IPのプロパティ]画面の[IPアドレス]タブで IPアドレスの設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。
設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

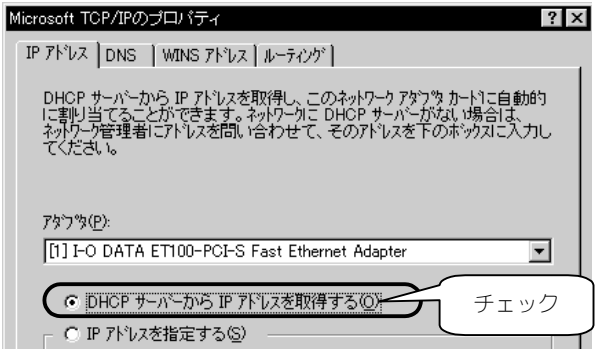
・*ネットワーク上に DHCP サーバが無い場合*

→ IP アドレスを手動で入力します。
他のパソコンや本製品を含むネットワーク機器の IP アドレスと重なら ない値を設定してください。




・*ネットワーク上に DHCP サーバがある場合*

→ [DHCP サーバーから IP アドレスを取得する]を設定します。




この後、設定したIPアドレスが正しいかを確認します。
次ページ【設定したIPアドレスを確認する】へお進みください。

ステップ 2

印刷編②

# 設定した IP アドレスを確認する

前ページの【ステップ１】での設定が正しくないと本製品を利用して印刷することができません。
ここでは、パソコンや本製品の IP アドレスが正しく設定されているかを確認します。

*確認方法：パソコンの PING コマンドでの確認*

## パソコンの PING コマンドでの確認

Windows 標準の［PING］コマンドで、パソコンと本製品の IP アドレスが正しく設定されているかを確認することができます。



参考

**PING コマンドでは、パソコンと本製品が TCP/IP を利用して正常に通信できているかを確認します。パソコンおよび本製品のいずれか、あるいは両方の IP アドレスが正しく設定されていない場合はエラーとなります。**

**1** ［コマンドプロンプト］（MS-DOSプロンプト）を起動します。

・*Windows 2000の場合*

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

・*Windows Meの場合*

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［MS-DOSプロンプト］をクリックします。

・*Windows 98/95の場合*

［スタート］→［プログラム］→［MS-DOSプロンプト］をクリックします。

・*Windows NT 4.0の場合*

［スタート］→［プログラム］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

**2**　PING xxx.xxx.xxx.xxx　　と入力し、[Enter]キーを押します。

※　xxx.xxx.xxx.xxx　には本製品に設定したIPアドレスを入力します。
【本製品の[IPアドレス]を設定する】(45ページ)で設定したIPアドレスです。
例えば、本製品を[192.168.0.100]のIPアドレスに設定した場合は、以下を入力します。

PING　192.168.0.100

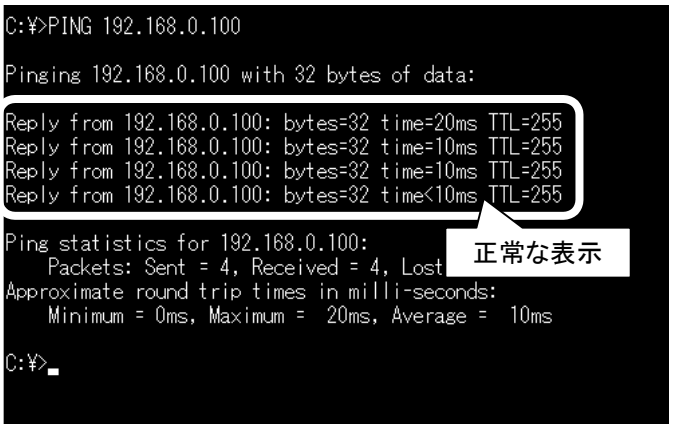



*表示は本製品を[192.168.0.100]で*
*ご利用になっている場合での*
*Windows 2000 での入力画面例です。*

**3**　パソコンと本製品のIPアドレスが正しく設定されていれば
以下のように[Reply from xxx.xxx.xxx.xxx …]と表示されます。

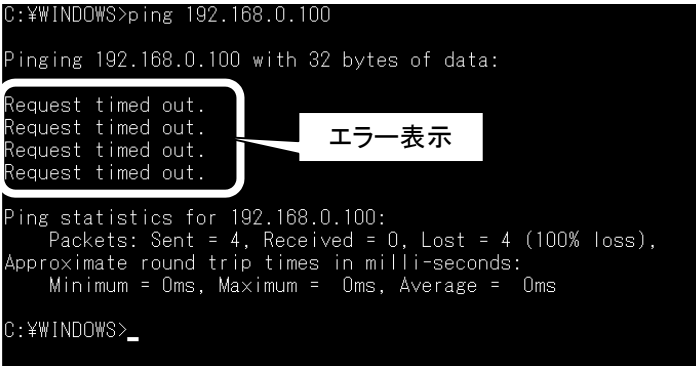
※　xxx.xxx.xxx.xxx　は本製品に設定したIPアドレスです。

（正しいIPアドレスでの表示例）

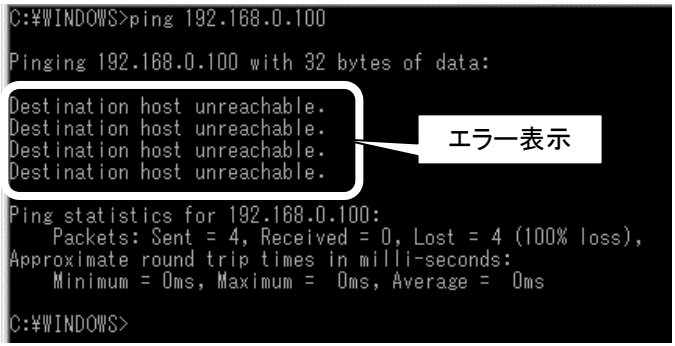


正しくない場合は、以下のように
[Request timed out]や[Destination host unreachable]などが表示されます。

*（エラー表示例1）*




*（エラー表示例2）*






エラー表示と
なる場合は…

【困ったときには】の
174 ページを
ご参照ください。

ステップ 3

## 印刷編③

# 印刷するには

前ページの【ステップ2】までででパソコンと本製品の IP アドレスが正しく設定されていることが確認できましたので、次に各パソコンで印刷するための設定を行います。
ただし、ご使用のパソコンの OS によって手順が異なります。
以下の個所を参照してください。


・*Windows Me/98/95で印刷する場合* → 次ページ参照
・*Windows 2000で印刷する場合* → 81ページ参照
・*Windows NT 4.0で印刷する場合* → 88ページ参照

# Windows Me/98/95 で印刷するには

ここでは、Windows Me/98/95 で印刷する手順について説明します。
Windows Me/98/95 では以下の［TCP/IP 印刷クライアント］を利用して印刷を行います。

*・Windows Me/98/95での印刷方法*

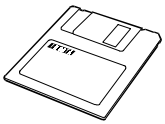
| | |
|---|---|
| TCP/IP印刷クライアントでの印刷 | 以下の特長があります。<br>・［マイネットワーク］（または［ネットワークコンピュータ］）にプリンタを登録できます。<br>・プリンタ状態をモニタでき、プリンタビジー時にリトライを行います。<br>・添付の［TCP/IP印刷クライアント］ディスクからインストールする必要があります。 |

**注意！**

**［TCP/IP 印刷クライアント］は、Windows Me/98/95 専用です。また、TCP/IP でのみご利用になれます。（NetBEUI での印刷の場合は必要ありません。）**

## 用意するもの

*・添付の「TCP/IP 印刷クライアント」ディスク*



*・［IP アドレス］［ポート名］を記載したメモ*
※（【ステップ1】(39 ページ)および【ステップ2】(45 ページ)で記載したメモ

※【バックアップディスクの作成】(8 ページ)で作成したディスクの方をご使用ください。

**注意！**

**パソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は、6ページを参照してください。**
**次ページ以降では、「TCP/IP 印刷クライアント」ディスクの挿入は不要となります。**
**また、69 ページ 7での手順で指定する［製造元ファイルのコピー元］には、以下のように入力してください。**

**例）フォルダ名 xxxxx の下で展開した場合の入力例**
**C:¥xxxxx （ハードディスクドライブが C ドライブの場合）**

*《設定手順》*

設定は以下の順で行います。

1. *TCP/IP 印刷クライアントのインストール ·····本ページ*
   TCP/IP 印刷するためのクライアントを添付の[TCP/IP 印刷クライアント]ディスクからインストールします。
2. *「TCP/IP 印刷クライアント」設定後の確認 ·····73 ページ*
   設定したポートが正しいかを確認します。
3. *プリンタドライバの設定 ·····75 ページ*
   プリンタのプロパティ画面で本製品用のポートの追加を行います。

## 1. TCP/IP 印刷クライアントのインストール

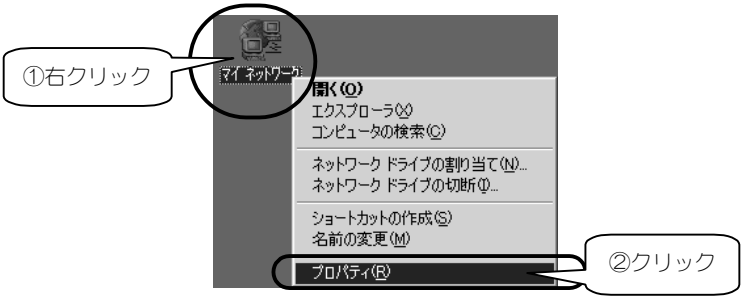
最初に Windows Me/98/95 で TCP/IP を利用して印刷を行うためのクライアントソフト[TCP/IP 印刷クライアント]をインストールします。インストール後、[TCP/IP 印刷クライアント]に[ポート名]と[IP アドレス]を設定します。

**注意！**

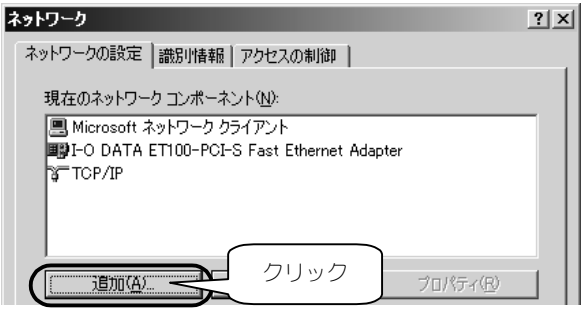
**すでに PS1E シリーズをお使いで、「TCP/IP 印刷クライアント」をインストール済みの場合は以下の作業は必要ありません。73 ページ【「TCP/IP 印刷クライアント」設定後の確認】へお進みください。**

**1** 本製品の[ポート名]と[IPアドレス]を記載したメモをご用意ください。（この後の71ページ*11*の手順で設定します。）

**2** デスクトップ上の[マイネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



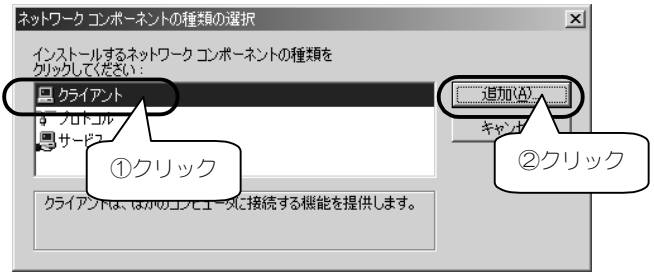
**3** [追加]ボタンをクリックします。



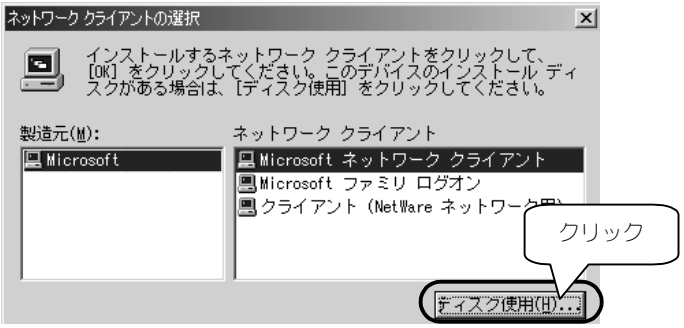

**4** 「TCP/IP印刷クライアント」ディスクを
フロッピーディスクドライブにセットします。




**5** [クライアント]を選択し、
[追加]ボタンをクリックします。

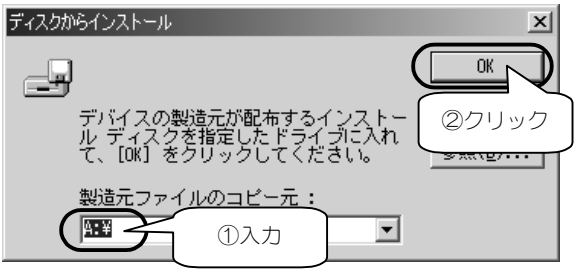



**6** [ディスク使用]ボタンをクリックします。



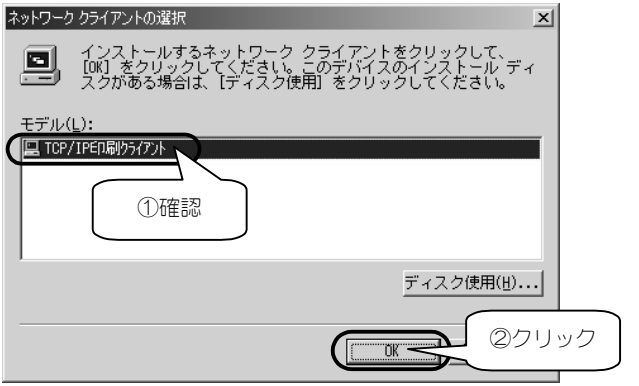
**7** [製造元ファイルのコピー元]にフロッピーディスクドライブを指定して、[OK]ボタンをクリックします。

A:¥　　（フロッピーディスクドライブが A: の場合）




**8** [TCP/IP 印刷クライアント]が選択されていることを確認後、[OK]ボタンをクリックします。

[TCP/IP 印刷クライアント]がインストールされます。



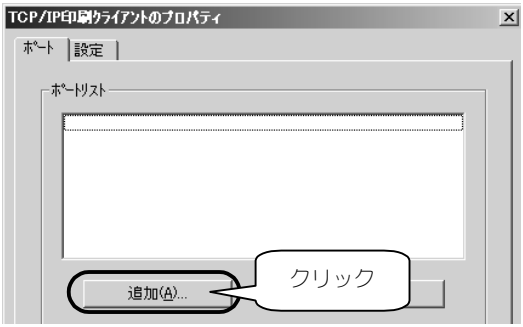
**9** [TCP/IP 印刷クライアント]をインストールしたら、
次に[TCP/IP 印刷クライアント]に[ポート名]と[IP アドレス]を設定します。
[TCP/IP 印刷クライアント]を選択後、
[プロパティ]ボタンをクリックします。




**注意！**

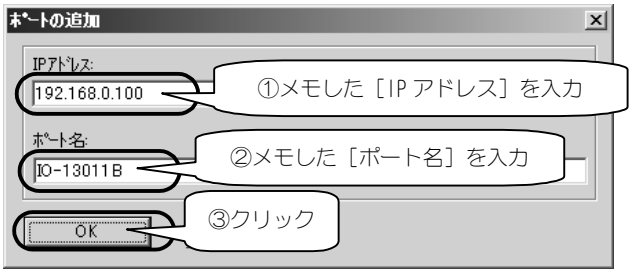
**本製品の DHCP クライアント機能を有効または無効に設定した場合は、それまで割り振られていた IP アドレス設定のままでは印刷ができません。管理者に確認の上（設定ツールで[TCP/IP プロトコル]を開いて IP アドレスを確認の上）、以下の説明に従い入力してください。**

**10** [ポート]タブで[追加]ボタンをクリックします。



## *11* 以下を設定後、[OK]ボタンをクリックします。

| | |
|---|---|
| IPアドレス | 【ステップ2】(45ページ)で本製品に設定した[IPアドレス]を入力します。(画面は本製品のIPアドレスを「192.168.0.100」として使用している場合の入力例です。) |
| ポート名 | 【ステップ1】(39ページ)で本製品に設定した[ポート名]を入力します。(画面は[MAC ADDRESS]が「00A0B013011B」での出荷時設定のまま使用している場合の入力例です。)<br>出荷時設定のまま変更していない場合は、「IO-xxxxxx」です。<br>(xxxxxxは[MAC ADDRESS]の下6桁の数値) |

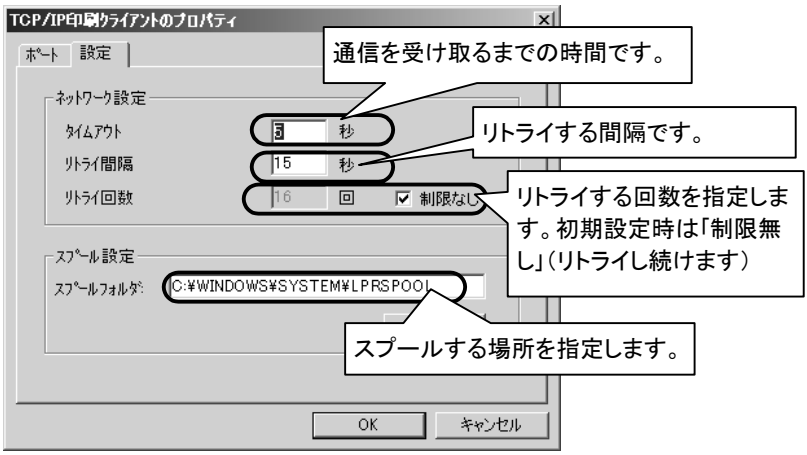



## *12* [OK]ボタンをクリックします。



参考

**前ページ画面の[設定]タブの設定は特に変更する必要はありません。**

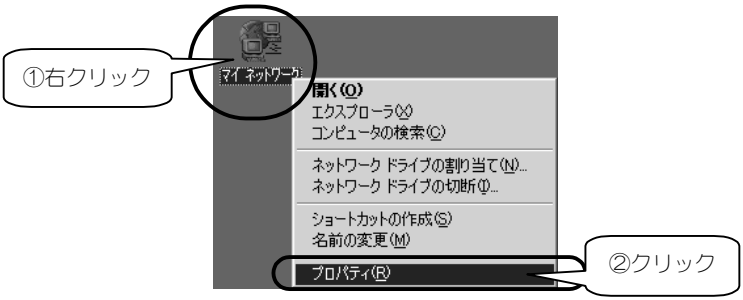



パソコンを一度再起動してください。
次にインストールした「TCP/IP 印刷クライアント」が正しく設定されているかを確認します。
次ページにお進みください。

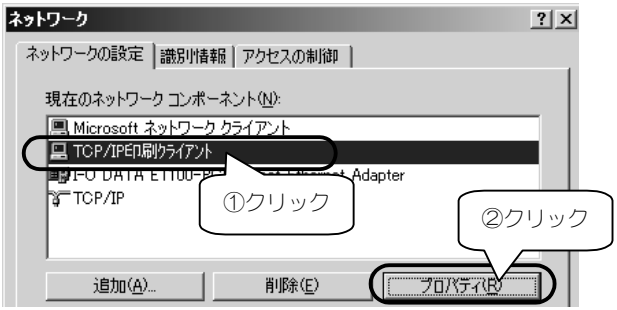
## 2. 「TCP/IP 印刷クライアント」設定後の確認

ここでは、インストールした[TCP/IP 印刷クライアント]が正しく設定されているかを確認します。
確認は、[TCP/IP 印刷クライアント]のプロパティ画面に設定した[ポート名]と[IP アドレス]が正しいかの確認です。

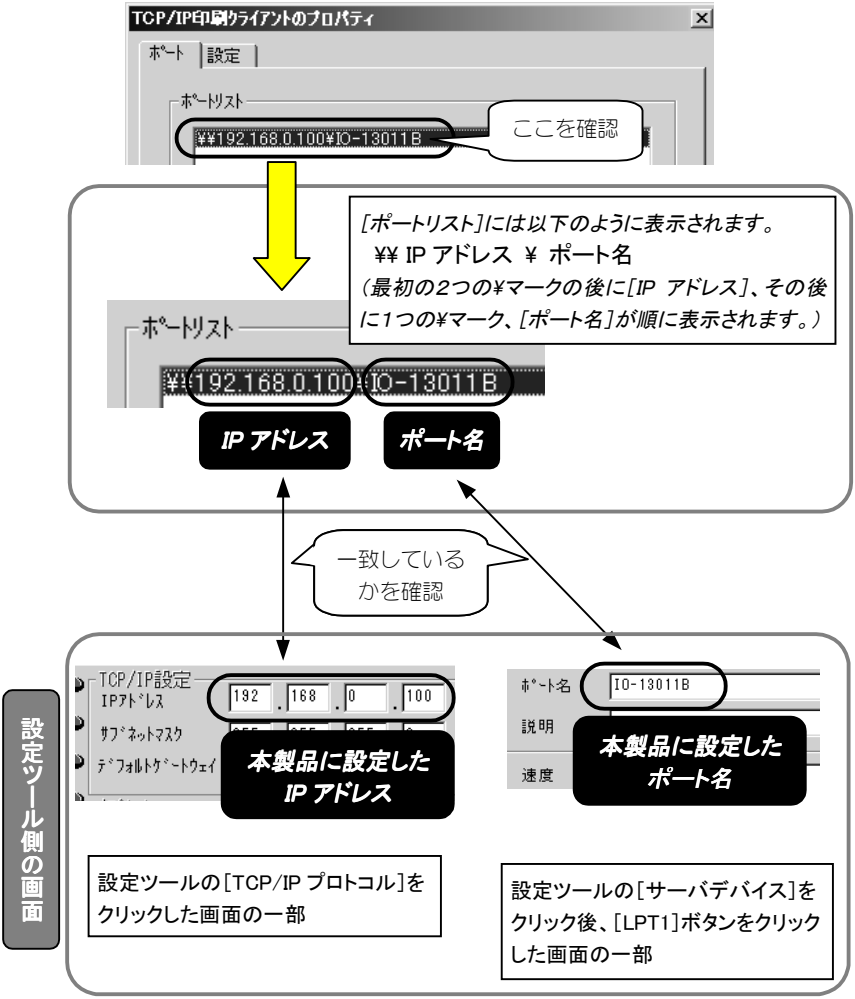
**1** デスクトップ上の[マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。




**2** [TCP/IP印刷クライアント]をクリック後、
[プロパティ]ボタンをクリックします。



**3** [ポートリスト]欄に表示されている項目を確認します。
表示が、メモした(設定用パソコンの[設定ツール]で設定した)
[ポート名]と[IPアドレス]と一致しているかを確認してください。




以上で設定後の確認は終了です。
次にプリンタドライバでポートの追加を行います。次ページにお進みください。

# 3. プリンタドライバの設定

[TCP/IP 印刷クライアント]の設定を確認したら、次にプリンタドライバの設定を行います。

***1*** 本製品の[ポート名]と[IPアドレス]のメモをご用意ください。(この後の77ページ*6*の手順で確認します。)

***2*** 最初にご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールしてください。

※プリンタドライバのインストールについては、プリンタの取扱説明書またはプリンタメーカーにご確認ください。



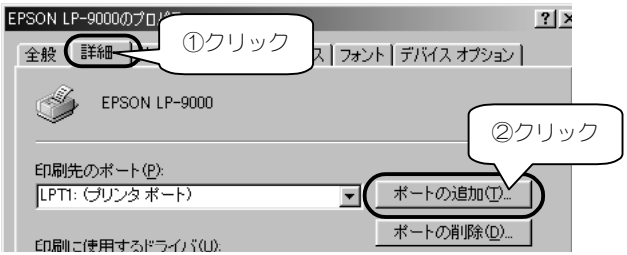

***注意！***

**プリンタドライバインストール時のポートは、すでにパソコン側に存在するローカルポート(LPT1 など)を指定してください。[ネットワークプリンタ]としてインストールしないでください。**

**3** [スタート]→[設定]→[プリンタ]を順にクリックし、
インストールしたプリンタのアイコンを右クリック後、
表示された[プロパティ]をクリックします。




**4** [詳細]タブをクリックし、
[ポートの追加]ボタンをクリックします。




**5** [ネットワーク]をチェック後、
[参照]ボタンをクリックします。



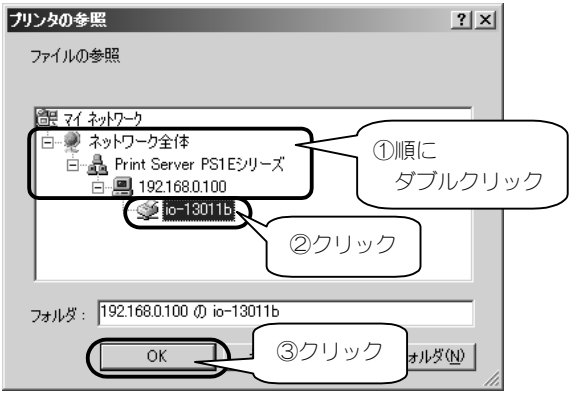
**6** [ネットワーク全体]→[Print Server PS1Eシリーズ]→[IPアドレス]※1を順にダブルクリックします。

※1 本製品に設定した[IPアドレス]です。(画面例では[192.168.0.100])

表示された[ポート名]※2をクリックします。

※2 本製品に設定した[ポート名]です。(画面例では[io-13011b])

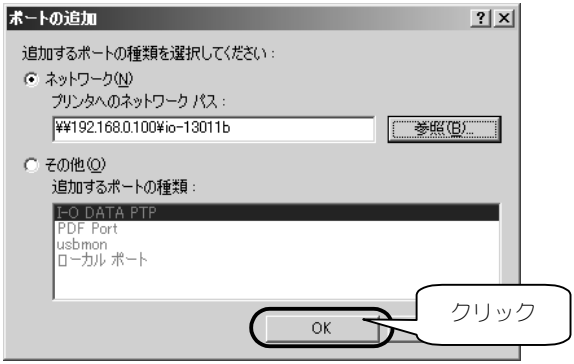
[OK]ボタンをクリックします。



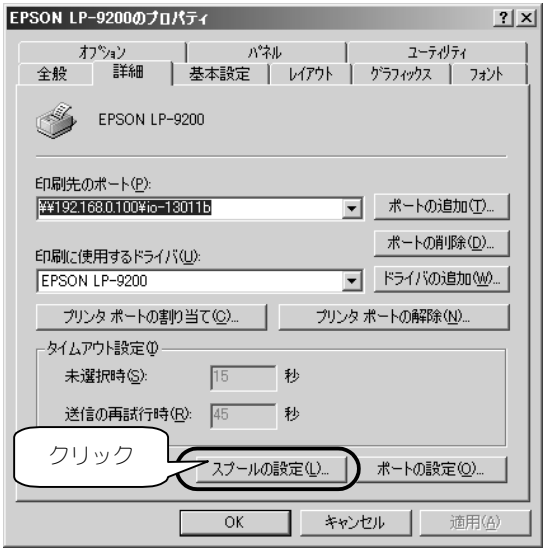

**注意！**

**上記の[参照]ボタンで表示された本製品は、[TCP/IP 印刷クライアント]で手動追加したポートであって、実際にネットワーク内を検索した情報ではありません。そのため、本製品の電源が入っていない場合でも、[マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]上に表示されます。**

**7** [OK]ボタンをクリックします。



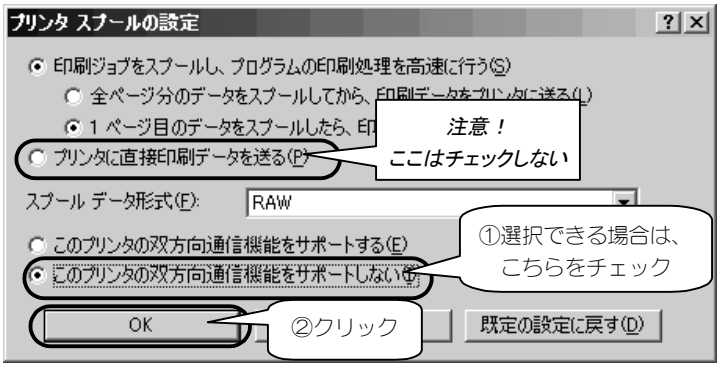
**8** [スプールの設定]ボタンをクリックします。




**9** [このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

※双方向をサポートしていないドライバでは、グレー表示になり選択できません。その場合は、特に設定する必要はありません。

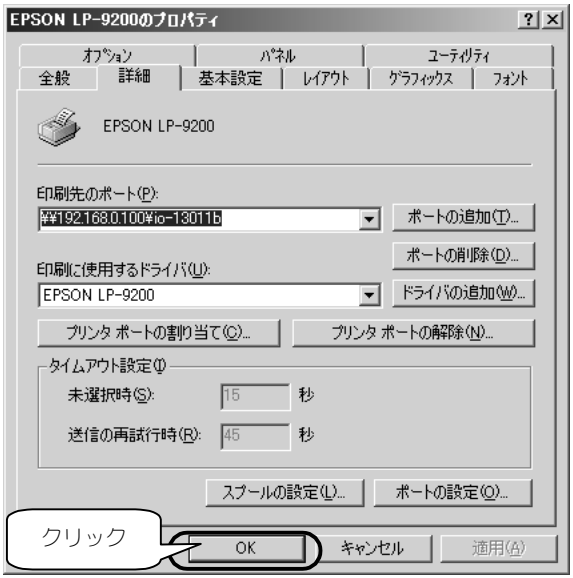
※[プリンタに直接印刷データを送る]にはチェックしないでください。




**注意！**

**印刷時に「不正な印刷データを受信しました。」のエラー画面が表示される場合は上記の設定がされていないことが考えられますので、確認してください。**

**10** [OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。




以上で設定はすべて終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。
EPSON インクジェットプリンタへ印刷する場合は、次ページの注意も参照してください。

## EPSON インクジェットプリンタへ印刷する際の注意点

EPSON 社製インクジェットプリンタ(PM・MJ シリーズなど)へ印刷する場合、以下の設定を行う必要があります。

**1** EPSONメニューの[スプールマネージャ]を起動します。




**2** プリンタの[スプールマネージャ]を起動し、メニューの[プリントキュー]→[セットアップ]を選択します。




**3** [全体]タブで[プリントマネージャを使用する]をチェックし、[OK]ボタンをクリックしてください。




なお、スプールマネージャのメニュー表示が無い機種に関しては設定の必要はありません。

# Windows 2000 で 印刷するには

ここでは、Windows 2000 で印刷する手順について説明します。
Windows 2000 での印刷は LPR で行います。

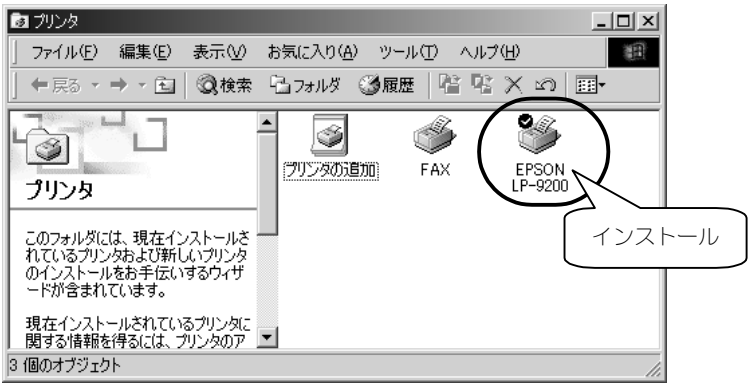
・*Windows 2000での印刷方法*

| | |
|---|---|
| LPRでの印刷 | 以下の特長があります。<br>・Windows 2000の標準機能を使うのでソフトウェアのインストールは不要です。 |

## LPR 印刷

**1** 本製品の[ポート名]と[IPアドレス]を記載したメモをご用意ください。(この後の84ページ**7**、および85ページ**9**の手順で設定します。)

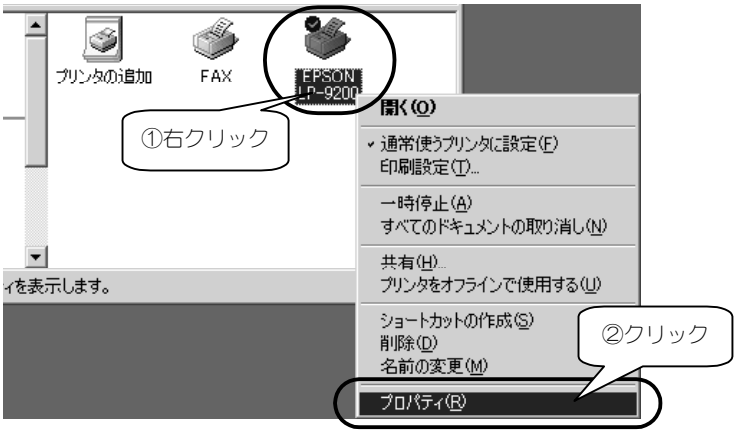
**2** ご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールします。(プリンタドライバについては、プリンタの取扱説明書またはプリンタメーカーにご確認ください。)




**注意！**

**プリンタドライバインストール時のポートは、すでにパソコン側に存在するローカルポート(LPT1 など)を指定してください。**
**[ネットワークプリンタ]としてインストールしないでください。**

**3** プリンタのアイコンを右クリック後、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



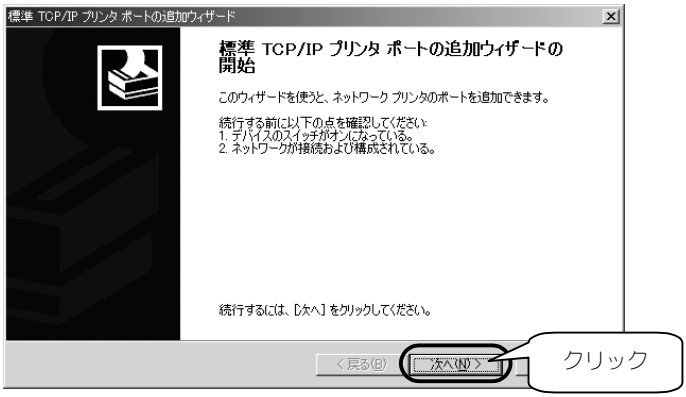

**4** [ポート]タブをクリックし、
[ポートの追加]ボタンをクリックします。



**5** [Standard TCP/IP Port]をクリック後、
[新しいポート]ボタンをクリックします。

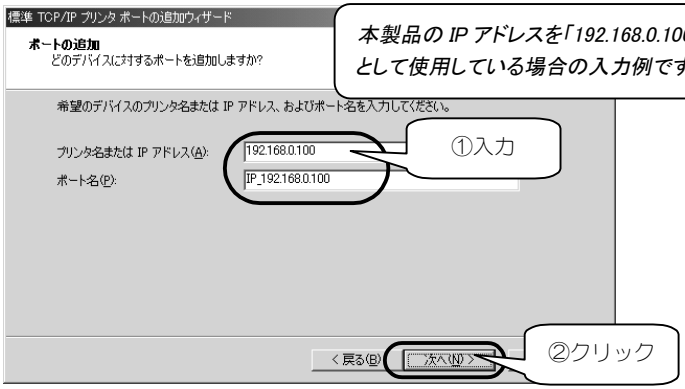



**6** [次へ]ボタンをクリックします。

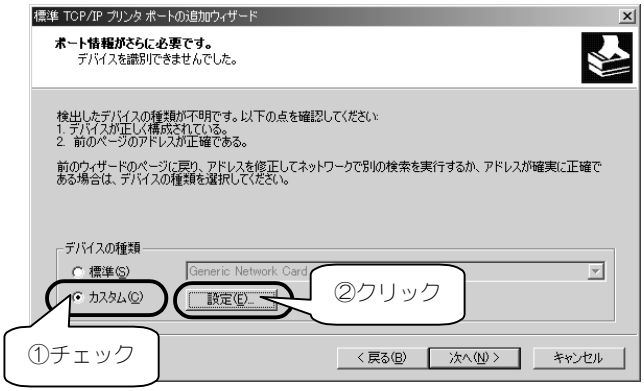


## 7 以下を入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

| | |
|---|---|
| プリンタ名または IPアドレス | 【ステップ2】(45ページ)で本製品に設定した[IPアドレス]を入力します。（画面は本製品のIPアドレスを「192.168.0.100」として使用している場合の入力例です。） |
| ポート名 | 上記を入力すると、自動的に作成（入力）されます。作成されたものをそのまま設定しておいてください。<br>※設定ツールで設定した[ポート名]とは異なります。 |




## 8 [デバイスの種類]で[カスタム]をチェックし、[設定]ボタンをクリックします。



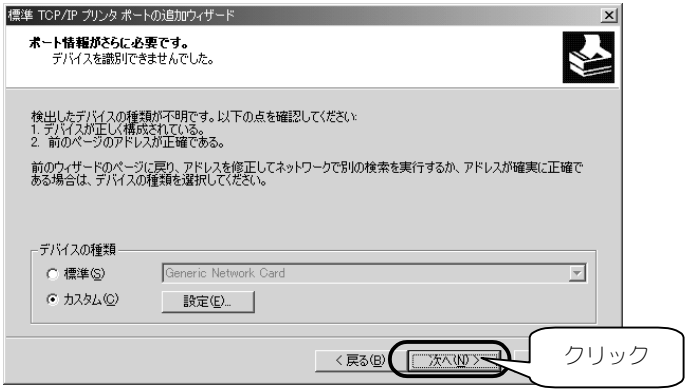
## 9 以下の設定後、[OK]ボタンをクリックします。

・[プロトコル]では[LPR]をチェックします。
・[LPR設定]の[キュー名]には、本製品の[ポート名]を入力します。
・[LPRバイトカウントを有効にする]のチェックを外します。
※[SNMPステータスを有効にする]にはチェックしないでください。

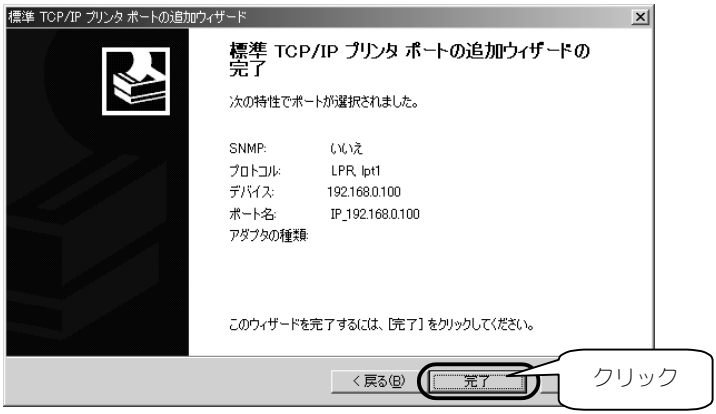



| | |
|---|---|
| キュー名 | 【ステップ1】(39ページ)で本製品に設定した[ポート名]を入力します。<br>出荷時設定のまま変更していない場合は、「IO-xxxxxx」を入力します。（xxxxxxは[MAC ADDRESS]の下6桁の数値）<br>※画面は[MAC ADDRESS]が「00A0B013011B」での出荷時設定のまま使用している場合の入力例です。） |

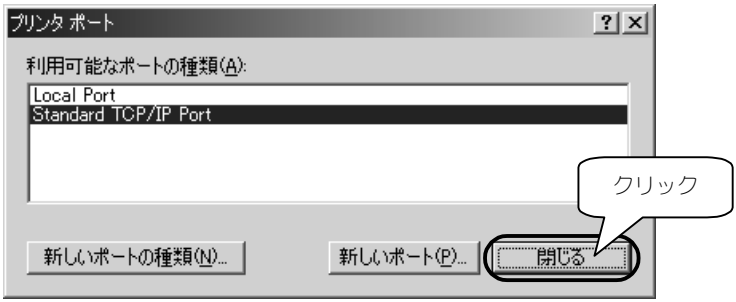
**10** [次へ]ボタンをクリックします。



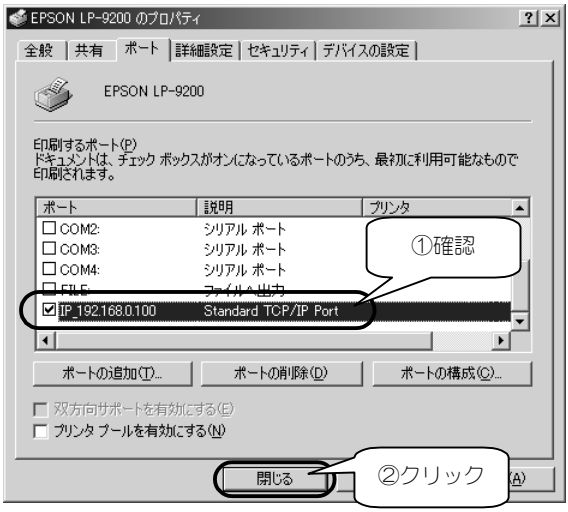

**11** [完了]ボタンをクリックします。




**12** [閉じる]ボタンをクリックします。



**13** [ポート]タブの画面に戻りますので、IP_xxx.xxx.xxx.xxx
(xxx.xxx.xxx.xxx は本製品に設定したIPアドレス)というポートが表示され、
先頭にチェックが付いていることを確認して、
[閉じる]ボタンをクリックします。




**14** [プリンタ]画面を閉じます。




以上ですべての設定は終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

# Windows NT 4.0 で 印刷するには

ここでは、Windows NT 4.0 で印刷する手順について説明します。
Windows NT 4.0 での印刷は、LPR で行います。

・*Windows NT 4.0での印刷方法*

| | |
|---|---|
| LPRでの印刷 | 以下の特長があります。<br>・Windows NT 4.0の標準機能を使うのでソフトウェアのインストールは不要です。 |

## LPR 印刷

ここでは、LPR を利用し本製品で印刷を行うために必要な Windows NT 4.0 の設定について説明します。



**注意！**

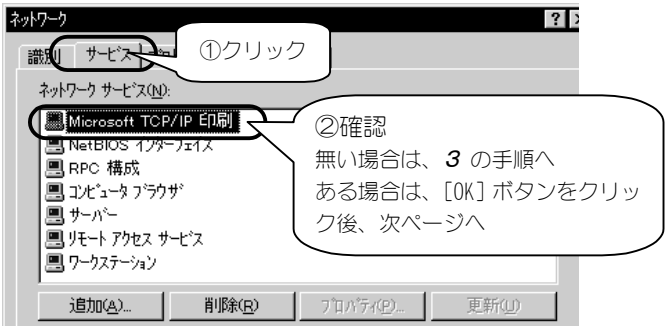
**Windows NT 4.0 にて使用する場合には、Service Pack 3 以上をインストールすることが最低必要ですが、Service Pack 4 以上をインストールすることをお勧めします。**

### *1. LPR の組み込み*

*1* [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリック後、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



**2** [サービス]タブをクリックし、[ネットワークサービス]欄に[Microsoft TCP/IP 印刷]が表示されているか確認してください。
表示されていない場合は、以下の**3** の手順へ、
表示されている場合は、[OK]ボタンをクリック後、次ページ【プリンタの作成】へお進みください。




**3** [Microsoft TCP/IP 印刷]が表示されていない場合は、[追加]ボタンをクリック後、[Microsoft TCP/IP 印刷]をクリックし、[OK]ボタンをクリックして[Microsoft TCP/IP 印刷]を組み込んでください。

**4** [ネットワーク]の画面に戻りましたら、[ネットワークサービス]欄に[Microsoft TCP/IP 印刷]が表示されていることを確認後、[OK]ボタンをクリックします。

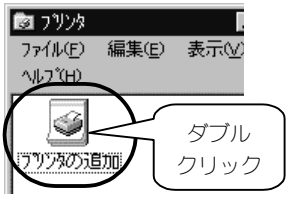
**5** [ネットワーク設定の変更]画面が表示されますので、[再起動]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

次にプリンタを作成します。
次ページへお進みください。

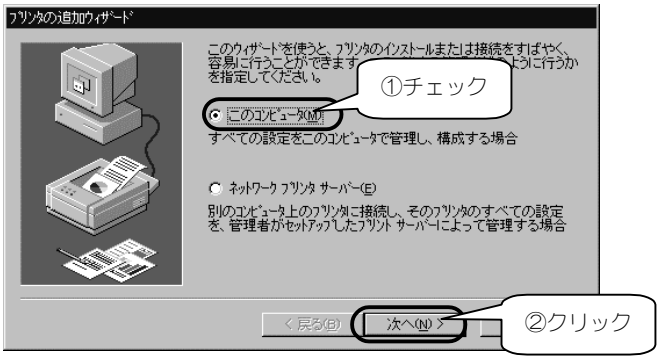
## 2. プリンタの作成

**1** 本製品の[ポート名]と[IPアドレス]を記載したメモをご用意ください。（この後の次ページ6の手順で設定します。）

**2** [スタート]→[設定]→[プリンタ]をクリックし、[プリンタの追加]をダブルクリックします。



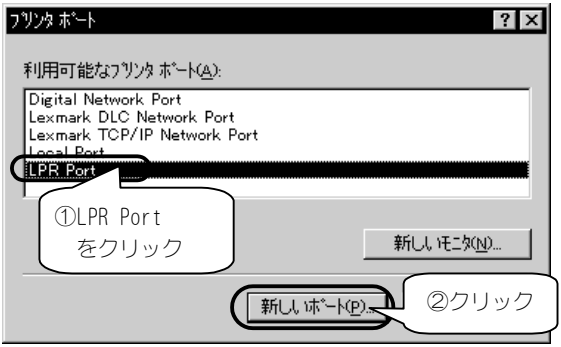

**3** [このコンピュータ]をチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。




**4** [ポートの追加]ボタンをクリックします。

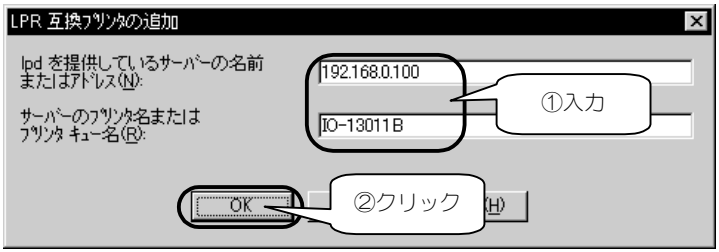


## 5 [LPR Port]をクリック後、[新しいポート]をクリックします。



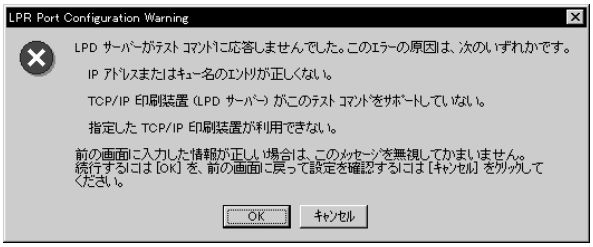

## 6 以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

| | |
|---|---|
| lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス | 【ステップ2】(45ページ)で本製品に設定した[IPアドレス]を入力します。（画面は本製品のIPアドレスを「192.168.0.100」として使用している場合の入力例です。） |
| サーバーのプリンタ名またはプリントキュー | 【ステップ1】(39ページ)で本製品に設定した[ポート名]を入力します。<br>出荷時設定のまま変更していない場合は、「IO-xxxxxx」を入力します。（xxxxxxは[MAC ADDRESS]の下6桁の数値）<br>※画面は[MAC ADDRESS]が「00A0B013011B」での出荷時設定のまま使用している場合の入力例です。 |



**注意！**

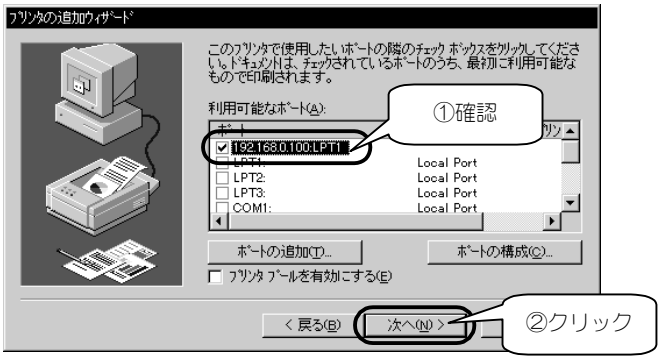
**右のエラーが表示された場合は、前ページの入力に間違いあることが考えられますので、確認してください。**



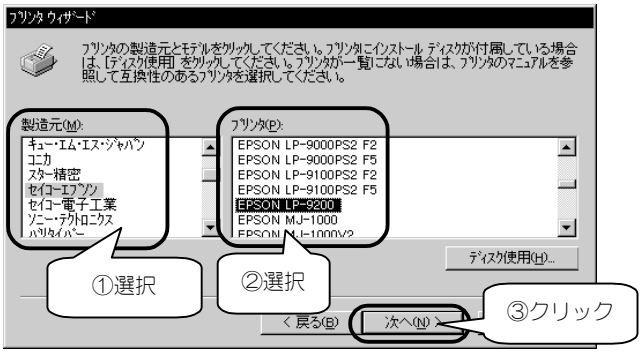

**7** ［閉じる］ボタンをクリックします。




**8** 「利用可能なポート」欄に作成したプリンタポートが追加表示されチェックされているのを確認して［次へ］ボタンをクリックします。



**9** お使いのプリンタの[製造元]と[プリンタ]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。




**注意！**

**お使いのプリンタが表示されない場合は Windows NT 4.0 にプリンタドライバが収録されておりません。**
**お使いのプリンタの取扱説明書を参照し、[ディスク使用]ボタンをクリックしてプリンタドライバのインストールを行ってください。**

**10** プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前(Windows NT 4.0 上でのプリンタ名になります)を入力後、[次へ]ボタンをクリックします。



**11** ［共有しない］をチェック後、［次へ］ボタンをクリックします。




**12** ［はい］または［いいえ］をチェック後、
［完了］ボタンをクリックします。




以上ですべての設定は終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

# 5 NetBEUI での印刷

この章では、NetBEUIを使ってパソコンから印刷する場合の設定方法を説明します。


～ *設定編* ～

本製品での設定（設定用パソコンでの設定）…… 96ページ
本製品の［サーバ名］［ポート名］を設定する… 97ページ

～ *印刷編* ～

NetBEUI を使って印刷する（パソコンからの印刷）・104ページ
*ステップ1* NetBEUI プロトコルを確認する・・・・105ページ
*ステップ2* 印刷するには ……110ページ
Windows Me/98/95 で印刷するには ……111ページ
Windows 2000 で印刷するには ……116ページ
Windows NT 4.0 で印刷するには……121ページ




***注意！***

**Windows 2000 および Windows NT 4.0 から NetBEUI プロトコルを利用しての印刷は可能ですが、OSの仕様上、印刷が終了するまで、アプリケーションが次の動作に移れないため、弊社では NetBEUI による印刷は推奨しておりません。**

設定編

# 本製品の設定
## （設定用パソコンでの設定）

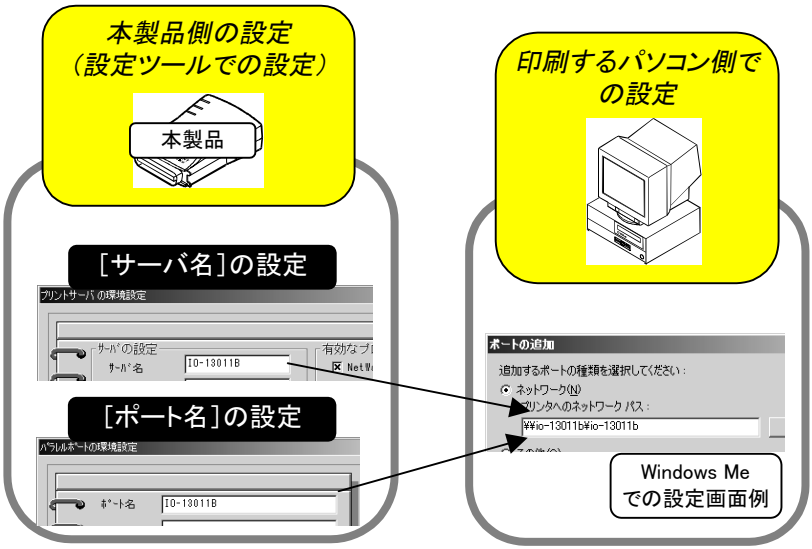
NetBEUI 経由で本製品を利用して印刷するには、最初に本製品を設定する必要があります。（本製品出荷時の設定のままでもご利用いただくこともできます。その場合は特に設定の必要はありません。）
設定は本製品の管理者のみ行ってください。

### ●本製品の設定に関して

本製品を利用して印刷するには、印刷するパソコン側のプリンタ設定時に以下の２つを設定する必要があります。そのため、最初に以下の２つを設定します。

- *本製品の［サーバ名］……* *次ページ参照*
  ※特に設定しなくても（出荷時設定のまま）使用できます。
- *本製品の［ポート名］……* *次ページ参照*
  ※特に設定しなくても（出荷時設定のまま）使用できます。

次ページ以降のステップに従って設定してください。



設定編

# 本製品の[サーバ名][ポート名]を設定する

最初に印刷用パソコンで必要な本製品の［サーバ名］［ポート名］を設定します。設定は本製品の管理者のみ行います。

*※[サーバ名][ポート名]は、本製品の出荷時設定のままで使用することもできます。その場合は特に設定する必要はありません。[サーバ名][ポート名]をメモした後、104ページへお進みください。*

本製品の［サーバ名］［ポート名］は出荷時、以下のように設定されています。次ページの手順は、本製品の［サーバ名］［ポート名］を工場出荷時の値から変更する場合や確認したい場合のみ行ってください。

*《出荷時の[サーバ名][ポート名]》*

| | |
|---|---|
| サーバ名 | IO-xxxxxx<br>※上記の xxxxxx は、本製品の[MAC ADDRESS]の「00A0B0」の後の下6桁の数値です。[MAC ADDRESS]は本製品底面のラベル面に記載されています。<br>（【接続する】11ページ*3* の手順参照） |
| ポート名 | IO-xxxxxx<br>※上記[サーバ名]と同じです。 |



参考

**[サーバ名][ポート名]は、NetbEUI を利用して印刷するパソコン側がプリンタを設定する際に必要な名称です。**
**上記の出荷時設定（の名称）のものを、そのまま設定して印刷することもできます。**

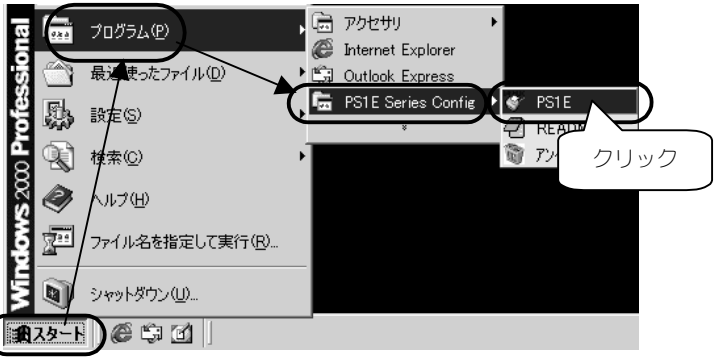
*・本製品を出荷時設定のままでご利用になる場合*

次ページ以降を読み飛ばし、【NetBEUIを使って印刷する】（104ページ）へお進みください。

*・本製品の設定を変更したい場合*

次ページへお進みください。

**1** [スタート]→[プログラム]→[PS1E Series Config]→[PS1E]をクリックします。




**2** 設定ツール画面の[サーバデバイス]をクリックします。




ここに表示される[サーバ名]が本製品です。(表示はお買い求めの本製品により異なります。)
[サーバ名]については次ページの【参考】を参照してください。



本製品が
表示されない場合は…

168 ページを
ご参照ください。



**参考**

**[サーバデバイス]をクリックする以外に、ボタンをクリックして設定することもできます。**

参考

*[サーバ名]について*

**本製品出荷時の[サーバ名]は、IO-xxxxxx と表示されます。(xxxxxx には、本製品の[MAC ADDRESS]の「00A0B0」の後の下6桁の数値です。[MAC ADDRESS]は本製品底面のラベル面に記載されています。)**

**3** [有効なプロトコル]内の[NetBEUI]にチェックが入っていることを確認します。[サーバ名]は何かにメモしておいてください。

※以下の[サーバの設定]欄の項目については特に入力する必要はありません。必要な場合のみ入力してください。

設定後、[ポートの設定]内の[LPT1]ボタンをクリックします。

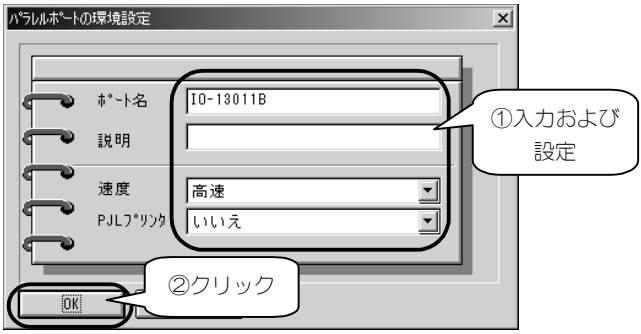



| | |
|---|---|
| サーバ名 | この名称を印刷するパソコン側に設定します。<br>任意の名前(お好きな名前)を付けられます。(出荷時の名称のままでも印刷用パソコンで設定できます。)<br>"半角英数文字"および"-"15文字以下)<br><br>※[サーバ名]は印刷するパソコンでプリンタ設定時に必要となりますので、何かにメモしておいてください。 |
| 位置 | 設置場所情報を入力します。 |
| Admin情報 | 管理者の情報を入力します。(管理者の名前など) |
| パスワード | パスワードを設定します。(8文字以下)<br>※大文字、小文字の区別あり<br>※パスワードを忘れてしまった場合は、PLANTコールセンターまでお問い合わせください。(232ページ参照) |

## 4 各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

[ポート名]は何かにメモしておいてください。

※以下の項目については特に入力する必要はありません。必要な場合のみ入力してください。




| | |
|---|---|
| ポート名 | 前ページの[サーバ名]とともに、この名称を印刷するパソコン側に設定します。<br>任意の名前(お好きな名前)を付けられます。(出荷時の名称のままでも印刷用パソコンで設定できます。)<br>("半角英数文字"および"-"32文字以下)<br>※[ポート名]は印刷するパソコンのプリンタ設定時に必要となりますので、メモしておいてください。 |
| 説明 | ポートに対するコメントを入力します。<br>(特に入力する必要はありません。) |
| 速度 | 通常は「高速」でご使用ください。文字化けなどの不具合が出る場合は、「低速」でご使用ください。 |
| PJLプリンタ | PJL※対応プリンタの場合は[はい]に設定してください。<br>※Printer Job Language:ヒューレットパッカード社のプリンタ言語 |

**参考**

**お使いのプリンタがPJL対応プリンタかどうかは、プリンタの取扱説明書をご覧になるか、または、プリンタメーカーにご確認ください。**

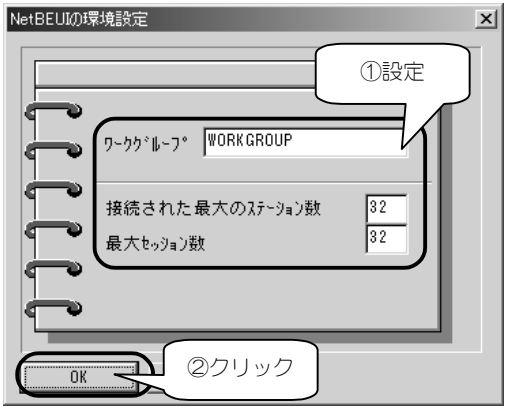
**5** [OK]ボタンを
クリックします。




**6** [NetBEUIプロトコル]をクリックします。




**7** 以下を設定し、
[OK]ボタンをクリック
します。




| | |
|---|---|
| ワークグループ | ワークグループ名を入力します。 |
| 接続された最大のステーション数 | ご使用のLANの規模に合わせて変更してください。(16～100) |
| 最大セッション数 | ご使用のLANの規模に合わせて変更してください。(16～100) |

**8** [環境設定を保存]をクリックします。




**参考**

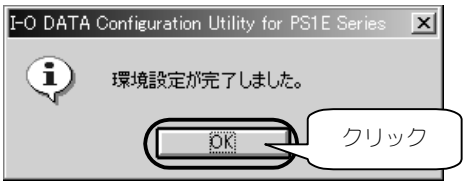
**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**9** [はい]ボタンをクリックします。




**10** [OK]ボタンをクリックします。

※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまでに数十秒かかる場合があります。



**11** [ファイル]メニュー→[PS1Eの終了]をクリックします。
以下の画面が表示されます。
環境ファイルを保存する場合は、[はい]ボタンをクリックし、任意の名前を付けて保存します。
保存しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。




**参考**

**環境ファイルは、設定ツールのデータ保存用ファイルです。**
**プリントサーバ本体への設定保存値は、前ページ*9* と *10* の手順で行っていますので、*11* の手順の画面で[いいえ]ボタンをクリックしても設定が保存されないといったことはありません。**

以上で本製品の設定は終了です。次に次ページ以降を参照して印刷するための設定を行ってください。

印刷編

# NetBEUIを使って印刷する（パソコンからの印刷）

［サーバ名］［ポート名］を設定・確認すれば、各パソコンから本製品を利用して印刷することができます。
ここでは、実際に印刷するまでの手順について説明します。
以下のステップに沿ってお進みください。

**ステップ1** ……【NetBEUI プロトコルを確認する】(次ページ)

本製品を利用するパソコンの NetBEUI プロトコルを確認します。




NetBEUI の確認

**ステップ2** ……【印刷するには】(110 ページ)

パソコンに印刷するための設定を行い、実際に印刷してみましょう。

*Windows Me/98/95の場合*‥【Windows Me/98/95で印刷するには】(111ページ)
*Windows 2000の場合*……【Windows 2000で印刷するには】(116ページ)
*Windows NT 4.0の場合*……【Windows NT 4.0で印刷するには】(121ページ)

**注意！**

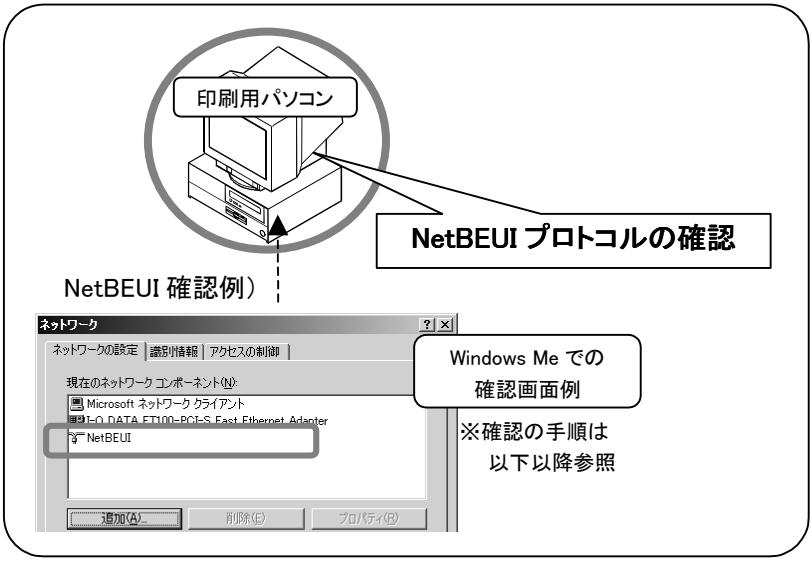
**Windows 2000 および Windows NT 4.0 から NetBEUI プロトコルを利用しての印刷は可能ですが、OS の仕様上、印刷が終了するまで、アプリケーションが次の動作に移れないため、弊社では NetBEUI による印刷は推奨しておりません。**

# ステップ 1

## 印刷編①

## NetBEUI プロトコルを確認する

NetBEUIプロトコルを使ってパソコンから印刷するには、パソコンに
NetBEUIプロトコルがインストールされている必要があります。
以下の手順で確認してください。



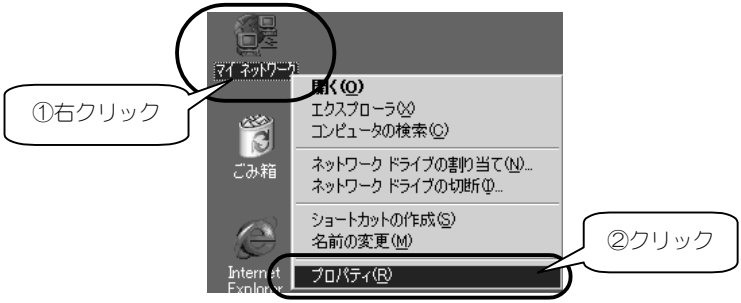

**1** 印刷するパソコンの電源を入れます。

**2** 印刷するパソコンのNetBEUIプロトコルを確認します。
確認はご使用のOSによって異なります。以下の該当する個所へお進みください。

- *Windows Me/98/95をお使いの場合* → 次ページ参照
- *Windows 2000をお使いの場合* → 107ページ参照
- *Windows NT 4.0をお使いの場合* → 109ページ参照

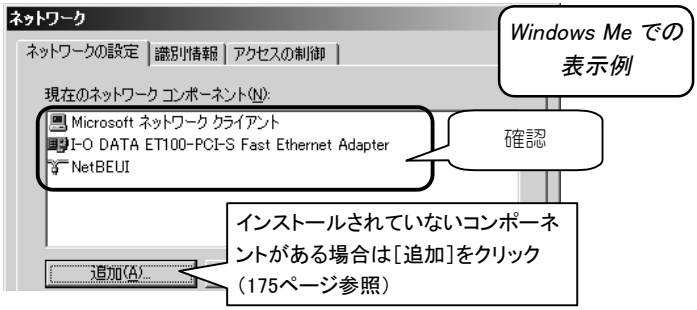
## Windows Me/98/95 で NetBEUI を確認する

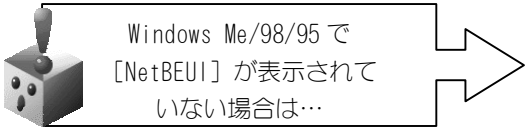
**1**　[マイ ネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。




**2**　以下の[ネットワークコンポーネント]の表示を確認します。

- [Microsoftネットワーククライアント]
- お使いのLANアダプタの表示
  （以下の画面例[I-O DATA ET100-PCI-S Fast Ethernet Adapter]は、弊社製ET100-PCI-Sでの例です。）
- [NetBEUI]




175 ページを
ご参照ください。

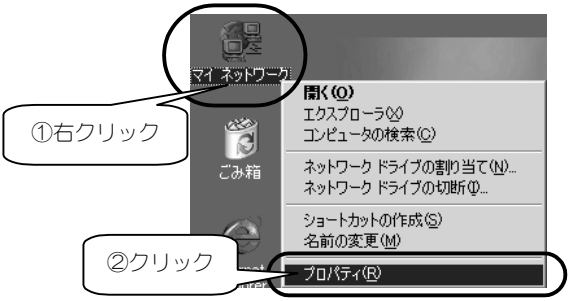
**3**　確認後、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

この後、【ステップ2】(110 ページ)へお進みください。

# Windows 2000 で NetBEUI を確認する

**1** Administrator権限でWindows  2000にログオンします。

**2** [マイ ネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

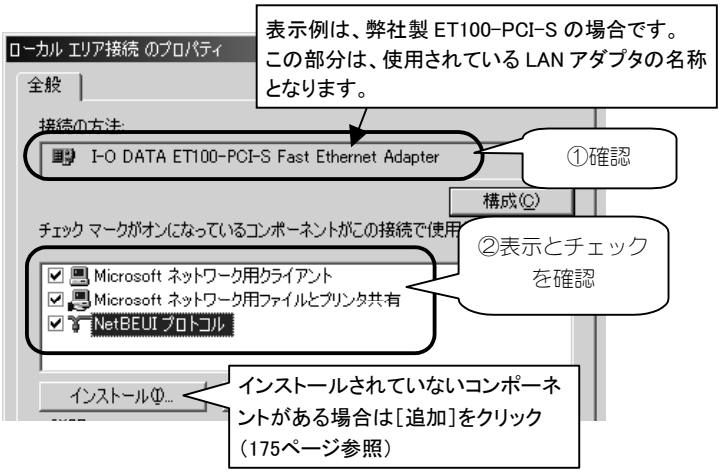



**3** [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の
[プロパティ]をクリックします。



**4**　以下が表示およびチェックされているかを確認します。

・[接続の方法:]にお使いのLANアダプタの表示
（以下の画面例[I-O DATA ET100-PCI-S Fast Ethernet Adapter]は、弊社製ET100-PCI-Sでの例です。）
・[Microsoftネットワーク用クライアント]のチェック
・[Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有]のチェック
・[NetBEUIプロトコル]のチェック







175 ページを
ご参照ください。

**5**　確認後、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

この後、【ステップ2】(110 ページ)へお進みください。

# Windows NT 4.0 で NetBEUI を確認する

**1** Administrator権限でWindows NT 4.0にログオンします。

**2** [ネットワークコンピュータ]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。




**3** [NetBEUIプロトコル]が表示されていることを確認します。




**4** 確認後、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

この後、次ページ【ステップ2】へお進みください。

ステップ 2

# 印刷編②

## 印刷するには

【ステップ１】で NetBEUI プロトコルを確認したら、後はパソコンにプリンタを設定すれば印刷できます。
以下の個所を参照してプリンタを設定後、印刷してみてください。


・*Windows Me/98/95で印刷する場合* → 次ページ
・*Windows 2000で印刷する場合* → 116ページ参照
・*Windows NT 4.0で印刷する場合* → 121ページ参照




***注意！***

**Windows 2000 および Windows NT 4.0 から NetBEUI プロトコルを利用しての印刷は可能ですが、OS の仕様上、印刷が終了するまで、アプリケーションが次の動作に移れないため、弊社では NetBEUI による印刷は推奨しておりません。**

# Windows Me/98/95 で 印刷するには

ここでは、Windows Me/98/95 で印刷する手順について説明します。

## 印刷する

**1** 本製品の[サーバ名]と[ポート名]を記載したメモをご用意ください。(この後の113ページ*5*の手順時に設定します。)

**2** ご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールします。(プリンタドライバについては、プリンタの取扱説明書またはプリンタメーカーにご確認ください。)



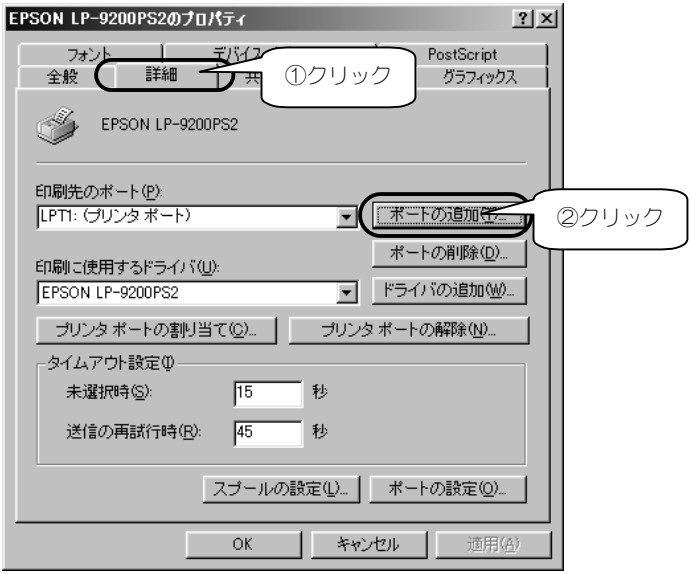

**注意！**

**上記のプリンタドライバをインストール中に指定する[ポートの選択]では、[ローカルポート]を選択してください。(ローカルポート例：“LPT1”、“FILE”など)**
**[ネットワーク]は選択しないでください。**

**3** プリンタのアイコンを右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



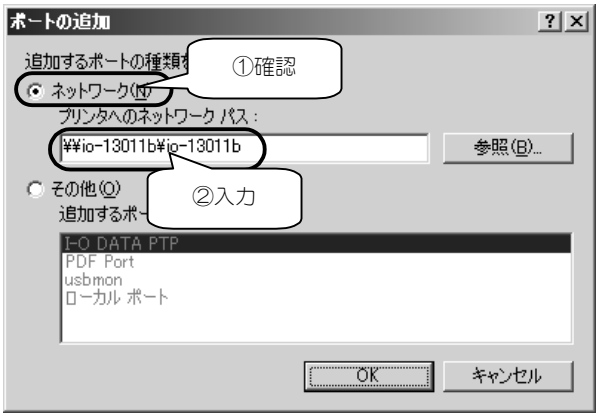

**4** [詳細]タブをクリック後、
[ポートの追加]ボタンをクリックします。



**5** [ネットワーク]にチェックが付いていることを確認し、メモした[サーバ名][ポート名]を以下のように入力後、[OK]ボタンをクリックします。

¥¥サーバ名¥ポート名

※本製品出荷時の場合は ¥¥io-xxxxxx¥io-xxxxxx と入力します。xxxxxx には本製品の[MAC ADRESS]の下6桁を入力します。
以下の画面は、¥¥io-13011b¥io-13011b と入力した例です。
([MAC ADRESS]が「00A0B013011B」での入力例です。)

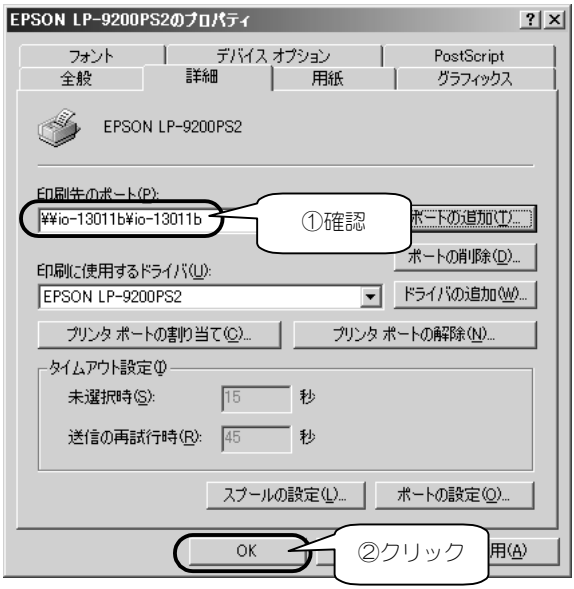



**注意！**

**以下のエラーが表示される場合は、上記の入力に間違いあることが考えられますので、確認してください。**



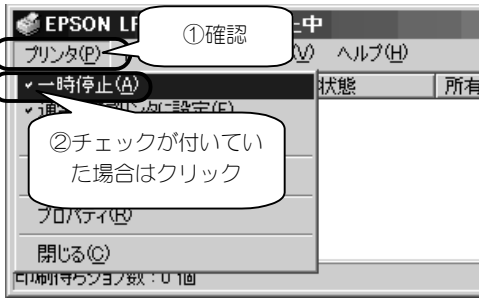
**6** [印刷先のポート]に設定したパスが表示されている事を確認後、[OK]ボタンをクリックします。




**7** 設定したプリンタのアイコンをダブルクリックします。



**8** [プリンタ]メニューをクリック後、[一時停止]にチェックが付いていた場合は、[一時停止]をクリックし、一時停止を解除してください。




以上ですべての設定は終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

# Windows 2000 で 印刷するには

ここでは、Windows 2000 で印刷する手順について説明します。

## 印刷する

**1** 本製品の[サーバ名]と[ポート名]を記載したメモをご用意ください。(この後の次ページ*3*の手順で設定します。)

**2** デスクトップ上の[マイネットワーク]→[近くのコンピュータ]を順にダブルクリックします。



**3** 本製品の[サーバ名][ポート名]を記載したメモを参照し、
ポート名のアイコン(本製品出荷時の場合は[IO-xxxxxx]※1アイコン)
が表示されているかを確認します。
※1 xxxxxx は本製品のMACアドレスの下6桁の数値です。

**・ポート名のアイコンが表示されている場合**

そのアイコンをダブルクリックします。

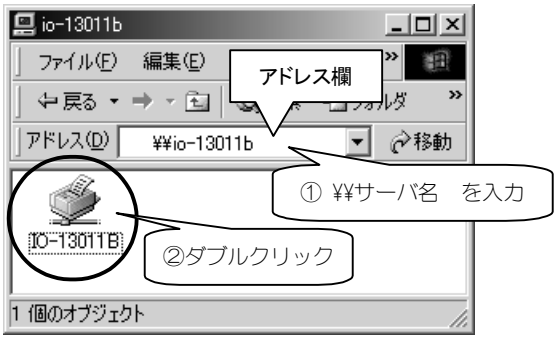
**・ポート名のアイコンが表示されていない場合**

①[アドレス]欄にメモした[サーバ名]を以下のように入力後、
[Enter]キーを押します。

¥¥サーバ名

※本製品出荷時の場合は ¥¥io-xxxxxx と入力します。xxxxxxには本製品の[MAC ADRESS]の下6桁を入力します。
以下の画面は、¥¥io-13011b と入力した例です。
([MAC ADRESS]が「00A0B013011B」での入力例です。)

②「IO-xxxxxx」というアイコンが表示されますので、そのアイコンをダブルクリックします。




**参考**

**[アドレス]欄が表示されていない場合は、[表示]メニューの[ツールバー]で[アドレスバー]をチェックすれば表示されます。**

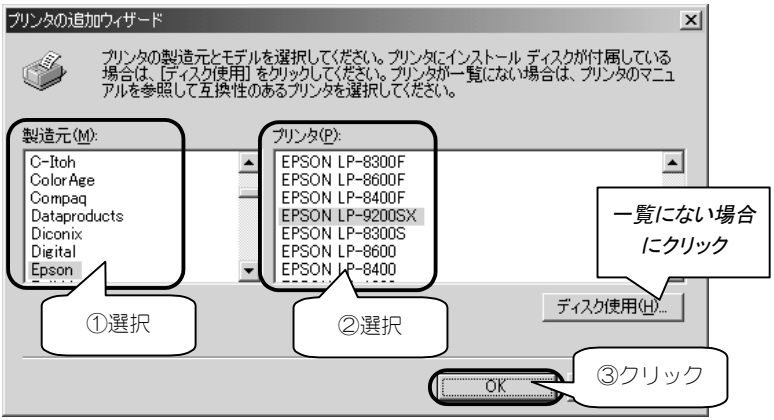
**4** 以下の画面では、[はい]ボタンをクリックします。




**5** 以下の画面では、[OK]ボタンをクリックします。




**6** しばらくして以下の画面が表示されます。
お使いのプリンタドの[製造元]と[プリンタ]を選択して
[OK]ボタンをクリックしてください。




**注意！**

**お使いのプリンタが表示されない場合は Windows 2000 にプリンタドライバが収録されておりません。**
**お使いのプリンタの取扱説明書を参照し、[ディスク使用]ボタンをクリックしてプリンタ ドライバのインストールを行ってください。**

**7** 以下の画面が表示されますので、
[プリンタ]メニューの[プロパティ]をクリックします。

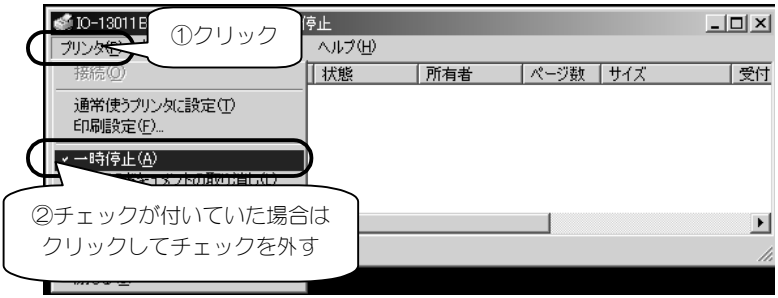



**8** [ポート]タブをクリック後、以下を確認し、先頭の□にチェックが付いていることも確認してください。
確認後、[OK]ボタンをクリックします。

| | |
|---|---|
| ポート | ¥¥サーバ名¥¥ポート名<br>※本製品出荷時でお使いの場合は以下のように表示されます。<br>¥¥IO-xxxxxx¥IO-xxxxxx<br>（xxxxxxは、本製品の[MAC ADRESS]の下6桁の数値） |
| 説明 | LAN Managerプリンタポート |
| プリンタ | IO-xxxxxx |



**9** [プリンタ]メニューの[一時停止]にチェックが付いていた場合は、[一時停止]をクリックし、一時停止を解除してください。




**10** [プリンタ]メニューの[閉じる]をチェックし、画面を閉じます。




以上ですべての設定は終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

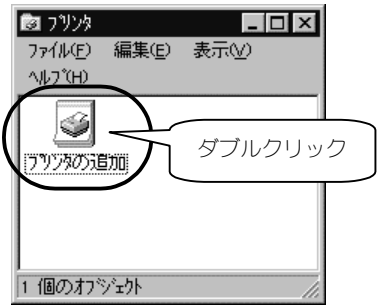
# Windows NT 4.0 で 印刷するには

ここでは、Windows NT 4.0 で印刷する手順について説明します。

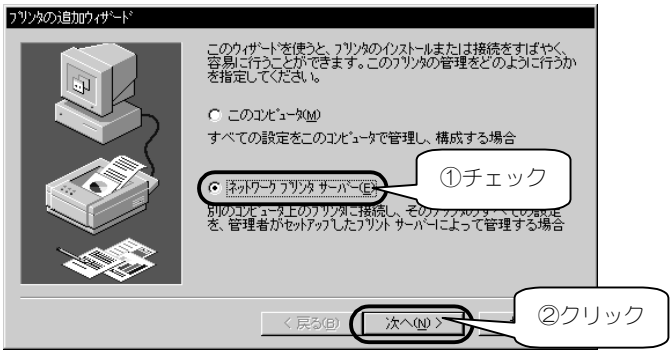
## 印刷する

**1** 本製品の[サーバ名]と[ポート名]を記載したメモをご用意ください。(この後の次ページ4の手順で設定します。)

**2** [スタート]→[設定]→[プリンタ]をクリックし、
[プリンタの追加]をダブルクリックします。



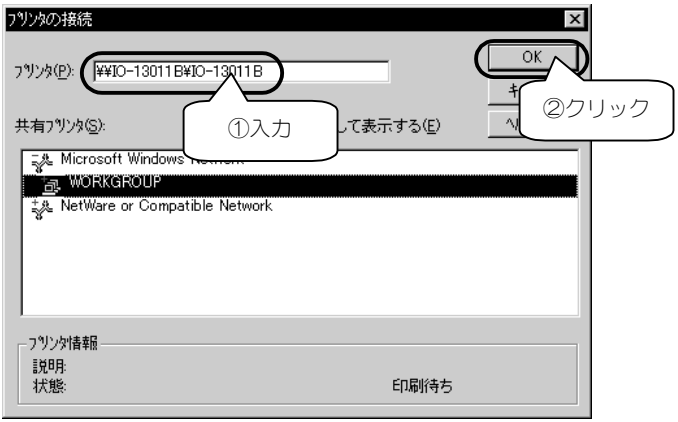

**3** [ネットワークプリンタサーバー]をチェック後、
[次へ]ボタンをクリックします。



**4** 本製品の[サーバ名]と[ポート名]を記載したメモを参照し、[プリンタ]欄にメモした[サーバ名][ポート名]を以下のように入力後、[OK]ボタンをクリックします。

¥¥サーバ名¥ポート名

※本製品出荷時の場合は ¥¥io-xxxxxx¥io-xxxxxx と入力します。xxxxxx には本製品の[MAC ADRESS]の下6桁を入力します。
以下の画面は、¥¥io-13011b¥io-13011b と入力した例です。
([MAC ADRESS]が「00A0B013011B」での入力例です。)




**注意！**

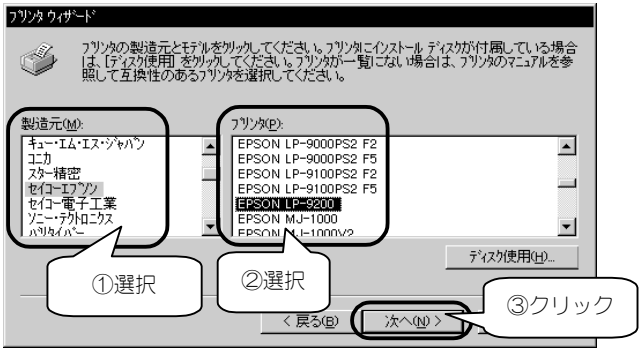
**右のエラーが表示される場合は、上記の入力に間違いあることが考えられますので、確認してください。**



**5** 以下の画面では、[OK]ボタンをクリックします。




**6** お使いのプリンタの[製造元]と[プリンタ]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。




**注意！**

**お使いのプリンタが表示されない場合は Windows NT 4.0 にプリンタドライバが収録されておりません。**
**お使いのプリンタの取扱説明書を参照し、[ディスク使用]ボタンをクリックしてプリンタドライバのインストールを行ってください。**

**7** [完了]ボタンをクリックします。



**8** [プリンタ]画面で作成したプリンタが登録されていることを確認後、アイコンをダブルクリックします。




**9** [プリンタ]メニューで[一時停止]にチェックが付いていた場合は、[一時停止]をクリックして、一時停止を解除してください。




以上ですべての設定は終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

# 6 NetWare（プリントサーバモード）での印刷

この章では、NetWareサーバ環境で、本製品を「プリントサーバモード」で使用する場合の設定方法を説明します。

NetWare（プリントサーバモード）で
印刷するには ‥126ページ
NetWare 3.xJ での設定‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥127ページ
（プリントサーバモード）
NetWare 4.x/5.x での設定 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥141ページ
（プリントサーバモード）

# NetWare（プリントサーバモード）で印刷するには

NetWare サーバ環境で、本製品を「プリントサーバモード」で使用する場合、本製品および NetWare での設定が必要です。
ただし、NetWare サーバによって手順が異なります。
以下の個所を参照してください。


・*NetWare 3.xJの場合* → 次ページ参照
・*NetWare 4.x/5.xの場合* → 141ページ参照

# NetWare 3.xJ での設定
# （プリントサーバモード）

ここでは、NetWare 3.xJ環境で、本製品を「プリントサーバモード」で使用する場合の設定方法について説明します。

## 《設定の流れ》

① キューの作成
② プリントサーバの作成
③ プリンタの割り当て
④ プリントキューの割り当て

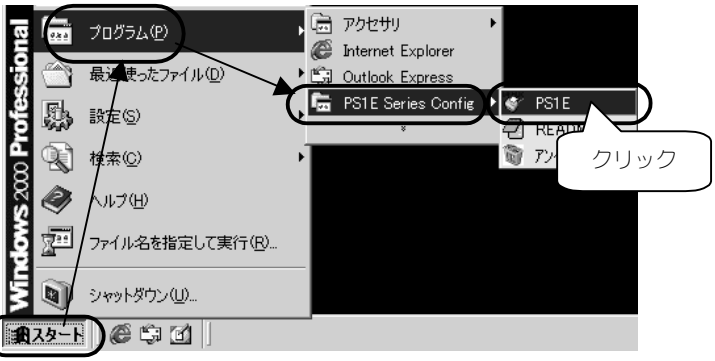


**注意！**

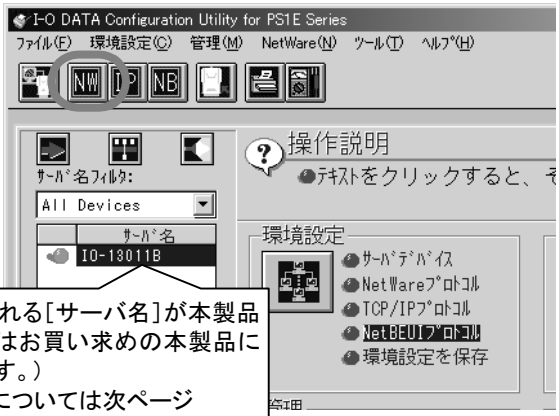
**・本製品を NetWare に登録するためには、管理者権限が必要になります。**
**・ダイアルアップルータを使用して IPX/SPX をルーティングしている場合、本製品は NetWare サーバの情報収集のために定期的(約 5 分毎)に NetWare サーバへアクセスします。一般公衆網を使用して WAN 接続をしている環境で、本製品をご使用の場合、実際の印刷時以外に NetWare サーバへアクセスするため、この分の回線料金がかかります。そのため、このような環境でのご利用はお勧め致しません。**

# ① キューの作成

**1** [スタート]→[プログラム]→[PS1E Series Config]→[PS1E]をクリックします。




**2** 設定ツール画面の[NetWareプロトコル]をクリックします。




ここに表示される[サーバ名]が本製品です。（表示はお買い求めの本製品により異なります。）
[サーバ名]については次ページ【参考】を参照してください。



本製品が
表示されない場合は…

168 ページを
ご参照ください。

**参考1**

**[NetWare プロトコル]をクリックする以外に、NW ボタンをクリックして設定することもできます。**

**参考2**

***[サーバ名]について***

**本製品出荷時の[サーバ名]は、IO-xxxxxx と表示されます。(xxxxxx には、本製品の[MAC ADDRESS]の「00A0B0」の後の下6桁の数値です。[MAC ADDRESS]は本製品底面のラベル面に記載されています。)**

**3** [バインダリプリントサーバ]タブをクリック後、
[キューの作成]ボタンをクリックします。




**4** [キュー名]を入力後、
[OK]ボタンをクリックします。



**5** [プリントキュー]内から作成したキューを選択し、[追加]ボタンをクリックします。

クリック後、[サービスされたキュー]内にキューが追加されます。




**6** [OK]ボタンをクリックします。

**7** [環境設定を保存]をクリックします。




**参考**

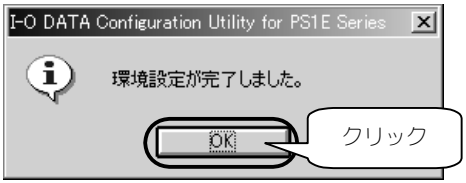
**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**8** [はい]ボタンをクリックします。




**9** [OK]ボタンをクリックします。

※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまで数十秒かかる場合があります。




次に次ページへお進みください。

# ② プリントサーバの作成

**1** [プリントサーバ]をクリックします。



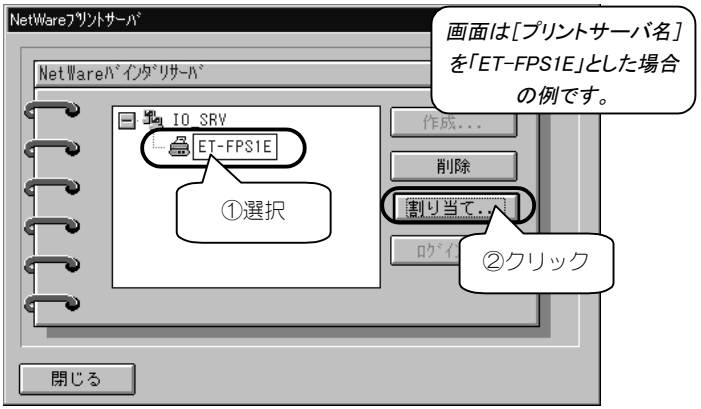

**2** NetWareバインダリサーバを選択し、
[作成]ボタンをクリックします。




**3** 任意の[プリントサーバ名]を入力後、
[OK]ボタンをクリックします。

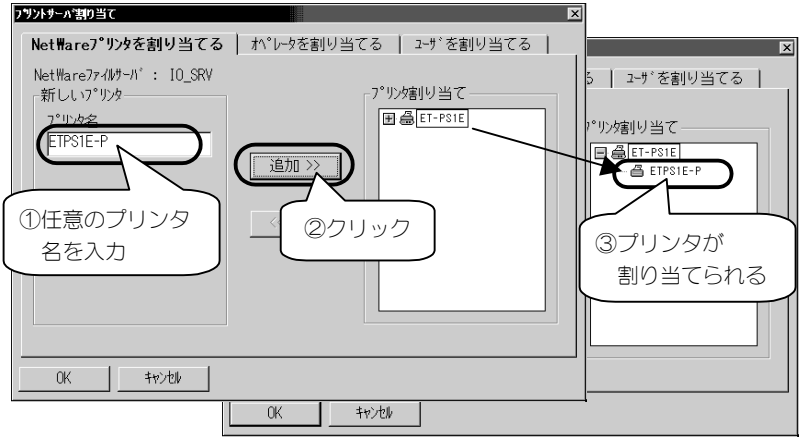


**4** 作成したプリントサーバを選択後、
[割り当て]ボタンをクリックします。




**5** [新しいプリンタ]の[プリンタ名]に任意のプリンタ名を入力後、
[追加]ボタンをクリックします。

クリック後、入力したプリンタ名でプリンタが割り当てられます。




**6** [OK]ボタンをクリックします。

**7** [閉じる]ボタンをクリックします。

**8** [環境設定を保存]をクリックします。




**参考**

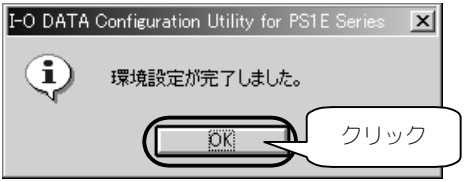
**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**9** [はい]ボタンをクリックします。




**10** [OK]ボタンをクリックします。

※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまで数十秒かかる場合があります。



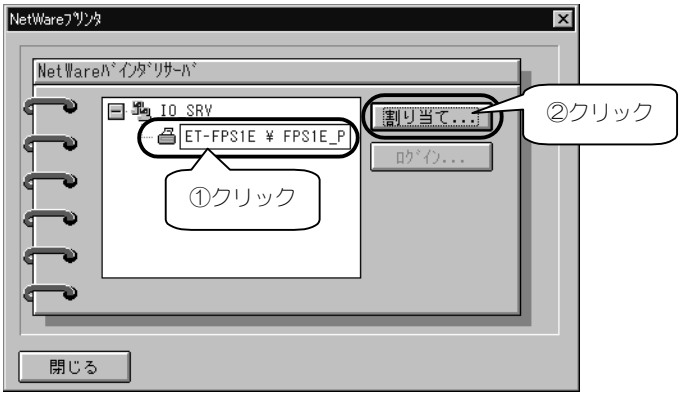

次に、次ページ【プリンタの割り当て】にお進みください。

# ③ プリンタの割り当て

**1** [プリンタ]をクリックします。

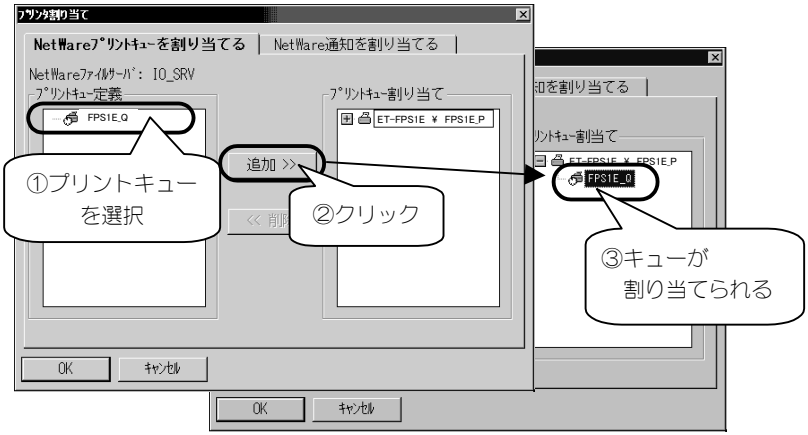



**2** プリントキューを割り当てるプリンタを選択し、
[割り当て]ボタンをクリックします。



**3** [プリントキュー定義]からプリントキューを選択後、「追加」ボタンをクリックします。

クリック後、プリンタにプリントキューが割り当てられます。




**4** [閉じる]ボタンをクリックします。

**5** [環境設定を保存]をクリックします。




**参考**

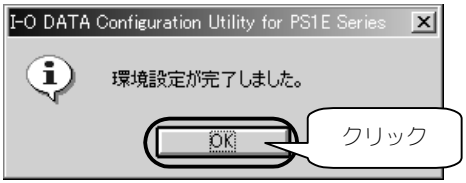
**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**6** [はい]ボタンをクリックします。




**7** [OK]ボタンをクリックします。

※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまで数十秒かかる場合があります。




次に、次ページ【プリントキューの割り当て】にお進みください。

# ④ プリントキューの割り当て

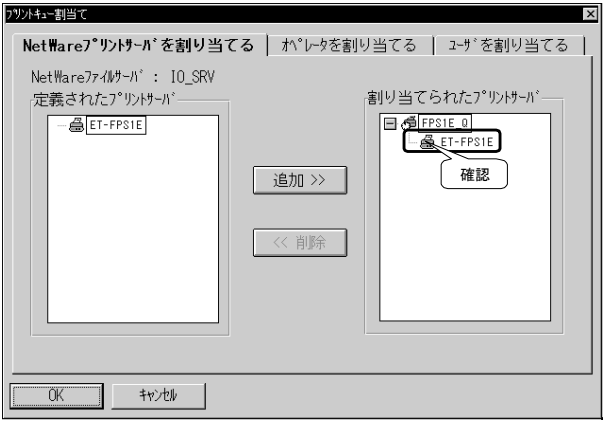
**1** [プリントキュー]をクリックします。




**2** プリンタを割り当てるプリントキューを選択後、
[割り当て]ボタンをクリックします。



**3** プリントキューにプリントサーバが割り当てられていることを確認してください。




**4** [OK]ボタンをクリックします。

**5** [環境設定を保存]をクリックします。



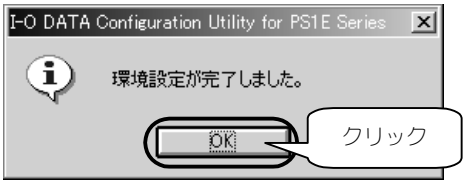

**参考**

**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**6** [はい]ボタンをクリックします。




**7** [OK]ボタンをクリックします。
※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまで数十秒かかる場合があります。




**8** [ファイル]メニュー→[PS1Eの終了]をクリックします。
以下の画面が表示されます。
環境ファイルを保存する場合は、[はい]ボタンをクリックし、任意の名前を付けて保存します。
保存しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。




**参考**

**環境ファイルは、設定ツールのデータ保存用ファイルです。**
**プリントサーバ本体への設定保存値は、上記6 と7 の手順で行っていますので、8 の手順の画面で[いいえ]ボタンをクリックしても設定が保存されないといったことはありません。**

以上で NetWare 3.xJ でのすべての設定は終了です。
本製品を利用してプリンタをご利用ください。

# NetWare 4.x/5.x での設定
# （プリントサーバモード）

ここでは、NetWare 4.x/5.x環境で、本製品を「プリントサーバモード」で使用する場合の設定方法について説明します。



**注意！**

**本製品を NetWare に登録するためには、管理者権限が必要になります。**



**注意！**

**次ページ以降で説明する PCONSOLE および NetWare アドミニストレータは、NetWare に付属のユーティリティです。これを使用すると、NetWare ネットワークでの印刷操作に必要なプリンタオブジェクトとプリントキューを作成することができます。**
**PCONSOLE および NetWare アドミニストレータの使用方法については、NetWare の取扱説明書をご覧ください。**

# ① NetWare サーバの設定

最初にNetWareサーバの設定を行います。
以下のいずれかの方法で設定してください。

| | | |
|---|---|---|
| ・*PCONSOLEで行う場合* | → | 以下を参照してください。 |
| ・*NetWareアドミニストレータで行う場合* | → | 次ページを参照してください。 |

## ●*PCONSOLEで行う場合*

**1** NetWareに管理者権限でログインします。

**2** NetWareの[PCONSOLE]を起動します。
起動したら、NDSのモードになっていることを確認します。([F4]キーでNDSとバインダリモードが切り替わります。)

**3** 本製品をインストールしたいNDSコンテキストに変更します。
[利用可能な項目]から[コンテキストの変更]を選択します。(NDSの現在のコンテキストは、PCONSOLE画面の左上隅に表示されています。)
表示されるメニューから、本製品をインストールしたいコンテキストを選択します。コンテキスト名は、後で参照できるようにメモしておいてください。本製品の設定作業時に、この情報が必要になります。

**4** [クイックセットアップ]を選択します。

この後、145ページ【② 設定ツールによる設定】へお進みください。

## ●NetWareアドミニストレータで行う場合 (以下はNetWare 5.xでの例です。)

**1** Zドライブの WIN32フォルダに移動します。

**2** 以下を実行し、NetWareアドミニストレータを起動します。
Z:¥WIN32>NWADMN32 ↵

**3** プリントサーバ、プリントキュー、プリンタの各オブジェクトを作成したいコンテキストを選びます。

**4** [オブジェクト]メニューから[作成]を選択します。

**5** [新しいオブジェクトクラス]ウィンドウで、

### ・プリンタの場合

①[プリンタ(非NDPS)]を選択し、[OK]をクリックします。
②[プリンタの作成]でプリンタ名を決めて入力し、[作成]をクリックします。

### ・プリントサーバの場合

①[プリントサーバ(非NDPS)]を選択し、[OK]をクリックします。
②[プリントサーバ名]でPS1Eシリーズのサーバ名(プリントサーバモードの場合。リモートプリンタモードの場合は、NetWareのプリントサーバ名を入力します)を入力し、「作成」をクリックします。

### ・プリントキューの場合

①[プリントキュー]を選択し、「OK」をクリックします。
②[ディレクトリサービスキュー]にチェックが付いていることを確認し、プリントキュー名を決めて入力します。
③プリントキューボリュームを参照して選択後、[OK]ボタンをクリックします。
④[作成]ボタンを」クリックします。

## 6 各オブジェクトの関連付けを行います。

### ・プリンタの場合

①プリンタオブジェクトを選択して、右クリックから[詳細]を選択します。
②[割り当て]ボタンをクリックします。
③[プリントキュー:]で[追加]ボタンをクリックし、作成したプリントキューオブジェクトを選択して、[OK]をクリックします。
④[環境設定]ボタンをクリックします。
⑤[プリンタタイプ:]が[パラレル]になっていることを確認後、[通信]ボタンをクリックし、[ポート]が[LPT1]、[割り込み]が[ポーリング]、[接続タイプ]が[手動ロード]になっていることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。
⑥すべての設定を終えたら、「プリンタ(非NDPS)」画面に戻り、[OK]ボタンをクリックします。

### ・プリントサーバの場合

①プリントサーバオブジェクトを選択して、右クリックから「詳細」を選択します。
②[割り当て]ボタンをクリックします。
③[プリンタ:]で[追加]ボタンをクリックし、作成したプリンタオブジェクトを選択して、[OK]をクリックします。
④追加されたプリンタを選択し、[プリンタ番号]をクリックして、[プリンタ番号]が[0]になっていることを確認して、[OK]をクリックします。
⑤すべての設定を終えたら、[プリントサーバ(非NDPS)]画面に戻り、[OK]ボタンをクリックします。

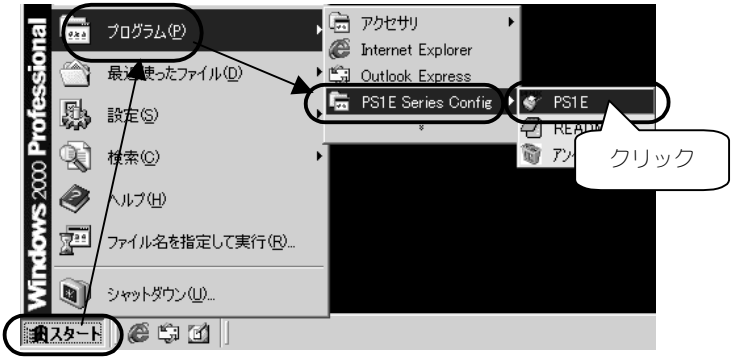
### ・プリントキューの場合

①プリントキューオブジェクトを選択して、右クリックから[詳細]を選択します。
②[割り当て]ボタンをクリックします。
③[管理しているプリントサーバ:]と[プリントキューをサービスしているプリンタ:]に、作成したオブジェクトが表示されていることを確認して、特に変更しなければ[キャンセル]を、設定を変更した場合には[OK]をクリックします。

この後次ページ【②設定ツールによる設定】へお進みください。

# ② 設定ツールによる設定

**1** [スタート]→[プログラム]→[PS1E Series Config]→[PS1E]をクリックします。




**2** [NetWareプロトコル]をクリックします。



**3** [NDSプリントサーバ]タブをクリック後、
[サービスされたNDSコンテキスト]を入力し、
[OK]ボタンをクリックします。




**4** [環境設定を保存]をクリックします。



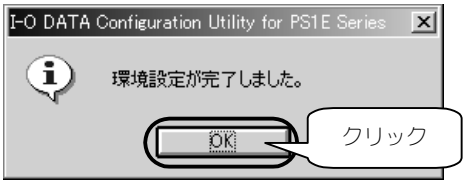

**参考**

**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**5** [はい]ボタンをクリックします。




**6** [OK]ボタンをクリックします。
※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまで数十秒かかる場合があります。




**7** [ファイル]メニュー→[PS1Eの終了]をクリックします。
以下の画面が表示されます。
環境ファイルを保存する場合は、[はい]ボタンをクリックし、任意の名前を付けて保存します。
保存しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。




**参考**

**環境ファイルは、設定ツールのデータ保存用ファイルです。**
**プリントサーバ本体への設定保存値は、上記5 と6 の手順で行っていますので、7 の手順の画面で[いいえ]ボタンをクリックしても設定が保存されないといったことはありません。**

以上で NetWare 4.x/5.x でのすべての設定は終了です。
本製品を利用してプリンタをご利用ください。

MEMO

# 7 NetWare（リモートプリンタモード）での印刷

この章では、NetWareサーバ環境で、本製品をリモートプリンタモードで使用する場合の設定方法を説明します。

NetWare（リモープリンタモード）で印刷するには‥150ページ
NetWare 3.xJ での設定（リモートプリンタモード）‥‥‥151ページ
NetWare 4.x/5.x での設定（リモートプリンタモード）‥‥156ページ

# NetWare（リモートプリンタモード）で印刷するには

NetWare サーバ環境で、本製品を「リモートプリンタモード」で使用する場合、本製品および NetWare での設定が必要です。
ただし、NetWare サーバによって手順が異なります。
以下の個所を参照してください。


| | |
|---|---|
| ・*NetWare 3.xJの場合* | → 次ページを参照してください。 |
| ・*NetWare 4.x/5.xの場合* | → 156ページを参照してください。 |

# NetWare 3.xJ での設定
# （リモートプリンタモード）

ここでは、NetWare 3.xJ環境で、本製品を「リモートプリンタモード」で使用する場合の設定方法について説明します。



**注意！**

**本製品を NetWare に登録するためには、管理者権限が必要になります。**



**注意！**

**次ページ以降で説明する PCONSOLE および NetWare アドミニストレータは、NetWare に付属のユーティリティです。これを使用すると、NetWare ネットワークでの印刷操作に必要なプリンタオブジェクトとプリントキューを作成することができます。**
**PCONSOLE および NetWare アドミニストレータの使用方法については、NetWare の取扱説明書をご覧ください。**

## ① NetWare サーバの設定

最初にNetWareサーバの設定を行います。

1 NetWareに管理者権限でログインします。

2 NetWareのPCONSOLEを起動します。

3 [プリントサーバ情報]メニューを選択し、本製品を動作させるプリントサーバを選択します。
新規にプリントサーバを作成する場合は、[Insert]キーで新しいプリントサーバ名を入力してから↵キーを押します。

4 [プリントサーバ構成メニュー]の[プリンタの構成]を選択します。

5 ポートを割り付けるプリンタ番号を選択します。
[プリンタ#の構成]画面(#は選択したプリンタ番号)が表示されます。

6 プリンタタイプを[リモートパラレル,LPT1]に設定します。

7 [Esc]キーを1回押して変更結果を保存します。

8 [Esc]キーを押し、[プリントサーバ構成メニュー]の[プリンタでサービスされているキュー]を選択します。

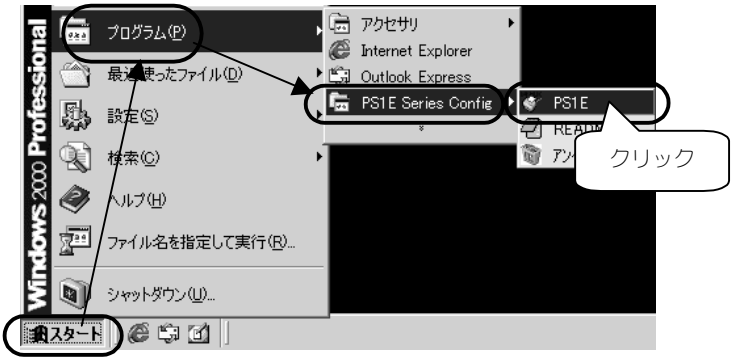
9 [定義済みのプリンタ]の中から、本製品のポートを割り付けるプリンタを選択してキューを割り付けます。

10 PCONSOLEを終了し、設定したプリントサーバを再起動します。

次に次ページへお進みください。

## ② 設定ツールによる本製品の設定

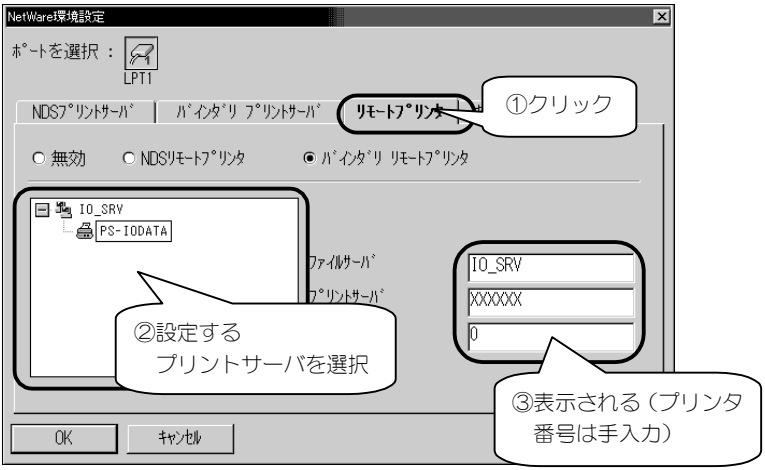
**1** [スタート]→[プログラム]→[PS1E Series Config]→[PS1E]をクリックします。




**2** [NetWareプロトコル]をクリックします。



**3** [リモートプリンタ]タブをクリック後、
ツリーから設定するNetWareプリントサーバを選択します。




**4** [環境設定を保存]をクリックします。



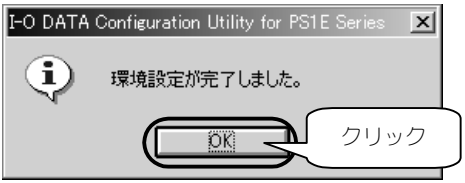

**参考**

**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**5** [はい]ボタンをクリックします。




**6** [OK]ボタンをクリックします。
※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまで数十秒かかる場合があります。




**7** [ファイル]メニュー→[PS1Eの終了]をクリックします。
以下の画面が表示されます。
環境ファイルを保存する場合は、[はい]ボタンをクリックし、任意の名前を付けて保存します。
保存しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。




**参考**

**環境ファイルは、設定ツールのデータ保存用ファイルです。**
**プリントサーバ本体への設定保存値は、上記5 と6 の手順で行っていますので、7 の手順の画面で[いいえ]ボタンをクリックしても設定が保存されないといったことはありません。**

以上で NetWare 3.xJ でのすべての設定は終了です。
本製品を利用してプリンタをご利用ください。

# NetWare 4.x/5.x での設定
## （リモートプリンタモード）

ここでは、NetWare 4.x/5.x環境で、本製品を「リモートプリンタモード」で使用する場合の設定方法について説明します。



**注意！**

**本製品を NetWare に登録するためには、管理者権限が必要になります。**



**注意！**

**次ページ以降で説明する PCONSOLE および NetWare アドミニストレータは、NetWare に付属のユーティリティです。これを使用すると、NetWare ネットワークでの印刷操作に必要なプリンタオブジェクトとプリントキューを作成することができます。**
**PCONSOLE および NetWare アドミニストレータの使用方法については、NetWare の取扱説明書をご覧ください。**

# ① NetWare サーバの設定

最初にNetWareサーバの設定を行います。
以下のいずれかの方法で設定してください。

| | | |
|---|---|---|
| ・*PCONSOLEで行う場合* | → | 以下を参照してください。 |
| ・*NetWareアドミニストレータで行う場合* | → | 159ページを参照してください。 |

## ●PCONSOLEで行う場合

**1** NetWareに管理者権限でログインします。

**2** PCONSOLE を起動します。
起動したら、NDSのモードになっている事を確認します。（[F4]キーでNDSとバインダリモードが切り替わります。）

**3** 本製品をインストールしたいNDSコンテキストに変更します。
[利用可能な項目]から[ｺﾝﾃｷｽﾄの変更]を選択します。（NDSの現在のコンテキストは、PCONSOLE画面の左上隅に表示されています。）
表示されるメニューから、本製品をインストールしたいコンテキストを選択します。
コンテキスト名は、後で参照できるように何かにメモしておいてください。設定作業時に、この情報が必要になります。

**4** [クイックセットアップ]を選択します。

**5** 次の各項目に値を入力または選択し、[F10]キーで保存します。

| | |
|---|---|
| プリントサーバの名前 | プリントサーバの名前を入力します。 |
| プリンタタイプ | パラレル |
| 位置 | 手動ロード（リモート） |
| 割り込み | なし（ポーリングモード） |
| ポート | LPT1 |

**6** プリントサーバを起動します。

起動方法の詳細についてはNetWare4.x/5のマニュアルを参照してください。

この後、161ページ【②設定ツールによる設定】へお進みください。

## ●NetWareアドミニストレータで行う場合（以下はNetWare 5.xでの例です。）

**1** Zドライブの WIN32フォルダに移動します。

**2** 以下を実行し、NetWareアドミニストレータを起動します。
Z:¥WIN32>NWADMN32↵

**3** プリントサーバ、プリントキュー、プリンタの各オブジェクトを作成したいコンテキストを選びます。

**4** [オブジェクト]メニューから[作成]を選択します。

**5** **「新しいオブジェクトクラス」ウィンドウで、**

### ・プリンタの場合

①[プリンタ(非NDPS)]を選択し、[OK]をクリックします。
②[プリンタの作成]でプリンタ名を決めて入力し、[作成]をクリックします。

### ・プリントサーバの場合

①[プリントサーバ(非NDPS)]を選択し、[OK]をクリックします。
②[プリントサーバ名」でPS1Eシリーズのサーバ名（プリントサーバモードの場合。リモートプリンタモードの場合は、NetWareのプリントサーバ名を入力します）を入力し、[作成]をクリックします。

### ・プリントキューの場合

①[プリントキュー]を選択し、[OK]をクリックします。
②[ディレクトリサービスキュー]にチェックが付いていることを確認し、プリントキュー名を決めて入力します。
③プリントキューボリュームを参照して選択後、[OK]ボタンをクリックします。
④[作成]ボタンを」クリックします。

## 6 各オブジェクトの関連付けを行います。

### ・プリンタの場合

①プリンタオブジェクトを選択して、右クリックから[詳細]を選択します。
②[割り当て]ボタンをクリックします。
③[プリントキュー:]で「追加」ボタンをクリックし、作成したプリントキューオブジェクトを選択して、[OK]をクリックします。
④[環境設定]ボタンをクリックします。
⑤[プリンタタイプ:]が[パラレル]になっていることを確認後、[通信]ボタンをクリックし、[ポート]が[LPT1]、[割り込み]が[ポーリング]、[接続タイプ]が[手動ロード]になっていることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。
⑥すべての設定を終えたら、[プリンタ(非NDPS)]画面に戻り、[OK]ボタンをクリックします。

### ・プリントサーバの場合

①プリントサーバオブジェクトを選択して、右クリックから「詳細」を選択します。
②[割り当て]ボタンをクリックします。
③[プリンタ:]で[追加]ボタンをクリックし、作成したプリンタオブジェクトを選択して、[OK]をクリックします。
④追加されたプリンタを選択し、[プリンタ番号]をクリックして、[プリンタ番号]が[0]になっていることを確認して、[OK]をクリックします。
⑤すべての設定を終えたら、[プリントサーバ(非NDPS)]画面に戻り、[OK]ボタンをクリックします。

### ・プリントキューの場合

①プリントキューオブジェクトを選択して、右クリックから[詳細]を選択します。
②[割り当て]ボタンをクリックします。
③[管理しているプリントサーバ:]と[プリントキューをサービスしているプリンタ:]に、作成したオブジェクトが表示されていることを確認して、特に変更しなければ[キャンセル]を、設定を変更した場合には[OK]をクリックします。

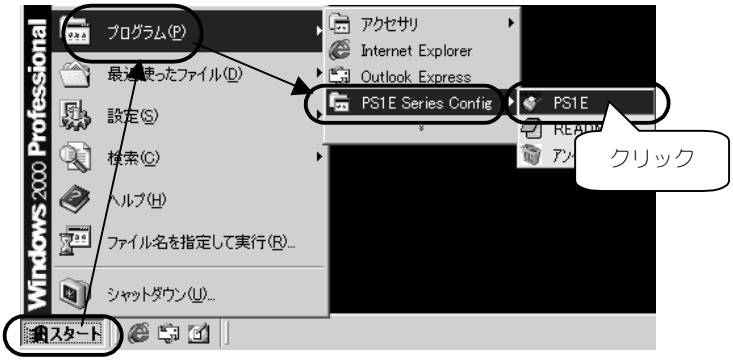
## 7 プリントサーバを起動します。

起動方法の詳細についてはNetWare4.x/5のマニュアルを参照してください。

この後、次ページ【②設定ツールによる設定】へお進みください。

# ② 設定ツールによる設定

**1** [スタート]→[プログラム]→[PS1E Series Config]→[PS1E]をクリックします。




**2** [NetWareプロトコル]をクリックします。



**3** [リモートプリンタ]タブをクリック後、
ツリーから設定するNetWareプリントサーバを選択し、
[コンテキスト]、[プリントサーバ]、[プリンタ番号]を入力します。




**4** [OK]ボタンをクリックします。

**5** [環境設定を保存]をクリックします。



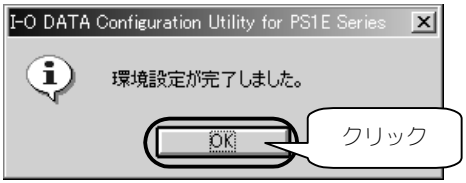

**参考**

**[設定環境を保存]をクリックする以外に、 ボタンをクリックして設定を保存することもできます。**

**6** [はい]ボタンをクリックします。




**7** [OK]ボタンをクリックします。
※ネットワーク環境によっては設定が有効になるまで数十秒かかる場合があります。




**8** [ファイル]メニュー→[PS1Eの終了]をクリックします。
以下の画面が表示されます。
環境ファイルを保存する場合は、[はい]ボタンをクリックし、任意の名前を付けて保存します。
保存しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。




**参考**

**環境ファイルは、設定ツールのデータ保存用ファイルです。**
**プリントサーバ本体への設定保存値は、上記6 と7 の手順で行っていますので、8 の手順の画面で[いいえ]ボタンをクリックしても設定が保存されないといったことはありません。**

以上で NetWare 4.x/5.x でのすべての設定は終了です。
本製品を利用してプリンタをご利用ください。

MEMO

# 付録 1

# 困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

## 取り付け時のトラブル


| 状態 | ページ |
|---|---|
| LED が異常に点滅したままになる | 167 |


## 設定用パソコンでのトラブル


| 状態 | ページ |
|---|---|
| 設定ツールで本製品が表示されない | 168 |
| (Windows 2000)<br>[NetWare 用クライアントサービス]が表示されていない | 169 |
| (Windows 2000)<br>[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]が表示されていない | |
| (Windows Me)<br>[クライアント(NetWare ネットワーク用)]が表示されていない | |
| (Windows 98/95)<br>[NetWare ネットワーククライアント]が表示されていない | |
| (Windows Me/98/95)<br>[IPX/SPX 互換プロトコル]が表示されていない | |


## Windows 環境で印刷時のトラブル


| 状態 | ページ |
|---|---|
| ・あるアプリケーションの印刷の処理に非常に時間がかかり出力結果が正しくない<br>・文字化けが起こったり、一部しか印刷されない | 170 |
| 印刷できない | 171 |

## Windows 環境で印刷時のトラブル（つづき）

| 状態 | ページ |
|---|---|
| 以下のプリンタで印刷できない<br>EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C,<br>MJ-6000C,MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-900C,<br>MJ-910C,MJ-930C,PM-700C　など | 173 |
| プリンタのインストールが正常に行えない | |
| プリンタ付属のプログラムでエラーが発生する | |
| PING コマンドを実行するとエラーとなる | 174 |
| （Windows 2000）<br>[インターネット プロトコル(TCP/IP)]が表示されていない | 175 |
| （Windows 2000）<br>[NetBEUI プロトコル]が表示されていない | |
| （Windows Me/98/95）<br>[Microsoft ネットワーククライアント]が表示されていない | |
| （Windows Me/98/95）<br>[TCP/IP]が表示されていない | |
| （Windows Me/98/95）<br>[NetBEUI]が表示されていない | |

## NetWare 環境でのトラブル

| 状態 | ページ |
|---|---|
| NetWare プリントキューの追加または変更後に本製品がリセットしてしまう | 176 |
| PCONSOLE の[プリントサーバ状態]の[制御]メニューを使いたいが、設定を変更できない | |
| ジョブが2つに分断される | |
| 以下のプリンタで印刷できない<br>EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C,<br>MJ-6000C,MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-900C,<br>MJ-910C,MJ-930C,PM-700C　など | 177 |
| プリンタ付属のプログラムでエラーが発生する | |

# 取り付け時のトラブル

## LED が異常に点滅したままになる

| | |
|---|---|
| 対処 | 本製品をリセットします。<br>設定ツールの[ツール]→[リセット]で本製品のリセットを行うか、または電源を入れ直してリセットしてください。 |

# 設定用パソコンでのトラブル

## 設定ツールで本製品が表示されない

| | |
|---|---|
| 原因1 | 設定ツールを動作させるために必要な[クライアント]と[プロトコル]がインストールされていない |
| 対処 | 【設定用パソコンのネットワークを確認する】(17 ページを参照して、必要なクライアントおよびプロトコルがインストールされているか確認してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因2 | ルータを介したリモート回線上に本製品を接続している |
| 対処 | ルータを介したリモート回線上に本製品を接続している環境では設定できません。 |

| | |
|---|---|
| 原因3 | 本製品の電源が入っていない |
| 対処 | 電源を入れてください。 |

| | |
|---|---|
| 原因4 | 本製品がネットワークに接続されていない |
| 対処 | プリンタ、本製品、ハブやパソコンの接続を確認してください。 |

## (Windows 2000)
## [NetWare 用クライアントサービス]が表示されていない

| 対処 | 【[NetWare 用クライアントサービス]のインストール】(213 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

## (Windows 2000)
## [NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]が表示されていない

| 対処 | 【[プロトコルのインストール】(216 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

## (Windows Me)
## [クライアント(NetWare ネットワーク用)]が表示されていない

| 対処 | 【[クライアントのインストール】(208 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

## (Windows 98/95)
## [NetWare ネットワーククライアント]が表示されていない

| 対処 | 【[クライアントのインストール】(208 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

## (Windows Me/98/95)
## [IPX/SPX 互換プロトコル]が表示されていない

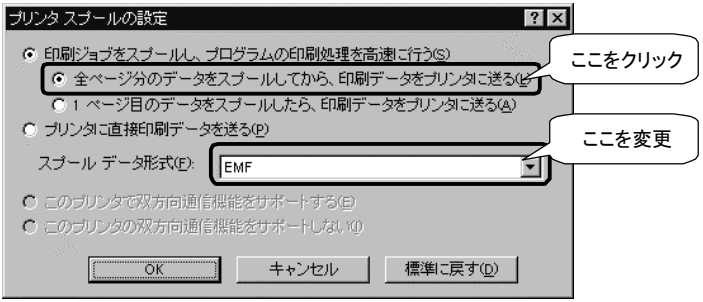
| 対処 | 【[プロトコルのインストール】(211 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

# Windows 環境で印刷時のトラブル

**・あるアプリケーションの印刷の処理に非常に時間がかかり出力結果が正しくない**
**・文字化けが起こったり、一部しか印刷されない**

| 原因1 | アプリケーション、プリンタのスプール命令、“1 ページ目のデータをスプールしたら、印刷データをプリンタに送る。”をサポートしていない |
|---|---|
| **対処** | 次の手順で、このオプションを使用不可にしてください。<br>①[コントロールパネル]→[プリンタ]をダブルクリックします。<br>②問題が発生するプリンタを選択します。<br>③[ファイル]メニュー→[プロパティ]を選択します。<br>④[詳細]タブ→[スプールの設定]ボタンをクリックします。<br>⑤[全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。(次ページ画面参照) |

| 原因2 | プリンタの負担が大きい |
|---|---|
| **対処** | 次の手順で、速度を「低速」にしてください。<br>①設定ツールを起動します。<br>②[環境設定]内の[サーバデバイス]をクリックします。<br>③[ポートの設定]内の[LPT1]ボタンをクリックします。<br>④[速度]を[低速]に設定します。<br>⑤[OK]ボタンをクリックし、メイン画面で[環境設定を保存]をクリックして環境を保存します。<br><br>上記のように[低速]に設定しても出力結果が正しくない場合は、以下をお試しください。<br>①[スタート]→[設定]→[プリンタ]から、ご使用のプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。<br>②[詳細]タブをクリックし、[スプールの設定]ボタンをクリックします。<br>③[プリンタスプールの設定]画面(次ページ画面参照)で設定を変更してお試しください。 |

| | |
|---|---|
| **対処** | （前ページからの続き）<br><br> |

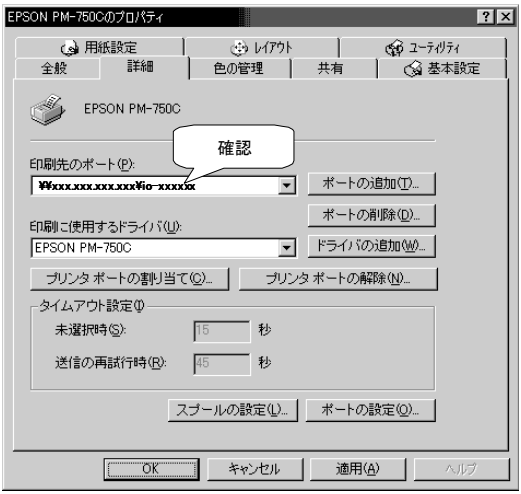
## 印刷できない

| | |
|---|---|
| 原因1 | プリンタが WPS 方式のプリンタである |
| **対処** | WPS(Windows Printing System)方式のプリンタは双方向通信機能をオフにすることができないため、本製品にWPS方式のプリンタを接続した状態での動作は保証できません。ただし、WPSプリンタであってもメーカーが提供するドライバによっては使用可能な場合もあります。<br>以下は、一般的なWPSプリンタの一覧です。<br>Canon LBP-210/220/220Pro/250,<br>BJ-610JW/620JW(ラスタドライバでは使用可)<br>NEC MultiWriter 1000LW,PC-PR1000E14W<br>EPSON LP-700W<br>富士通 Printia LASER XL-2000W,XL-2000W2<br>SHARP JX-9210/9230 |

| | |
|---|---|
| 原因2 | 双方向通信モードに設定されている |
| **対処1** | プリンタ側の双方向通信機能を OFF に設定します。 |
| **対処2** | 作成したプリンタのプロパティを開き、[詳細]タブの[スプール設定]ボタンをクリックし、[双方向通信機能をサポートしない]をチェックしてください。 |

| | |
|---|---|
| 原因3 | ネットワーク環境で使用できないプリンタを使用している |
| **対処** | ネットワーク環境で印刷可能なプリンタをご使用ください。詳細は各プリンタメーカーにお問い合わせください。 |

（次ページに続く）

| | |
|---|---|
| 原因4 | （TCP/IP 印刷時）<br>プリンタ設定時の[IP アドレス]や[ポート名]の設定が間違っている |
| **対処** | Windows Me/98/95 の場合は、【2. 「TCP/IP 印刷クライアント」設定後の確認】(73 ページ)を参照してください。<br>Windows 2000 および Windows NT 4.0 の場合は、以下をご確認ください。<br>①設定ツールの環境設定で「サーバーデバイス」→「LPT1」を開いて[ポート名]を確認し、[TCP/IP プロトコル]を開いて「IP アドレス」を確認します。<br>②プリンタのプロパティの「印刷先のポート」を開き、以下の表示となっているかをご確認ください。<br>¥¥ IP アドレス ¥¥ ポート名<br> |

| | |
|---|---|
| 原因5 | （Windows Me/98/95 での TCP/IP 印刷時）<br>本製品を DHCP クライアントに設定した場合で、設定した IP アドレスが間違っている |
| **対処** | 設定ツールを実行し、本製品が DHCP サーバから取得した IP アドレスを確認し、再度設定してください。（DHCP サーバから取得した IP アドレスは設定ツールの[TCP/IP プロトコル]をクリックした画面で確認できます。ただし、DHCP に設定後、表示されるまでに時間がかかる場合があります。） |

（次ページに続く）

| | |
|---|---|
| 原因6 | プリンタが一時停止となっている |
| 対処 | 以下の手順で一時停止を解除してください。<br>①[スタート]→[設定]→[プリンタ]をクリックし、[プリンタ]画面でご使用のプリンタ名のアイコンをダブルクリックします。<br>②[プリンタ]メニューに表示される[一時停止]にチェックがついていた場合は、[一時停止]をクリックし[一時停止]のチェックを外してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因7 | メーカー独自のプリンティングシステムを使用するプリンタ(例:EPSON LP-800S,沖データ MICROLINE4w,8w)では本製品を使用できません。 |

## 以下のプリンタで印刷できない

**EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C, MJ-6000C,MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-900C, MJ-910C,MJ-930C,PM-700C など**

| | |
|---|---|
| 対処 | 80 ページを参照し、[プリントマネージャを使用する]をチェックし、プリントマネージャを有効にしてください。 |

## プリンタのインストールが正常に行えない

| | |
|---|---|
| 原因 | ご使用のプリンタによっては、あらかじめプリンタメーカー独自のセットアッププログラムでセットアップを行う必要がある<br>(例:EPSON PM-750C,Canon BJ F600 など) |
| 対処 | プリンタメーカー独自のセットアッププログラムでプリンタドライバをインストールしてください。(方法については各プリンタメーカーにお問い合わせください。) |

## プリンタ付属のプログラムでエラーが発生する

| | |
|---|---|
| 対処 | パソコン本体のプリンタポートとプリンタケーブルで接続されていることを前提としてプリンタの状態を監視しているプログラム、また、プリンタメーカー純正オプションの LAN ボードを使用することを前提としているプログラムには、本製品は対応していません。<br>印刷に支障が出るようであれば、それらのプリンタ付属のプログラムをアンインストール(削除)してください。 |

## PING コマンドを実行するとエラーとなる

| 原因1 | IP アドレス、サブネットマスクが正しく設定されていない |
|---|---|
| **対処** | パソコンの IP アドレス、サブネットマスクの設定が、本製品と同じクラスの設定になっているか確認してください。<br>*＜本製品の設定手順＞*<br>【ステップ2 本製品の[IP アドレス]を設定する】(45 ページ)を参照してください。<br>*＜パソコンの設定手順＞*<br>【ステップ1 パソコンの IP アドレスを設定する】(54 ページ)を参照してください。<br>*【例:本製品の IP アドレスを[192.168.0.100]に設定している場合】*<br>*・パソコンに設定する IP アドレス値*<br>*192.168.0.xxx*<br>(xxx は 1～254 のいずれかの値、100 を除く)<br>*・パソコンに設定するサブネットマスク値*<br>*255.255.255.0* |

| 原因2 | TCP/IP プロトコルがインストールされていない |
|---|---|
| **対処** | 【プロトコルのインストール】(Windows 2000 の場合は 216 ページ、Windows Me/98/95 の場合は 211 ページ)を参照して[インターネットプロトコル(TCP/IP)]および[TCP/IP]をインストールしてください。 |

| 原因3 | LAN アダプタが正常に動作していない |
|---|---|
| **対処** | LAN アダプタの取扱説明書を参照して LAN アダプタが正常に動作しているかを確認してください。 |

| 原因4 | 本製品の電源が入っていない |
|---|---|
| **対処** | 本製品の電源が入っているか([POWER]ランプが点灯しているか)を確認してください。 |

| 原因5 | LAN ケーブルが断線または外れている |
|---|---|
| **対処** | ハブおよび本製品に LAN ケーブルが正しく接続されているかどうか([Link/Rx]ランプが点灯しているか)を確認してください。 |

**（Windows 2000）**
**[インターネット プロトコル(TCP/IP)]が表示されていない**

| 対処 | 【プロトコルのインストール】(216 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

**（Windows 2000）**
**[NetBEUI プロトコル]が表示されていない**

| 対処 | 【プロトコルのインストール】(216 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

**（Windows Me/98/95）**
**[Microsoft ネットワーククライアント]が表示されていない**

| 対処 | 【クライアントのインストール】(208 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

**（Windows Me/98/95）**
**[TCP/IP]が表示されていない**

| 対処 | 【プロトコルのインストール】(211 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

**（Windows Me/98/95）**
**[NetBEUI]が表示されていない**

| 対処 | 【プロトコルのインストール】(211 ページ)を参照してください。 |
|---|---|

# NetWare 環境でのトラブル

## NetWare プリントキューの追加または変更後に本製品がリセットしてしまう

| | |
|---|---|
| 対処 | プリントキューの追加または変更後に本製品を再起動すると何らかの不都合がある場合、PCONSOLE の[プリントサーバ状態]の[制御]メニューを使用すれば、一時的な変更ができます。<br>その後で、PCONSOLE の[プリントサーバ構成]を使用して、ファイルサーバの設定を変更します。<br>一時的な変更はただちに有効となりますので、本製品を再起動することなく新しい設定を使用できます。<br>※再起動された時点で、一時的な変更は削除され、恒久的な変更内容の方が有効になります。 |

## PCONSOLE の[プリントサーバ状態]の[制御]メニューを使いたいが、設定を変更できない

| | |
|---|---|
| 原因 | 読み取り専用の設定となっている |
| 対処 | プリントサーバオペレータ以外のユーザに対しては、[プリントサーバ状態]の[制御]メニューの機能は読み取り専用になりますので、以下の手順で書き込み(設定)もできるようにログイン名を追加してください。<br>①管理者権限でログインします。<br>②PCONSOLE を実行し、[プリントサーバ情報]を選択してから、プリントサーバ名を選択します。<br>③[プリントサーバオペレータ]を選択します。<br>④[Insert]キーを押して、プリントサーバオペレータのリストに追加したいログイン名を設定(書き込み)もできるように追加してください。 |

## ジョブが2つに分断される

| | |
|---|---|
| 原因 | CAPTURE コマンドのタイムアウト設定時間が短すぎる可能性がある |
| 対処 | CAPTURE コマンドの /TI=n オプションを使用してタイムアウト時間を長くしてください。 |

## 以下のプリンタで、手順のとおりに WindowsMe/98/95 でプリンタを接続して設定したが、印刷できない

**EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C,
MJ-6000C,MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-900C,
MJ-910C,MJ-930C,PM-700C　など**

| | |
|---|---|
| 対処 | 80 ページを参照し、[プリントマネージャを使用する]をチェックし、プリントマネージャを有効にしてください。 |

## プリンタ付属のプログラムでエラーが発生する

| | |
|---|---|
| 対処 | パソコン本体のプリンタポートとプリンタケーブルで接続されていることを前提としてプリンタの状態を監視しているプログラム、また、プリンタメーカー純正オプションの LAN ボードを使用することを前提としているプログラムには、本製品は対応していません。<br>印刷に支障が出るようであれば、それらのプリンタ付属のプログラムをアンインストール(削除)してください。 |

# 付録2

# 設定ツール

ここでは本製品の管理を行う「設定ツール」の機能・コマンドを説明します。

もくじ


・メイン画面について……180
　・起動方法 …… 180
　・メイン画面 …… 181
　・終了方法 …… 184
・メイン画面の詳細 ……185
　・[サーバリスト] …… 186
　・[環境設定] …… 187
　・[管理] …… 193
　・[NetWare] …… 194
　・[ツール]…… 195
　・[ファイル]メニュー…… 196
　・[ヘルプ]メニュー…… 198


**注意！**

**・設定ツールはリストに表示されるすべての設定の変更等ができるため、パスワードを設定するなどで、不用意に他のユーザが設定ツールを使用して変更しないよう注意してください。（管理者以外はインストールする必要はありません。）**
**・設定ツールは本製品（ET-FPS1E,ET-PS1E）専用です。**

**参考**

**・設定ツールのインストール方法は、26 ページを参照してください。**
**・設定は、「設定ツール」以外に Windows 標準の「telnet」からでも設定できます。「telnet」で設定する場合、LAN 環境には、LAN アダプタを搭載し、TCP/IP が正常に動作していれば設定できます。詳細については 199 ページを参照してください。**

# 設定ツールを動作させるために必要な環境

設定ツールを動作させるには、以下の環境が必要です。

| | |
|---|---|
| ネットワークOS<br>（日本語版） | 以下のいずれかの OS でのみ動作します。<br>・Windows 2000 *（NEC PC-9821 シリーズを除く）*<br>・Windows Me<br>・Windows 98(Second Edition 含む)<br>・Windows 95<br>・Windows NT 4.0 *（NEC PC-9821 シリーズを除く）* |
| LAN環境 | LAN（アダプタ）が正常に動作している必要があります。<br>また、以下の①のクライアントと②のプロトコルの両方がインストールされている必要があります。（確認手順は 17 ページ以降参照）<br>・*Windows 2000 で動作させる場合*<br>① 「NetWare 用クライアントサービス」（または Novell Client※1）<br>② 「NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル」<br>・*Windows Me で動作させる場合*<br>① 「クライアント（NetWare ネットワーク用）」<br>（または Novell Client※2）<br>② 「IPX/SPX 互換プロトコル」<br>・*Windows 98/95 で動作させる場合*<br>① 「NetWare ネットワーククライアント」（または Novell Client※2）<br>② 「IPX/SPX 互換プロトコル」<br>・*Windows NT 4.0 で動作させる場合*<br>① 「Client Service for NetWare」（または Novell Client※1）<br>② 「NWLink IPX/SPX 互換トランスポート」 |

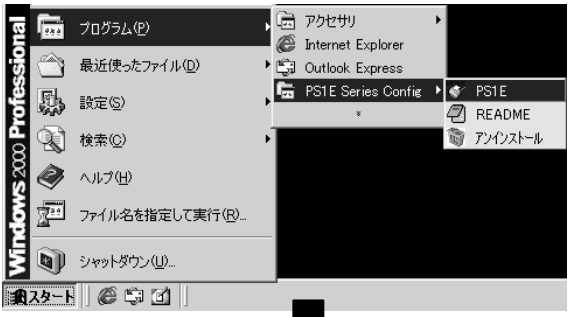
※1　NetWare 4.x（NDS）および 5.x（NDS）環境で使用するには、「Novell Client for Windows NT/2000」が必要です。Novell 社の Web サイトから入手可能です。

※2　NetWare 4.x（NDS）および 5.x（NDS）環境で使用するには、「Novell Client for Windows 95/98」が必要です。Novell 社の Web サイトから入手可能です。

# メイン画面について

## 起動方法

[スタート]→[プログラム]→[PS1E Series Config]→[PS1E]をクリックすれば[設定ツール]のメイン画面が起動します。

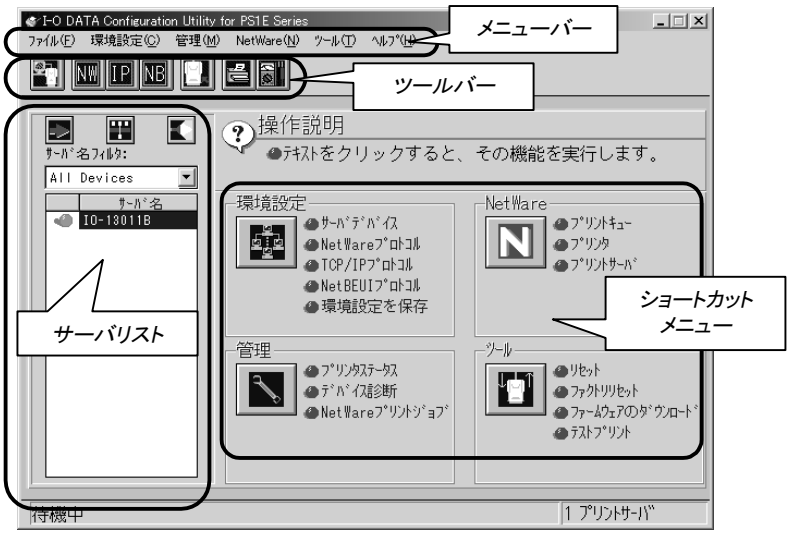



***[設定ツール]メイン画面***



# メイン画面

メイン画面は以下の部分で構成されています。




・メニューバー

| | | |
|---|---|---|
| [ファイル] | 環境ファイルの作成、開く、保存や本製品の検索、本ツールの初期設定や終了を行います。 | →196ページ |
| [環境設定] | 本製品の[サーバ名]その他、NetWare、TCP/IP、NetBEUIプロトコルの設定を行います。 | →187ページ |
| [管理] | プリンタの現在の状態、トラブル情報、NetWareプリントジョブに関する情報の表示や変更を行います。 | →193ページ |
| [NetWare] | NetWareでのプリントキュー、プリンタ、プリントサーバの割り当てなどを行います。 | →194ページ |
| [ツール] | 本製品のリセット、ファームウェアのダウンロード、テスト印字などを行います。 | →195ページ |
| [ヘルプ] | 本ツールのバージョン情報を表示します。 | →198ページ |

・ツールバー




| | | | |
|---|---|---|---|
| | サーバデバイス | [環境設定]メニューと同じ設定です。 | →196ページ |
| | NetWareプロトコル | | |
| | TCP/IPプロトコル | | |
| | NetBEUIプロトコル | | |
| | 環境設定を保存 | | |
| | プリンタステータス | [管理]メニューと同じ設定です。 | →193ページ |
| | デバイス診断 | | |

・サーバリスト



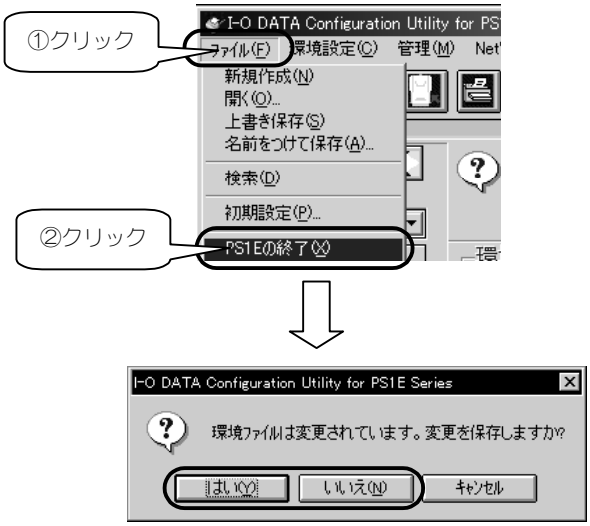
| | | | |
|---|---|---|---|
| | サーバリスト詳細 | サーバ名に表示された本製品の詳細情報を開きます。 | →186ページ |
| | フィルタストリング定義 | フィルタストリングを定義します。 | |
| | 更新 | サーバリストを最新の情報に更新します。 | |

・ショートカットメニュー

| | | | |
|---|---|---|---|
| 環境設定 | サーバデバイス | [環境設定]メニューと同じ設定です。 | →187ページ |
| | NetWareプロトコル | | |
| | TCP/IPプロトコル | | |
| | NetBEUIプロトコル | | |
| | 環境設定を保存 | | |
| 管理 | プリンタステータス | [管理]メニューと同じ設定です。 | →193ページ |
| | デバイス診断 | | |
| | NetWare プリントジョブ | | |
| NetWare | プリントキュー | [NetWare]メニューと同じ設定です。 | →194ページ |
| | プリンタ | | |
| | プリントサーバ | | |
| ツール | リセット | [ツール]メニューと同じ設定です。 | →195ページ |
| | ファクトリリセット | | |
| | ファームウェアのダウンロード | | |
| | テストプリント | | |

# 終了方法

[ファイル]メニューの[PS1Eの終了]をクリックすれば
[設定ツール]を終了します。




環境ファイルを保存する場合は、[はい]ボタンをクリックし、任意の名前を付けて保存します。
保存しない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。

# メイン画面の詳細

もくじ

・[サーバリスト] ····· 186
・[環境設定] ····· 187
・[管理] ····· 193
・[NetWare] ····· 194
・[ツール] ····· 195
・[ファイル]メニュー ····· 196
・[ヘルプ]メニュー ····· 198

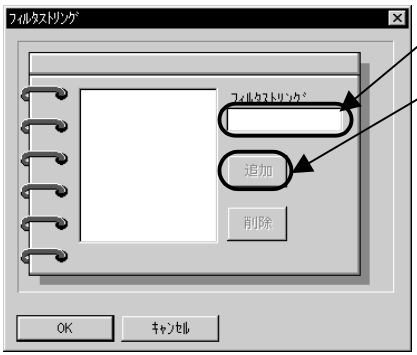
# ［サーバリスト］

［サーバリスト］について説明します。



| | |
|---|---|
| サーバリスト詳細 | サーバ名に表示された本製品の詳細情報を開きます。 |
| フィルタストリング定義 | フィルタストリングを定義します。<br>（以下の画面参照） |
| 更新 | サーバリストを最新の情報に更新します。 |

## ・［フィルタストリング］画面




1)フィルタリングしたい本製品のデバイス名を入力します。

2)［追加］ボタンをクリックしてください。

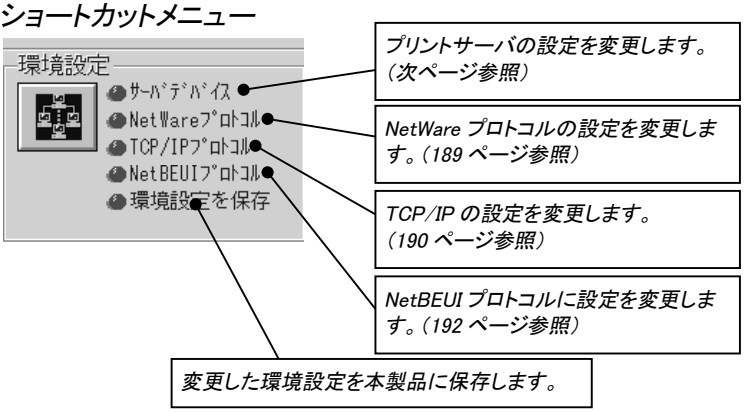
3)メイン画面の「ｻｰﾊﾞ名ﾌｨﾙﾀ」プルダウンリストからフィルタストリングを選択します。
サーバーリストは、フィルタストリングにマッチするサーバーのリストを表示します。

# [環境設定]

[環境設定]項目について説明します。

ショートカットメニューやメニューバーおよびツールバーからでも設定できます。

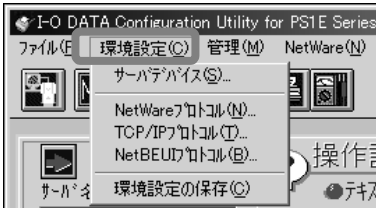
・*ショートカットメニュー*




**参考**

**以下の[環境設定]メニューと[ツールバー]からの設定は、上記のショートカットメニューからの設定と同じ内容です。**

・*[環境設定]メニュー*



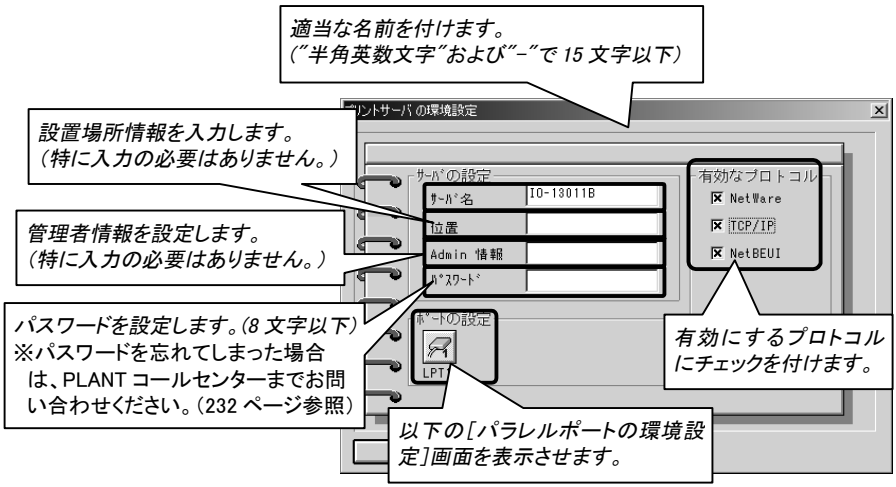

・*ツールバー*



# ［サーバデバイス］

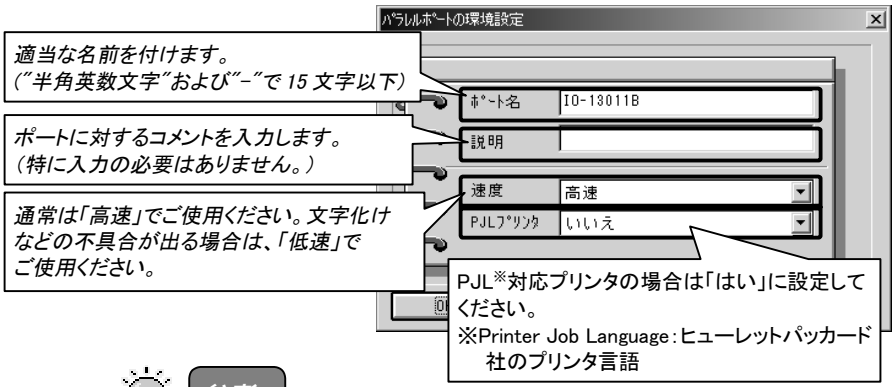
## ・[プリントサーバの環境設定]画面

［環境設定］メニューの［サーバデバイス］で以下の画面が表示されます。




## ・[パラレルポートの環境設定]画面

上記［パラレルポートの環境設定］画面の［LPT1］ボタンで
以下の画面が表示されます。




**参考**

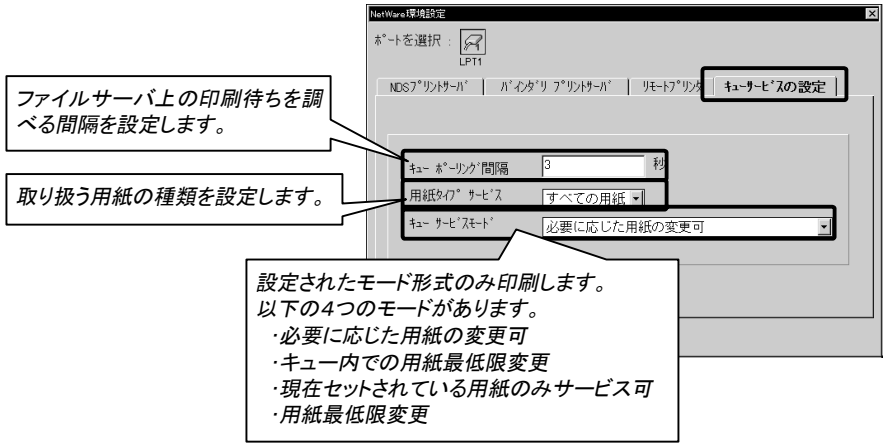
**お使いのプリンタがPJL対応プリンタかどうかは、プリンタの取扱説明書をご覧になるか、または、プリンタメーカーにご確認ください。**

# [NetWare プロトコル]

## ・[NetWare 環境設定]画面

[環境設定]メニューの[NetWare]で以下の画面が表示されます。

※以下は[キューサービスの設定]タブでの画面です。




**参考**

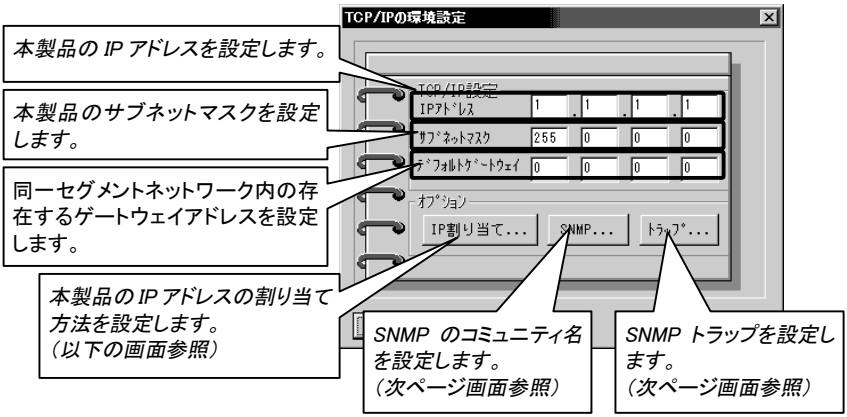
**[NDS プリントサーバ]タブ、[バインダリプリントサーバ]タブについては、【NetWare(プリントサーバモード) での印刷】(125 ページ)以降を参照してください。**

**[リモートプリンタ]タブについては、【NetWare(リモートプリンタモード) での印刷】(149 ページ)以降を参照してください。**

# [TCP/IP プロトコル]

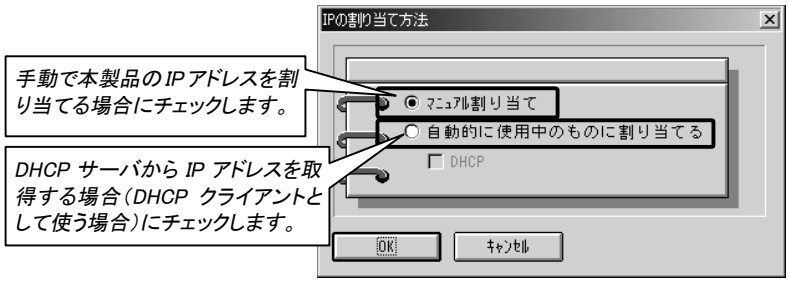
## ・[TCP/IP の環境設定]画面

[環境設定]メニューの[TCP/IPプロトコル]で以下の画面が表示されます。




## ・[IP の割り当て方法]画面

上記[TCP/IPの環境設定]画面の[IP割り当て...]ボタンで
以下の画面が表示されます。




**注意！**

**本製品の IP アドレスを DHCP サーバより取得する設定にする場合は、印刷するパソコン側での設定変更を防ぐために、DHCP サーバで本製品の IP アドレスを予約するようお薦めします。詳細については、49 ページ【*本製品を DHCP クライアントとしてご利用になる場合の注意*】を参照してください。**

## ・[SNMP の環境設定]画面

前ページ[TCP/IPの環境設定]画面の[SNMP…]ボタンで
以下の画面が表示されます。




*コミュニティ名(”半角英数文字”
および”-”で 32 文字以下)を追加し、
そのアクセスレベルを設定します。*

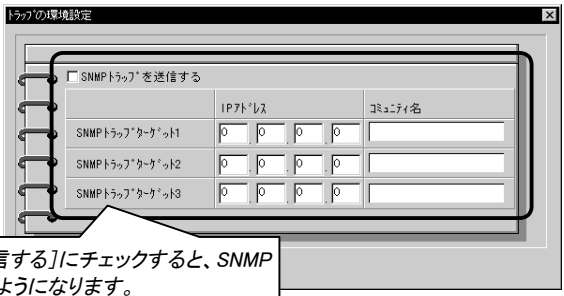
**参考**

**[SNMP]とは**

**→SNMP とは、簡易ネットワーク管理プロトコル（Simple Network Management Protocol）の略称で、ネットワーク上にある様々な機器を管理できる標準プロトコルです。**
**SNMP は、SNMP マネージャと SNMP エージェントから構成されています。基本的には、SNMP エージェントは管理されている機器に搭載されており、SNMP マネージャはエージェントから情報を得ます。マネージャ及びエージェントは、MIB（Management Information Base）と呼ばれる管理情報を持っており、この管理情報を基にして機器の管理を行います。**

## ・[トラップの環境設定]画面

前ページ[TCP/IPの環境設定]画面の[トラップ…]ボタンで
以下の画面が表示されます。

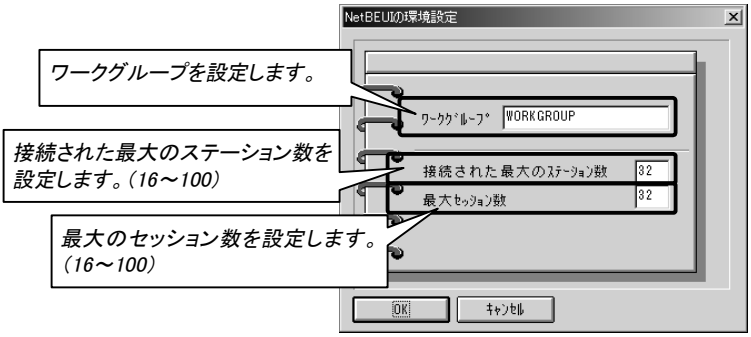



*[SNMP トラップを送信する]にチェックすると、SNMP トラップが送信できるようになります。
トラップの受け入れをするための IP アドレスとコミュニティ名を入力します。*

# [NetBEUI プロトコル]

## ・[NetBEUI の環境設定]画面

[環境設定]メニューの[NetBEUIプロトコル]で以下の画面が表示されます。



# [管理]

[管理]項目について説明します。

ショートカットメニューやメニューバーやツールバーから設定できます。

・*ショートカットメニュー*




*プリンタの現在の状態を示します。*

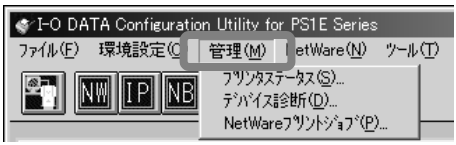
*ネットワークで問題が発生した場所を特定したりプリントサーバ設定を記録するために、トラブルシューティング情報を表示します。*

NetWare プリントジョブに、各プリンタで印刷される文書を示し、変更します。

*参考*

**以下の[管理]メニューからの設定は、上記のショートカットメニューからの設定と同じ内容です。**

・*[管理]メニュー*




・*ツールバー*

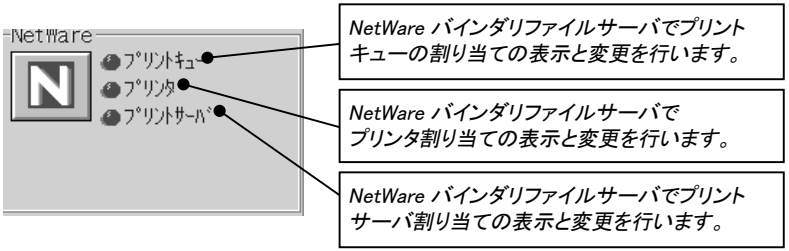


# [NetWare]

[NetWare]項目について説明します。

ショートカットメニューやメニューバーから設定できます。

・*ショートカットメニュー*




参考

**[NetWare]項目の詳細については、【NetWare(プリントサーバモード) での印刷】(125 ページ)および【NetWare(リモートプリンタモード) での印刷】(149 ページ)を参照してください。**

参考

**以下の[NetWare]メニューからの設定は、上記のショートカットメニューからの設定と同じ内容です。**

・*[NetWare]メニュー*



# [ツール]

[ツール]項目について説明します。

ショートカットメニューやメニューバーから設定できます。

・ショートカットメニュー




本製品をリセットします。[環境設定を保存]で保存した内容はリセットされません。

出荷時状態にリセットします。

本製品のフラッシュ ROM にファームウェアをダウンロードします。

正常に動作しているかを確認するため、テストページを送信します。

**参考**

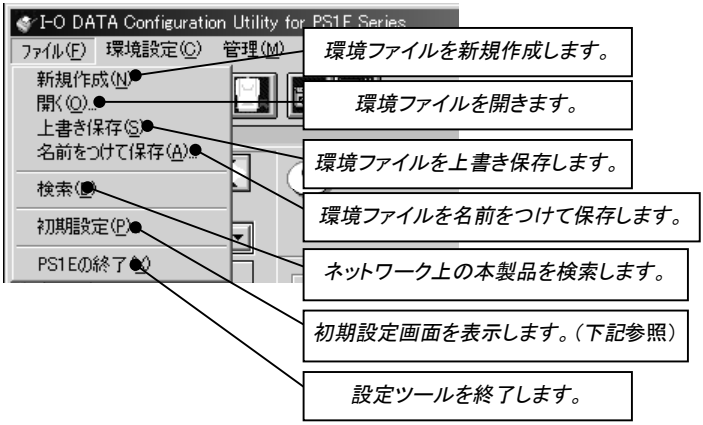
**以下の[NetWare]メニューからの設定は、上記のショートカットメニューからの設定と同じ内容です。**

・[NetWare]メニュー



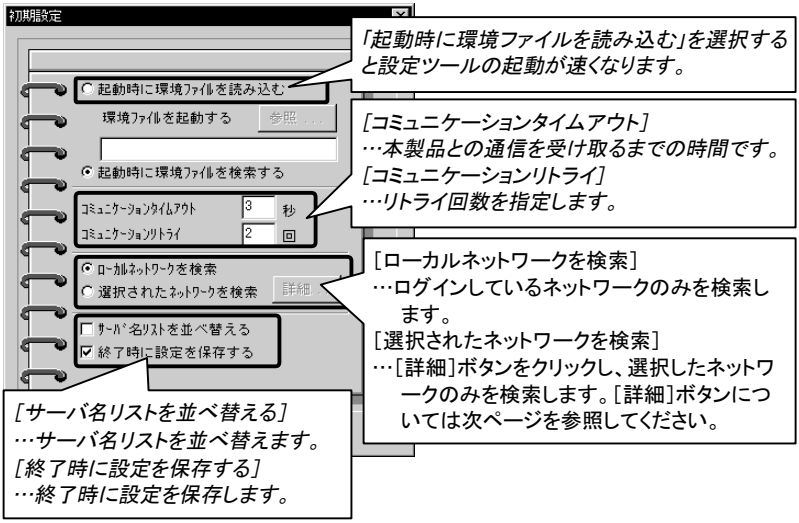
# [ファイル]メニュー

[ファイル]メニュー項目について説明します。



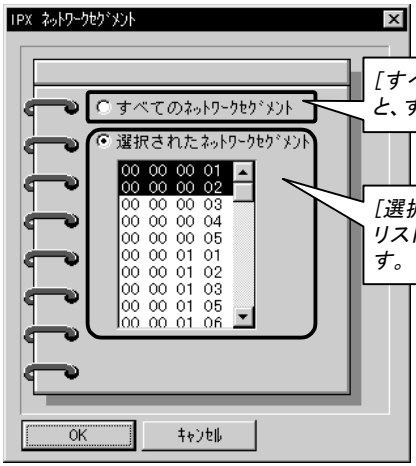

## ・[初期設定]画面

[ファイル]メニューの[初期設定]で以下の画面が表示されます。



## ・[IPX ネットワークセグメント]画面

上記[初期設定]画面の[選択されたネットワークを検索]の[詳細]ボタンで以下の画面が表示されます。




*[すべてのネットワークセグメント]を選択すると、すべてのネットワークを検索します。*

*[選択したネットワークセグメント]を選択すると、リストから選択したネットワークのみ検索します。*

# [ヘルプ]メニュー

[ヘルプ]メニュー項目について説明します。




設定ツールのバージョン情報を表示します。

# 付録3

# telnetでの本製品の設定

本製品の設定は、Windowsのtelnetでも行うことができます。ただし、TCP/IPが必要です。設定ツールが使用できない環境の場合に以下の方法で設定してください。

## telnetでのIPアドレスの設定

本製品は出荷時、以下のように設定されています。

| | |
|---|---|
| IPアドレス | 1.1.1.1 |
| サブネットマスク | 255.0.0.0 |
| ゲートウェイ | 0.0.0.0 |

*注意！*
このIPアドレスのままでは使用できませんのでご注意ください。

LPR印刷を行う際には、本製品のIPアドレスの設定が必要となります。
以下の方法に従ってIPアドレスを変更してください。

### ● IPアドレスの変更方法

1 お使いのパソコンのIPアドレス、サブネットマスクをメモします。

2 お使いのパソコンのIPアドレス、サブネットマスクを以下のように変更し、パソコンを再起動します。
例）1.1.1.2　（IPアドレス）
255.0.0.0　（サブネットマスク）

3 再起動後、[ファイル名を指定して実行]をクリックし、以下を入力して[OK]ボタンをクリックします。
telnet　1.1.1.1

**4** パスワードを要求されますので、
そのまま↵キーを押してください。
出荷時設定ではパスワードは設定されていません。

**5** [Main Menu]が表示されますので、以下を入力します。
3 ↵ （「3 - TCP/IP Configurqation」を選択します。）

**6** [TCP/IP Configuration]が表示されますので、
以下を入力します。
1 ↵ （「1 - IP Address」を選択します。）

**7** “Input IP Address:”と表示されますので、
設定したいIPアドレスを設定します。

例えば、 *1* の手順で設定したIPアドレスが“192.168.0.1”の場合、
以下を入力します。
192.168.0.XXX↵
（“XXX”は 1～254までの数字で他のネットワーク機器[パソコンを含む]と重ならない数字を入力します。詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。）

**8** [TCP/IP Configuration]が表示されますので、
以下を入力します。
2 ↵ （「2 - Subnet Mask」を選択します。）

**9** “Input Subnet Mask:”と表示されますので、
*1* の手順で設定したサブネットマスクを設定します。
例えば、 *1* で設定したサブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、
以下を入力します。
255.255.255.0↵

**10** [TCP/IP Configuration]で以下を入力します。
0 ↵ （[Main Menu]に戻ります。）

**11** [Main Menu]で以下を入力します。

6 ↵ （「6 – Save Configuration」を選択します。）

**12** “Do you want to save the Configuration”と表示されますので、以下を入力します。

y ↵ （設定の変更を保存します。）

この後、本製品への接続が切断されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。

**13** ご使用のパソコンのIPアドレス、サブネットマスクを *1* の手順で書き留めたものに戻し、パソコンを再起動します。

以上で IP アドレスの設定は終了です。

## ● DHCPサーバより本製品のIPアドレスを取得する方法



**注意！**

**本製品の IP アドレスを DHCP サーバより取得する設定にする場合は、印刷するパソコン側での設定変更を防ぐために、DHCP サーバで本製品の IP アドレスを予約するようお薦めします。詳細については、48 ページ【*本製品を DHCP クライアントとしてご利用になる場合の注意*】を参照してください。**

**1** 199ページ【IPアドレスの変更方法】の
*1* ～ *5* の手順を実行します。

**2** [TCP/IP Configuration]が表示されますので、
以下を入力します。
1 ↵ （「6-IP Assignment Methods」を選択します。）

**3** [IP Assignment Methods]が表示されますので、
以下を入力します。
4 ↵ （「4-DHCP」を選択します。）

**4** 以下を入力します。
1 ↵ （「1-Enable」を選択します。）

**5** [TCP/IP Configuration]で以下を入力します。
0 ↵ （[Main Menu]に戻ります。）

**6** [Main Menu]で以下を入力します。
6 ↵ （「6 - Save Configuration」を選択します。）

**7** “Do you want to save the Configuration”と表示されますので、
以下を入力します。
y ↵ （設定の変更を保存します。）
この後、本製品への接続が切断されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。

以上で設定は終了です。

# メニュー項目

## [Main Menu]

| | |
|---|---|
| **1 - Server Configuration** | [Server Configuration] メニューを表示します。 |
| **1 - Server Name** | 適当な名前を付けます。<br>("半角英数文字"および"-"15文字以下) |
| **2 - Location** | 設置場所情報を入力します。<br>（特に入力の必要はありません） |
| **3 - Admin Information** | 管理者情報を設定します。<br>（特に入力の必要はありません） |
| **4 - Change Password** | パスワードを設定します。(8文字以下) |
| **0 - Return to Main Menu** | [Main Menu] に戻ります。 |
| **2 - Port Configuration** | [Port Configuration] メニューを表示します。 |
| **1 - Port 1 (LPT1)** | 本製品のプリンタ情報を表示・変更します。<br>以下はサブメニューです。 |
| 1 - Port Name | 適当なポートの名前を付けます。<br>("半角英数文字"および"-"32 文字以下) |
| 2 - Description | ﾎﾟｰﾄに対するｺﾒﾝﾄを入力します。<br>(特に入力の必要はありません) |
| 3 - Speed | 通常は[High]でご使用ください。文字化けなどの不具合が出る場合は、[Low]でご使用ください。 |
| 4 - PJL Printer | PJL※対応プリンタの場合は[Yes]に設定してください。<br>※Printer Job Language：ヒューレットパッカード社のプリンタ言語 |
| 0 - Return to Port Menu | [Port Menu] に戻ります。 |
| **0 - Return to Main Menu** | [Main Menu]に戻ります。 |
| **3 - TCP/IP Configuration** | [TCP/IP Configuration] メニューを表示します。 |
| **1 - IP Address** | IPアドレスを変更します。 |
| **2 - Subnet Mask** | サブネットマスクを変更します。 |
| **3 - Default Gateway** | ゲートウェイを変更します。 |
| **4 - SNMP Community** | 本製品ではコミュニティ名を3つまで持つ事ができ、3つのアクセスレベルを設定することができます。<br>「Community Name」でコミュニティ名を設定します。<br>「Community Access」で指定したコミュニティ名のアクセスレベルを設定します。<br>詳細は205ページ【[SNMPの環境設定]画面】を参照してください。 |

| | | |
|---|---|---|
| | **5 - SNMP Traps** | 本製品ではトラップスポットを3つまで設定する事ができます。<br>「Traps」でSNMPトラップ送信を有効・無効を設定します。<br>「Target IP Address」でトラップスポットのIPアドレスを設定します。<br>「Target Community Name」でトラップスポットのコミュニティ名を設定します。<br>詳細は次ページを参照してください。 |
| | **6 - IP Assignment Methods** | IPアドレス取得方法を設定します。 |
| | **0 - Return to Main Menu** | [Main Menu]に戻ります。 |
| **4 - Display Information** | | [Display Information] メニューを表示します。 |
| | **1 - Display Configuration** | 現在の設定値を確認します。 |
| | **2 - Display Port Status** | プリンタポートの現在の状態を確認します。 |
| | **0 - Return to Main Menu** | [Main Menu]に戻ります。 |
| **5 - Tools** | | [Tools] メニューを表示します。 |
| | **1 - Reset** | リセットします。『Save Configuration』で保存した内容はリセットされません。 |
| | **2 - Factory Reset** | 出荷時設定にリセットします。 |
| | **0 - Return to Main Menu** | [Main Menu]に戻ります。 |
| **6 - Save Configuration** | | 設定の変更を保存します。 |
| **0 - Quit** | | [Main Menu] を抜け、本製品への接続を切断します。 |

付録4

# SNMP による管理

本製品には、接続されているプリンタと本製品自身を管理するための SNMP エージェント機能が搭載されています。この章では、SNMP による管理の仕方について説明します。

## SNMP とは

SNMP とは、簡易ネットワーク管理プロトコル（Simple Network Management Protocol）の略称で、ネットワーク上にある様々な機器を管理できる標準プロトコルです。

SNMP は、SNMP マネージャと SNMP エージェントから構成されています。

SNMP エージェントは管理されている機器に搭載されており、SNMP マネージャはエージェントから情報を得ます。マネージャ及びエージェントは、MIB（Management Information Base）と呼ばれる管理情報を持っており、この管理情報を基にして機器の管理を行います。

マネージャとエージェント間の情報伝達動作には、以下の 5 つがあります。

| 情報伝達動作 | 動作内容 |
|---|---|
| Get Request | マネージャがエージェントの管理情報の内容を採取するための要求 |
| Get Next Request | マネージャがエージェントの次の管理情報の内容を採取するための要求 |
| Set Request | マネージャがエージェントに情報を設定するための要求 |
| Get Response | Get Request, Get Next Request, Set Requestのそれぞれの要求に対する応答 |
| Trap | 管理対象の機器に何らかの異常やイベントが発生した場合に、エージェントからマネージャに対して送信される情報 |

## SNMP 機能を使用するための設定

本製品でSNMP機能を使用するためには、以下の①と②が必要です。

### ① *SNMPマネージャ*

市販のSNMPマネージャが必要です。
（ただし、設定ツールで値を参照することは可能です。）

### ② *TRAPのターゲットアドレスとコミュニティ名の設定*

本製品からTRAPを得るためには、TRAPパケットの送信先のIPアドレス、TRAPコミュニティ名(″半角英数文字″および″-″で32文字以下)を設定しなければなりません。TRAPターゲットアドレスとコミュニティ名の設定は、設定ツールまたはtelnetで行うことができます。

## 本製品がサポートしている MIB

本製品がサポートしているMIBは、RFC1213（MIB-Ⅱ）です。

## TRAP

本製品は起動時に、cold_startのTRAPを送出します。
それ以外のTRAPは本製品より送出されません。

# 付録5

# ネットワークコンポーネントのインストール

ここでは、ネットワーク上で必要となる[ネットワークコンポーネント]のインストール手順について説明します。

・*Windows Me/98/95でのネットワークコンポーネントのインストール*


・*クライアントのインストール* → 次ページ
・*プロトコルのインストール* → 211ページ


・*Windows 2000でのネットワークコンポーネントのインストール*


・*[NetWare用クライアントサービス]のインストール* → 213ページ
・*プロトコルのインストール* → 216ページ

# Windows Me/98/95 での ネットワークコンポーネントのインストール

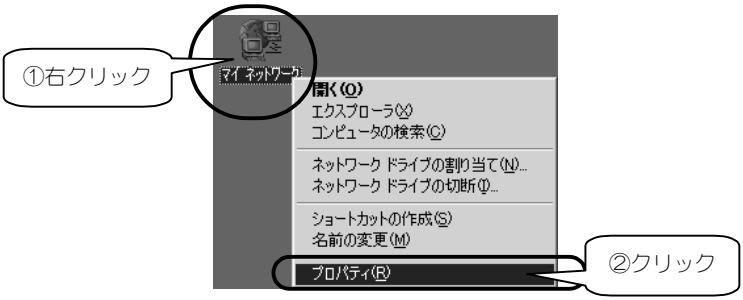
| インストールしたいネットワークコンポーネント | 参照個所 |
|---|---|
| *[クライアント(NetWare ネットワーク用)* | 以下参照 |
| *[NetWare ネットワーククライアント]* | |
| *[Microsoft ネットワーククライアント]* | |
| *[IPX/SPX 互換プロトコル]* | 211 ページ |
| *[TCP/IP]* | |
| *[NetBEUI]* | |

## クライアントのインストール

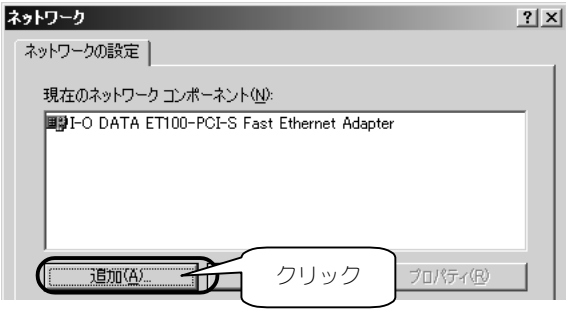
ここでは、Windows Me/98/95 での以下のクライアントのインストール手順について説明します。

- *[クライアント(NetWare ネットワーク用)]*
- *[NetWare ネットワーククライアント]*
- *[Microsoft ネットワーククライアント]*

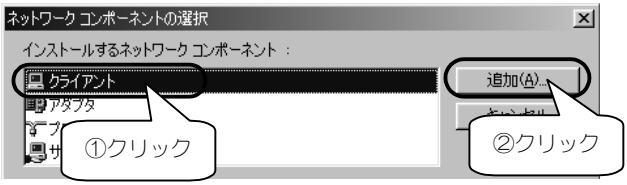
**1** デスクトップ上の[マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



**2** [追加]ボタンをクリックします。



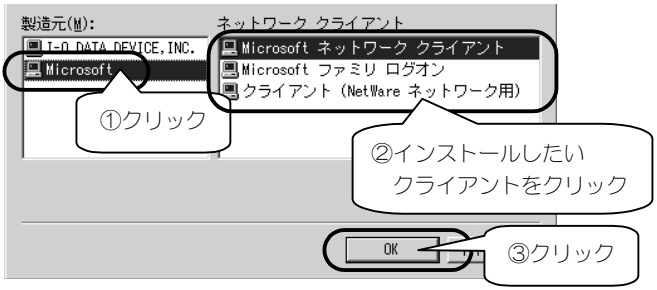

**3** [クライアント]をクリックし、[追加]ボタンをクリックします。



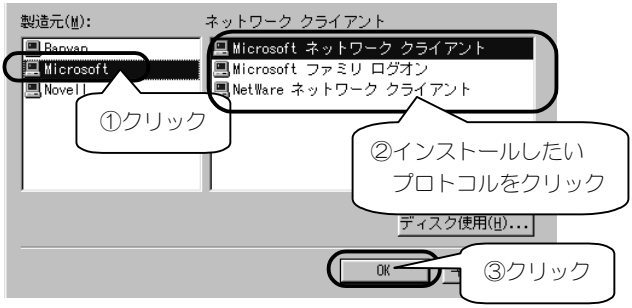

**4** [製造元]欄が表示されている場合は、[Microsoft]をクリック後、をクリック後、以下のインストールしたいクライアントをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

- *[クライアント(NetWare ネットワーク用)]*
- *[NetWare ネットワーククライアント]*
- *[Microsoftネットワーククライアント]*

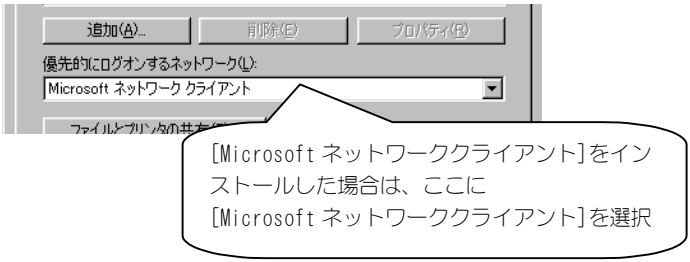
*・Windows Meでの表示例*



・*Windows 98/95での表示例*




**5** 手順**2**の画面に戻りますので、インストールしたクライアントが表示されることを確認してください。
[Microsoftネットワーククライアント]をインストールした場合は、[優先的にログオンするネットワーク]に[Microsoftネットワーククライアント]を選択します。
[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。



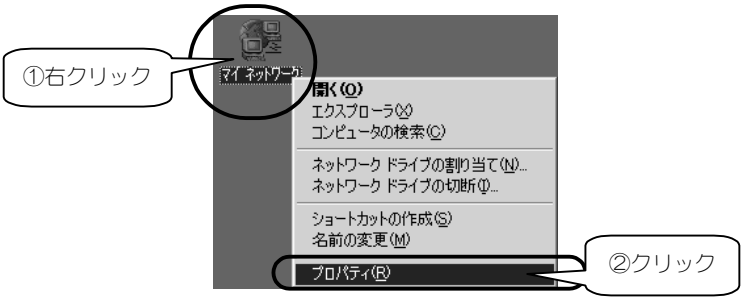

後は、画面の指示にしたがって処理を進め、パソコンを再起動します。
以上で、クライアントのインストール手順は終了です。

# プロトコルのインストール

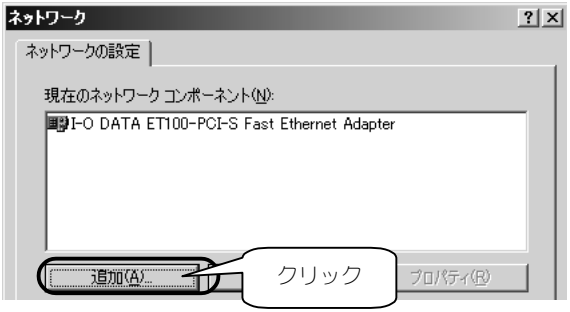
ここでは、Windows Me/98/95 での以下のプロトコルのインストール手順について説明します。

- *[IPX/SPX 互換プロトコル]*
- *[TCP/IP]*
- *[NetBEUI]*

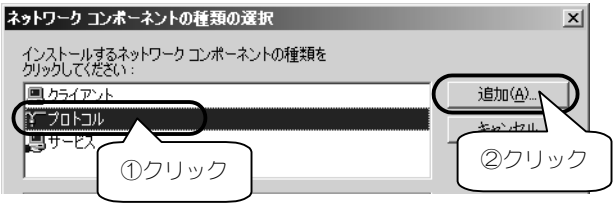
**1** デスクトップ上の[マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。




**2** [追加]ボタンをクリックします。

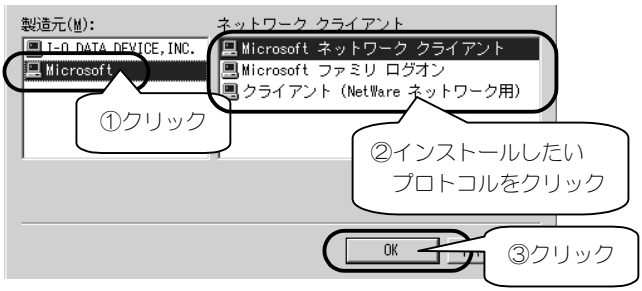


**3** [プロトコル]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。




**4** [製造元]欄の[Microsoft]をクリック後、
以下のインストールしたいプロトコルをクリックし、
[OK]ボタンをクリックします。

- *[IPX/SPX 互換プロトコル]*
- *[TCP/IP]*
- *[NetBEUI]*




**5** 手順**2**の画面に戻りますので、インストールしたプロトコルが表示されることを確認してください。
[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

後は、画面の指示にしたがって処理を進め、パソコンを再起動します。
以上で、プロトコルのインストール手順は終了です。

# Windows 2000 での ネットワークコンポーネントについて

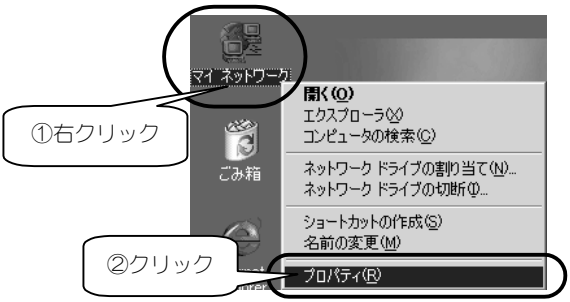
| インストールしたいネットワークコンポーネント | 参照個所 |
|---|---|
| *[NetWare 用クライアントサービス]* | 以下参照 |
| *[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]* | 216 ページ |
| *[インターネットプロトコル(TCP/IP)]* | |
| *[NetBEUI プロトコル]* | |

## [NetWare 用クライアントサービス]のインストール

ここでは、Windows 2000 での［NetWare 用クライアントサービス］のインストール手順について説明します。

**1** Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

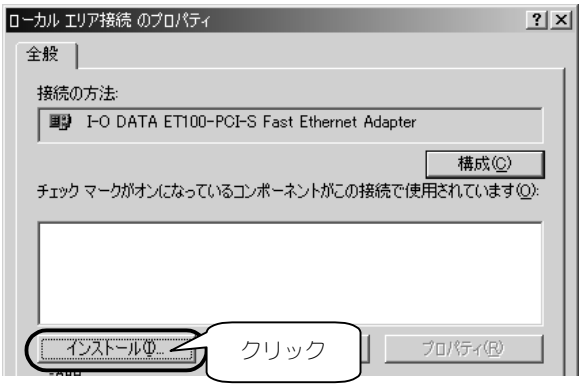
**2** ［マイ ネットワーク］を右クリックし、
メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



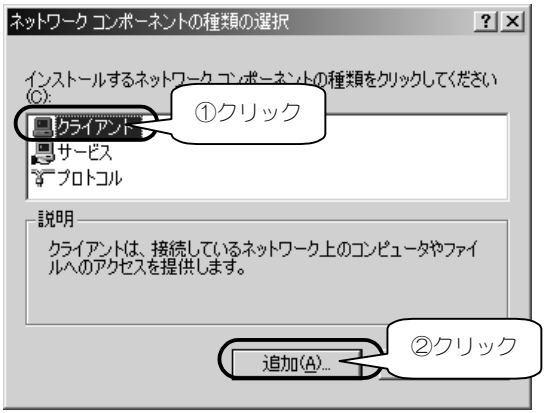
**3** [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



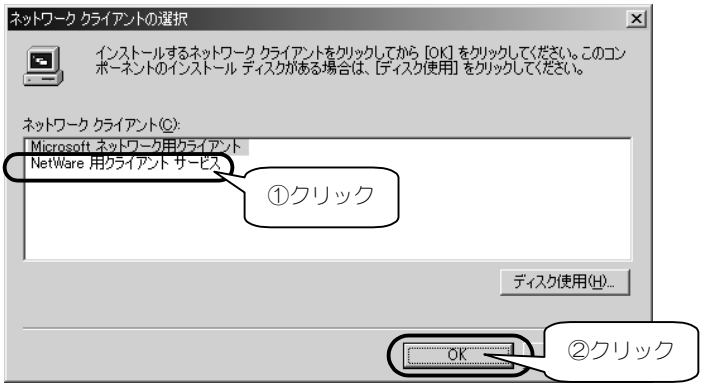

**4** [インストール]ボタンをクリックしします。




**5** [クライアント]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。



**6** [NetWare用クライアントサービス]をクリック後、
[OK]ボタンをクリックします。




**7** 手順**4**の画面に戻りますので、[NetWare用クライアントサービス]が表示されることを確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。

以上で、[NetWare 用クライアントサービス]のインストール手順は終了です。

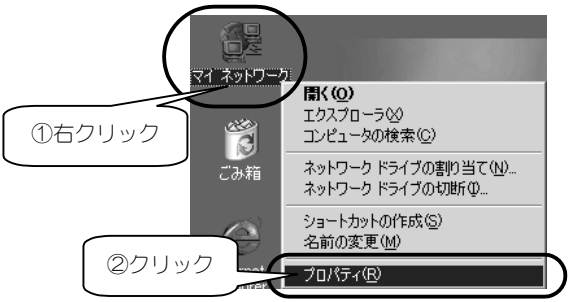
# プロトコルのインストール

ここでは、Windows 2000 での以下のプロトコルのインストール手順について説明します。

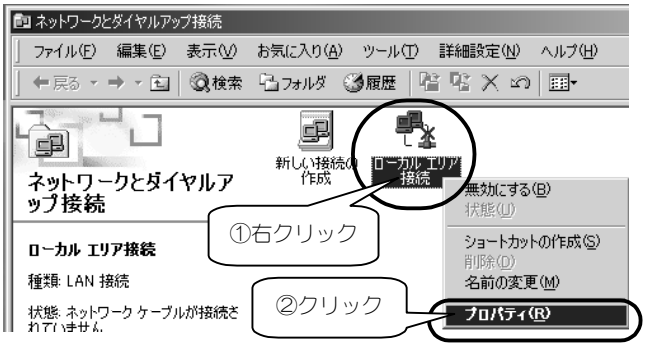
- *[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル]*
- *[インターネットプロトコル(TCP/IP)]*
- *[NetBEUI プロトコル]*

**1** Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

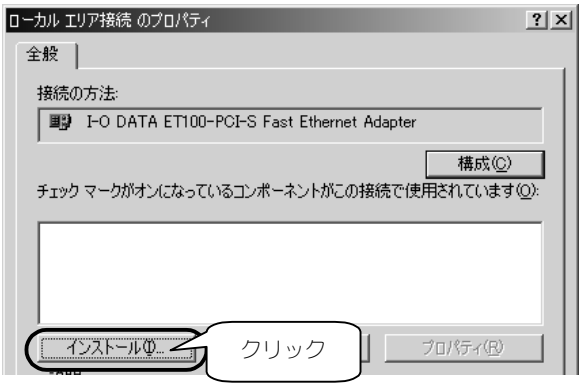
**2** [マイ ネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



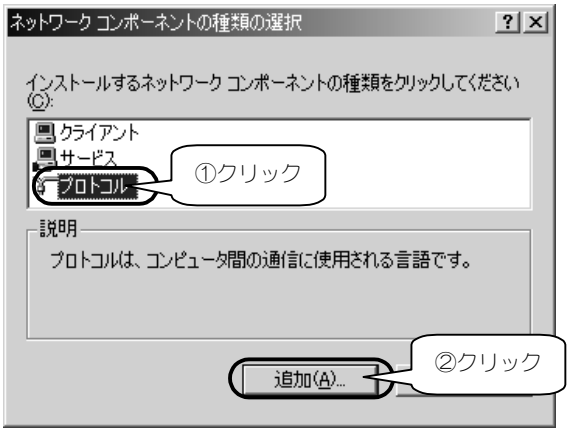

**3** [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の
[プロパティ]をクリックします。



**4** [インストール]ボタンをクリックしします。

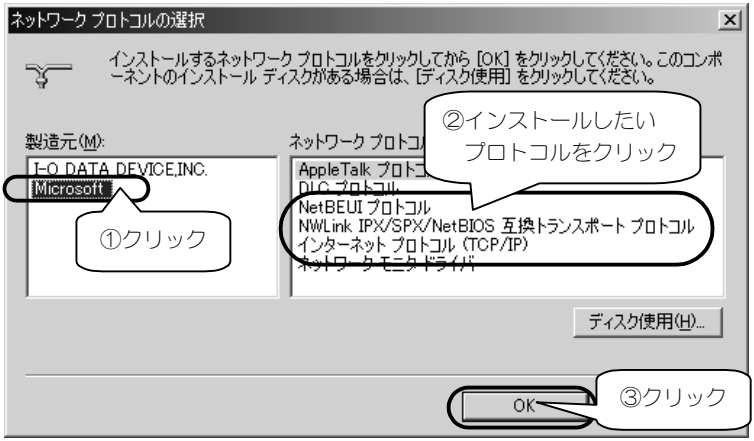



**5** [プロトコル]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。



**6** [製造元]欄が表示されている場合は、[Microsoft]をクリック後、以下のインストールしたいプロトコルをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

- *[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]*
- *[インターネットプロトコル(TCP/IP)]*
- *[NetBEUIプロトコル]*




**7** 手順**4**の画面に戻りますので、インストールしたプロトコルが表示されることを確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。

以上で、プロトコルのインストール手順は終了です。

# 付録6

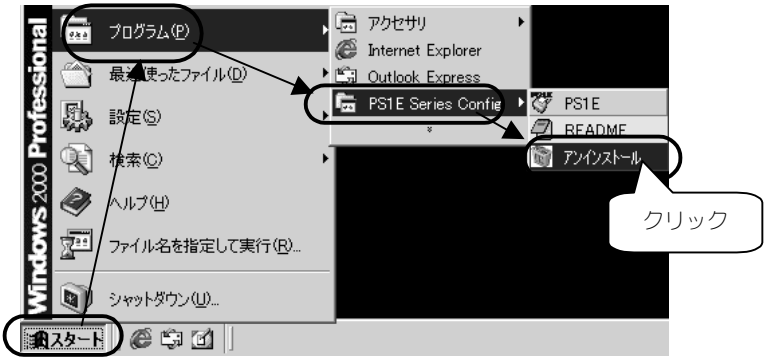
# サポートソフトを削除する場合

ここでは、インストールしたサポートソフトの削除手順について説明します。
使用しなくなった場合や再度インストールし直す場合に行ってください。


・*[設定ツール]を削除する場合* → 以下参照
・*[TCP/IP印刷クライアント]を削除する場合* → 次ページ参照


## [設定ツール]を削除する場合

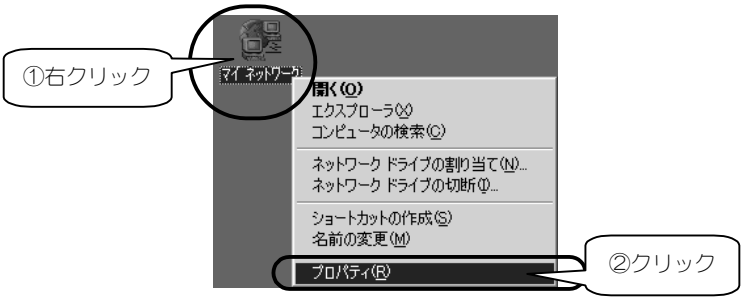
**1** [スタート]→[PS1E Series]→[アンインストール]を順にクリックします。



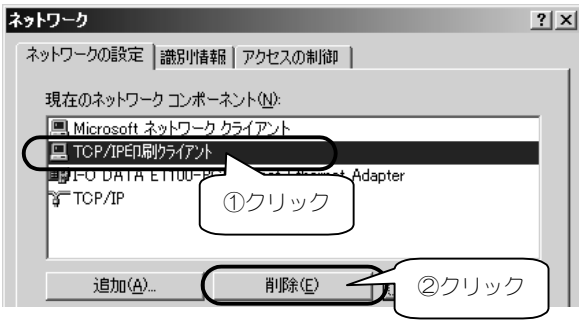

後は画面の指示に従って続行してください。
以上で[設定ツール]の削除は終了です。

# [TCP/IP 印刷クライアント]を削除する場合

**1** デスクトップ上の[マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。




**2** [TCP/IP印刷クライアント]をクリック後、
[削除]ボタンをクリックします。




**3** 削除完了のメッセージが表示されたら
[OK]ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。

以上で[TCP/IP印刷クライアント]の削除は終了です。

# 付録 7

# TCP/IP の基礎知識

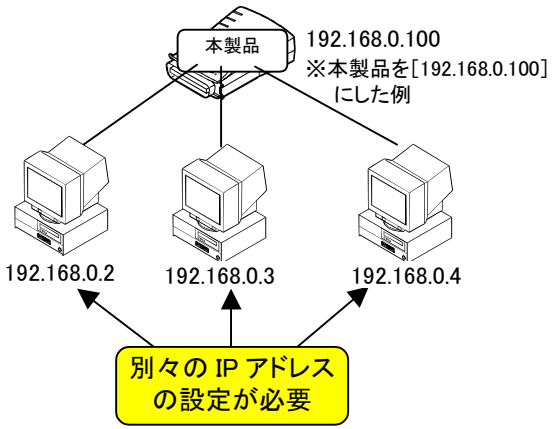
ここでは、本製品をTCP/IPで使用する上で必要となるTCP/IPプロトコルのIPアドレスの基礎知識について説明します。必要に応じてお読みください。


・*IP アドレス* ····· *222*
同じネットワーク上では別々の IP アドレスが必要 ····· 222
インターネットの IP アドレスと LAN の IP アドレス ····· 223
LAN 内で使用する IP アドレスのクラス ····· 224
・*DHCP* ····· *225*
・*具体的な IP アドレスの設定例* ····· *226*

# IP アドレス

## 同じネットワーク上では別々の IP アドレスが必要

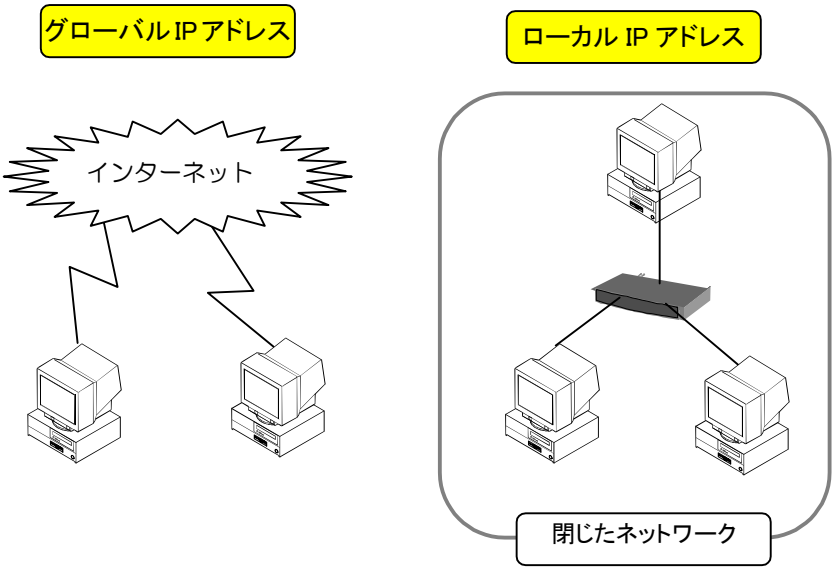
本製品をTCP/IPで使用するには、本製品やパソコンにIPアドレスの設定が必要です。
また、設定するIPアドレスは、本製品および本製品に接続したパソコンのすべてに別々のIPアドレスが必要です。
IPアドレスとは、データを送受信するためのパソコン同士で理解できる住所のようなものです。
町の１軒１軒の家が別々の住所を持つように、パソコンも１台１台が別々のIPアドレスを設定する必要があります。同じIPアドレスを持つパソコンがあるとどちらにデータを送ればいいのかわからなくなるためです。
例えば、本製品は出荷時「1.1.1.1」のIPアドレスを持ちます。通常このようなIPアドレスがLAN内で使用されることはなく、後述するローカルIPアドレスが使用されます。その際、ネットワーク上に、同じIPアドレスを設定したパソコンがあると、他のパソコンから本製品やその同じIPアドレスのパソコンにアクセスできなくなります。



# インターネットの IP アドレスと LAN の IP アドレス

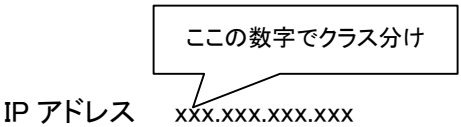
IP アドレスには、「グローバル IP アドレス」と「ローカル IP アドレス」（プライベート IP アドレス）があります。
「グローバル IP アドレス」は、インターネットで使用する IP アドレスです。
「ローカル IP アドレス」は、通常 LAN 内で使用する IP アドレスです。

| | |
|---|---|
| グローバル IP アドレス | ネットワーク上で別々の IP アドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々の IP アドレスを使用する必要があります。この IP アドレスがグローバル IP アドレスです。<br>通常、プロバイダより割り当てられます。 |
| ローカル IP アドレス | インターネットに接続されていない環境（家庭内のみ、会社内のみなど）では、ネットワーク内で別々の自由な IP アドレスを使用することができます。<br>この IP アドレスがローカル IP アドレスです。 |



# LAN 内で使用する IP アドレスのクラス

IP アドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、3つのクラスに分かれます。
大規模なネットワークならば[クラスAの IP アドレス]、中規模なら[クラスBの IP アドレス]、小規模の場合は[クラスCの IP アドレス]となります。
同一のネットワーク内では、同一クラスの IP アドレスである必要があります。
実際には、本製品の出荷時の IP アドレス「1.1.1.1」のように、IP アドレスは、ピリオドで区切られた4つの数字の羅列で構成されていて、4つの数字の最初の数字の値で、クラスが分けられます。




例　本製品の出荷時の IP アドレス「1.1.1.1」の場合は「1」

クラスは以下のように分類されています。

| IP アドレスの最初の数字※ | クラス | 用途（ネットワークを構成するパソコンの台数） |
|---|---|---|
| 1～127 | クラスA | 大規模ネットワーク用（最大約 1600 万台） |
| 128～191 | クラスB | 中規模ネットワーク用（最大約 65000 台） |
| 192～223 | クラスC | 小規模ネットワーク用（最大約 120 台） |

※「224～255」は通常の IP アドレスとしては使われていません。

例えば、数台～数十台で構成されるネットワークでは、クラスCの IP アドレスを使用します。
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカル IP アドレスを使用します。

| クラス | 設定する IP アドレス |
|---|---|
| クラスA | 10.0.0.0　～　10.255.255.255 |
| クラスB | 172.16.0.0　～　172.31.255.255 |
| クラスC | 192.168.0.0　～　192.168.255.255 |

# DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）とは、IP アドレスの自動割り当て機能のことです。

DHCP は、DHCP サーバと DHCP クライアントで構成され、DHCP サーバが DHCP クライアントに使用可能な IP アドレスを割り当てます。

例えば、本製品を DHCP サーバとし、複数台のすべてのパソコンを DHCP クライアントに設定した場合、各パソコンは、パソコン起動時に使用可能な IP アドレスを入手し、終了時に開放します。

## ●*DHCP の特徴*

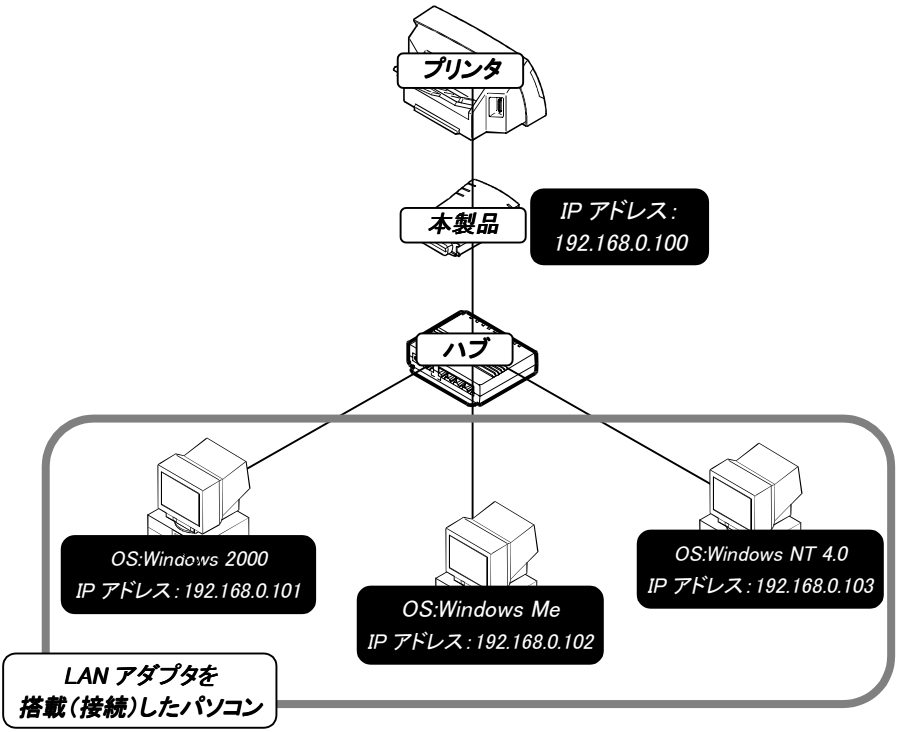
・個々のパソコンに IP アドレスをセットする手間が省けます。

・設定できる IP アドレスが変更された場合、DHCP サーバのみの変更で済みます。
　そのため、クライアント側で IP アドレスを考慮する必要がなくなります。
　DHCP クライアント側では、DNS やゲートウェイ（ルータ）の IP アドレスも自動で設定されます。

・DHCP クライアント側の IP アドレスは、起動時毎に毎回異なる場合があります。

# 具体的な IP アドレスの設定例

以下は、小規模ネットワークでの、本製品を使用した場合の IP アドレスを設定した例です。



付録8

# 用語解説

## 10BASE-T(テンベースティー)

ツイストペアケーブルを使用する Ethernet の IEEE 仕様。伝送速度は 10Mbps。

## 100BASE-TX(ヒャクベースティーエックス)

100Mbps イーサネット接続で使用する IEEE 規格の 1 つで、非シールドまたはシールドのツイストペアケーブルを使用します。

## DHCP サーバ(*Dynamic Host Configuration Protocol Server*)

DHCP とは各クライアントや Ethernet 機器へ起動時に動的に IP アドレスを割り当て、終了時に IP アドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報をネットワーク上のクライアントや Ethernet 機器へ通知することもできます。

この動的に IP アドレスの割当を行う側の機器が DHCP サーバと呼ばれます。
ダイアルアップルータなどの機器も DHCP サーバの機能を持っています。

## Ethernet(イーサネット)

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CD アクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後に IEEE 802.3 として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

## IEEE 1284 規格(アイトリプルイー イチニーハチヨン キカク)

米国電気電子協会(IEEE)が定めた高速なパラレルインターフェイスの規格です。プリンタ専用の低速なポートであったものを改良し、高速かつ双方向通信を実現したものです。

## IEEE 802.3 規格(アイトリプルイー ハチマルニテンサン キカク)

ツイストペアケーブルを使用する Ethernet の IEEE 仕様。伝送速度は 10Mbps。

## IPX／SPX(アイピーエックス/エスピーエックス)プロトコル

*(Internetwork Packet eXchange / Sequenced Packet eXchange)*

Novell 社が、Xerox Network Standard(XNS)を参考に開発した独自のプロトコルで、NetWare3.11 以前のバージョンでは NetWare で使える唯一のプロトコルでした。
特徴はクライアント側に細かな設定が不要であるという点で、IP アドレスなどを自動で設定します。

## LED *(Light Emitting Diode)*

発光ダイオードの略。

## MAC ADDRESS(マックアドレス)

LAN アダプタなどの Ethernet 機器ごとに固有の物理アドレスです。
すべての Ethernet(イーサーネット)機器は、世界中で異なる MAC ADDRESS を持っています。
MAC ADDRESS は、先頭からの3バイトのベンダーコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されています。
ベンダーコードは IEEE が管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet 機器の製造メーカが独自の番号(重複することのない)で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

## Mbps(メガビーピーエス) *(Megabits per second)*

1秒間に伝送するデータの単位です。
10Mbps は1秒間に 10 メガビットのデータを伝送できます。

## LPR(エルピーアール) *(Line Printer Redirecter)*

印刷プロトコルのひとつです。UNIX の印刷コマンドとして知られています。
パソコンネットワークの普及にともなって、パソコン上の OS もこの印刷プロトコルによる印刷ができるようになってきました。
Windows 2000 および Windows NT では標準で LPR 機能を持っています。(詳細は Windows 2000 および Windows NT のヘルプを参照してください。)

## NetBEUI(ネットビュウイ)プロトコル (*NetBios Extended User Interface*)

IBM により、1985 年に開発されたプロトコルの名称。
Microsoft Network/LANmanager や IBM LANserver などに採用されています。
TCP/IP より高速で、Windows NT や OS/2 Warp Server などでは今でも使用できますが、NetBEUI にはルーティングできないという致命的な欠点がありネットワークの分割が不可能なため、大規模なネットワークでは事実上使用する事ができません。

## NetWare(ネットウェア)

ノベル社のネットワークオペレーティングシステム(異なったプラットフォーム間の通信・データ共有を実現するシステム)。
NetWare Core Protocol(NCP)、Internetwork Packet Exchange(IPX)、そして Sequential Packet Exchange(SPX)のプロトコルを使用します。

## RJ-45 コネクタ(アールジェイ ヨンゴ コネクタ)

ツイストペアケーブルを接続するコネクタで最も普及している形式。

## TCP/IP(ティーシーピー/アイピー) (*Transmission Control Protocol/Internet Protocol*)

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル一式。
主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。

## UTP (*Unshielded Twist Pair*)

非シールドツイストペア。
電気妨害を減少させるため、2 本 1 組で共にねじられている絶縁されたワイヤ構成です。

## STP (*Shielded Twist Pair*)

電気干渉を減少させるため、2 本の絶縁された導線をひねりあわせ、さらに金属の薄片の層で保護されたケーブル。

## カテゴリ5

ツイストペアケーブルの規格。
100Mbps までの信号伝送が可能なケーブル特性を持ち、100Mbps でのデータ伝送では必ずこの規格のケーブルを使用する必要があります。

## トラフィック

ネットワークの情報量を指します。

## ピア・ツー・ピア *(Peer to Peer)*

パソコン同士を対等(Peer to Peer)に接続する小規模 LAN のことです。

## プリントキュー

プリントジョブ(印刷データ)をプリンタに転送する前に一時的に保存して置く場所です。この一時的に保存して置く動作を「キューイング」といいます。
プリントキューにはプリントキュー名があり、NetWare ではプリントキュー名を指定して印刷を行います。

付録9

# 仕様

ここでは、本製品の仕様について説明します。

・*ET-FPS1E*

| | |
|---|---|
| プリンタインターフェイス | セントロニクス準拠アンフェノール36ピンオス |
| LANインターフェイス | RJ-45(100BASE-TX/10BASE-T) × 1 |
| 外形寸法(mm) | 60 × 26 × 92 mm(幅×高さ×長さ) |
| 質量 | 約65g(本体のみ) |
| 使用温度範囲 | 0℃～50℃ |
| 使用湿度範囲 | 10～90%(結露しないこと) |
| 電源 | DC5V/500mA |

※Microsoft Windows Printing System(WPS)専用のプリンタは、仕様上本製品でのご利用はできません。

・*ET-PS1E*

| | |
|---|---|
| プリンタインターフェイス | セントロニクス準拠アンフェノール36ピンオス |
| LANインターフェイス | RJ-45(10BASE-T) × 1 |
| 外形寸法(mm) | 58.0 × 25.3 × 92.8 mm(幅×高さ×長さ) |
| 質量 | 約65g(本体のみ) |
| 使用温度範囲 | 0℃～40℃ |
| 使用湿度範囲 | 5～95%(結露しないこと) |
| 電源 | DC7.5V/500mA |

※Microsoft Windows Printing System(WPS)専用のプリンタは、仕様上本製品でのご利用はできません。

# PLANT コールセンターへのお問い合わせ

## ■お知らせいただく事項

1．お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号および FAX 番号
2．ご使用の弊社製品名と、ハードウェアシリアル No.
3．ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4．ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名。
5．現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

## ■オンライン

**インターネット　http://www.iodata.jp/support/**
**「PLANT コールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mail をお送りください。**

## ■郵便

**〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**PLANT コールセンター「PS1E シリーズ」係宛**

## ■電話

**電話番号　金沢　076-260-3644**
**東京　03-3254-1144**
**受付時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**

## ■FAX

**FAX 番号　金沢　076-260-3360**
**東京　03-3254-9055**
**宛先　株式会社アイ･オー･データ機器**
**PLANT コールセンター「PS1E シリーズ」係　宛**

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

# サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

## ■オンライン

**インターネット　http://www.iodata.jp/lib/**

## ■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

**住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地**
**アイ・オー・データ第２ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**「PS1E シリーズ」 サービス窓口　宛**
**電話番号　076-260-3663**
**受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00**
**月～金曜日（祝祭日を除く）**

## ■ご注意

・インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

# 保証について

## ■保証期間

保証期間は、添付の「ハードウェア保証書」でご確認ください。
保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

## ■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

# 修理について

**弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。**

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態(『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」)をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化(一体化)されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

**住所　〒920-8513**
**石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第２ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**「PS1E シリーズ」 修理係　　宛**

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失などのトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

**受付窓口　「PS1E シリーズ」 サービス窓口**
**電話番号　本社　076-260-3663**
**受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）**

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

PS1Eシリーズ取扱説明書
2001.Nov.12　55623-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 1999-2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。